

V 教育の内容と方法

1 教育学部各課程のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

1-1 学校教育教員養成課程

1-1-1 カリキュラム・ポリシー

学校教育教員養成課程では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①学校教育の意義と学校という組織の特徴・機能について教育実践上の意味を理解させ、他の教員および地域社会と協力して活動できる力を身に付けさせる。
- ②児童・生徒との関係・コミュニケーションに関する基礎知識と児童・生徒を援助するための具体的な対応策を理解させ、実践できる力を身に付けさせる。
- ③教科内容についての十分な基礎的理解を持たせると共に、自らその理解を深めていく力を身に付けさせる。
- ④教科内容の教材化、児童・生徒に合わせた教科指導の基礎的な方法を習得させ、実践の中でさらに展開できる力を身に付けさせる。
- ⑤現代社会の諸課題を教育という視点から理解し、その解決をめざす思考力と実践力を身に付けさせる。

1-1-2 ディプロマ・ポリシー

学校教育教員養成課程では以下が認められる場合、卒業を認定し学位（学士）を授与する。

- ・学校において教育実践を行える知識・技能を身に付け、必要な判断力と協調性を有している。
- ・児童・生徒に対する教科指導に必要な基礎的な教科内容理解と指導力を有している。
- ・社会人として活動できる人間性と基本的なコミュニケーション能力を有している。

1-2 養護教諭養成課程

1-2-1 カリキュラム・ポリシー

養護教諭養成課程では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ・教員である養護教諭にとって必要な学校教育（教職）に関する基礎知識および技能を身に付けさせる。
- ・養護教諭に必要な養護学・基礎医学・臨床医学・看護学・衛生学および公衆衛生学・栄養学・健康相談活動などの専門的知識および技術、判断力を身に付けさせる。
- ・学校における養護教諭の役割を理解させ、「子どもの心と体の健康を守り育て、発達を支援する」ための実践能力、組織活動をマネジメントする力を身に付けさせる。
- ・援助が必要な児童・生徒に対して、担任や保護者・関係機関と連絡をとりながら、適切なケア・健康相談活動・教育への支援を行うことができる能力を身に付けさせる。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

1-2-2 ディプロマ・ポリシー

養護教諭養成課程では以下が認められる場合、卒業を認定し学位（学士）を授与する。

- ・教員としての基礎的資質および能力を有している。
- ・養護教諭としての専門的知識および技術を習得し、必要な判断力と指導力を有している。
- ・社会人として活動できる人間性と倫理観を備え、基本的なコミュニケーション能力とマネジメント力を有している。

1-3 情報文化課程

1-3-1 カリキュラム・ポリシー

情報文化課程では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ・情報文化の理念、基礎的なメディアリテラシーや情報倫理、基礎的な情報処理等、課程全体に共通する基本的知識・技術・技能を課程内の全学生に定着させるための科目群をおく。
- ・社会文化、生活デザイン、アート文化に関わる各コースの専門科目群は、他コースに所属する学生も履修可能として、複合的領域で活動するための視点を身につけさせる。
- ・「集団による活動」「具体的なテーマ設定」「成果の発表」という基本方針をもつプロジェクト科目を設定して、実践力を養成する。

1-3-2 ディプロマ・ポリシー

情報文化課程では以下が認められる場合、卒業を認定し学位（学士）を授与する。

- ・情報化された社会において文化的活動が行える基礎的知識・技能を有している。
- ・情報社会・情報文化に関わる複合的領域で活動するための視点と実践力を有している。
- ・社会人として活動できる人間性と基本的なコミュニケーション能力を有している。

1-4 人間環境教育課程

1-4-1 カリキュラム・ポリシー

人間環境教育課程では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ・課程共通に、現代社会や人間について幅広く理解するための科目群と、知識・技能の伝達・普及についての理論や実践を学ぶ科目群において、社会中での知識・技能の活用力を育てる。
- ・環境、スポーツ、健康、心理に関わる各コースの専門科目群では、各分野の専門的な知識や技術を身につけさせると共に、現代社会の課題へ対処する力を育てる。

1-4-2 ディプロマ・ポリシー

人間環境教育課程では以下が認められる場合、卒業を認定し学位（学士）を授与する。

- ・環境、スポーツ、健康、心理に関わる専門分野の基礎的な知識・技能を有している。
- ・専門的な知識・技能を社会の中で活かすための社会理解と基礎的な実践力を有している。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

- ・社会人として活動できる人間性と基本的なコミュニケーション能力を有している。

2 学部の教育内容と方法

以下は茨城大学教育学部「履修要項 2016 年」から引用した。

2-1 教育課程

2-1-1 専門科目と教養科目

本学の教育課程は、専門科目と教養科目から編成されている。

専門科目と教養科目の目的

専門科目	各学部・課程等の専攻に係る専門の学芸を教授する
教養科目	幅広く深い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する

2-1-2 卒業資格

(1) 卒業の要件

それぞれの課程毎に卒業に必要な修得単位数等が定められている。

特に、学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程では、両課程・コース等毎に定められた教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、卒業することができない。

(2) 単位の修得

単位は、授業（講義、演習、実験、実習又は実技）を履修し、定期試験（及び追試験）のほか研究報告、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、卒業研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

(3) 学位・教員免許状・各種資格

本学の学則で規定された修業年限（4年）以上在学し、卒業に必要な授業科目等を履修し、卒業に必要な単位（教養科目を含む）を修得した者には、学長が教授会の審議を経て卒業を認定し、次の学位が授与される。

学位の種類	課 程
学士（教育学）	学校教育教員養成 養護教諭養成
学士（教 養）	情報文化 人間環境教育

(4) 取得に配慮のある教員免許状の種類

課程	コース	系	選修	小学校	中学校	高等学校		特別支援学校	養護教諭	幼稚園
							情報			
学校教育教員養成	学校教育	言語・社会教育	国語	◎	国語	国語書道	△			△
			社会	◎	社会	地理歴史 公民	△			△
			英語	○	英語	英語	△			△
		理数教育	数学	◎	数学	数学	△			△
			理科	◎	理科	理科	△			△
		音楽教育	音楽	◎	音楽	音楽	△			△
		美術教育	美術	◎	美術	美術 工芸	△			△
		保健体育教育	保健体育	◎	保健体育	保健体育	△			△
		技術教育	技術	○	技術	工業	△			△
	生活科学教育	家庭	◎	家庭	家庭	△			△	
	教育科学	教育基礎	◎	△	△	△			△	
	特別支援教育			◎	△			◎		△
論養 養護 教諭 養成					保健	保健			◎	
文化 情報	社会文化				美術	美術 工芸				
	生活デザイン									
	アート文化									
人間 環境 教育	環境				理科	理科				
	スポーツ				保健体育	保健体育				
	健康				保健体育	保健体育				
	心理				保健	保健				

◎：最も適している ○：適している △：配慮されている

(5) 取得に配慮のある各種資格

資格の種類	配慮のある課程・コース・系・選修	
社会教育主事	学校教育コース（教育科学系）、情報文化課程	
学校図書館司書教諭	教員免許取得可能な全課程・コース	
学芸員	博物館	学校教育コース（社会選修）
	美術館	情報文化課程
公認スポーツ指導者	学校教育コース（保健体育選修）、 人間環境教育課程（スポーツコース、健康コース）	
健康運動指導士	人間環境教育課程（スポーツコース、健康コース）	

2-1-3 単位制度

(1) 単位の時間数

各授業科目は、45時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって1単位と定められている。授業は、講義・演習（1時間の授業につき、2時間の予習又は復習を必要とするもの）と実験・実習及び実技（2時間の授業につき、1時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

1 単位の時間数と学期の単位設定

授業の種類	1 単位時間数の内訳		週 1 講時	週 2 講時
	大学等での学習	自宅学習 (予習・復習)		
講義・演習	15時間	30時間	2単位	4単位
実験、実習 及び実技	30時間	15時間	1単位	2単位

(2) 学期と時間割

茨城大学では、4月～9月までを前学期、10月～3月までを後学期としている。各学期毎にどの曜日も15回（週に1回の場合）の授業を実施できるように学年暦が定められている。

(3) 評価基準

当該科目の修得内容から、下記の「評価の基準」に基づき、「区分」に示される評価が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」はA⁺、A、B、C、Dの評語をもって表す。A⁺、A、B、Cを合格とし、Dは不合格とする。合格者には所定の単位が与えられる。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の3分の2に達しない場合は、評点は0点となり評価区分は「D」となる。

評価の基準

評価区分	評 点	評 価 の 内 容
A ⁺	90 点以上 100 点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A	80 点以上 90 点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B	70 点以上 80 点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C	60 点以上 70 点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	60 点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

(4) 履修登録単位数の上限 (CAP 制)

1 単位の学修に要する時間は 4 5 時間とされていることから、単位の過剰登録を防ぎ、十分な予習・復習時間を確保し単位の実質化を図るため、1 年間に履修登録できる単位数の上限を設定している。これを **CAP (キャップ) 制**といい、本学部では年間の履修登録上限を 5 8 単位としている。ただし、卒業要件外の授業科目及び集中講義は上限単位数に含まれない。

また、5 8 単位を超えて履修を希望する場合、授業担当教員の許可を得て、担任または教務委員等と面談のうえ、追加登録を認めることもある。

(5) GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、個々の学生の学修時間当たりの学習到達度を表す指標となる数値で、履修した授業科目の **GP (Grade Point)** に当該科目の単位数を乗じた値を履修した全科目について総計し、その値を履修した総単位数で除して算出する平均値 (**Average**) をいう。

本学では、学生自身に学内での成績の相対的な位置づけを認識させることにより学生の学習意欲を高めるとともに、学生の学習支援に資することを目的として **GPA 制度**を導入している。

GPA は、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての「**学期 GPA**」と在学中の全期間における指標としての「**通算 GPA**」に区分される。

GP 及び **GPA** は下記の方法により算出される。

$$\text{GP} = (100 \text{ 点満点の得点} - 55) / 10 \quad (\text{ただし GP} = 0.5 \text{ 未満は } 0.0 \text{ とする})$$

$$\text{GPA} = (\text{履修登録科目の GP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{ の総和} / \text{当該学期の履修総単位数}$$

(小数点第 3 位を四捨五入し、第 2 位までを表示)

なお、卒業要件外の授業科目及び他大学、大学以外の教育施設等における学修により単位認定された授業科目については **GPA** に算入されない。

(6) 試験

前述したとおり、授業の出席時数とその授業の総授業時間数の 3 分の 2 に達しない場合は、評点は 0 点となり評価区分は「**D**」となる (定期試験の受験、レポート提出等の資格がない)。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

a. 定期試験

定期試験は、8 月及び 2 月初めに行われる。

b. 追試験

病気又はやむを得ない理由により定期試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付のうえ、学部長に願ひ出て追試験の許可を得なければならない。この願ひ出の期間は、定期試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

(7) 卒業研究

卒業研究とは、4年次において各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことをさす。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

卒業研究の提出期限

提出期限	課 程
12月25日まで	情報文化課程
1月10日まで	学校教育教員養成課程 学校教育コース（国語選修・英語選修） 特別支援教育コース 養護教諭養成課程
1月31日まで	学校教育教員養成課程（上記以外） 人間環境教育課程

(8) 教育実習（養護実習）

学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程の学生及び情報文化課程、人間環境教育課程で教員免許状の取得を希望する学生は、教育実習（養護実習）を行わなければならない。教育実習は所定の科目の単位を修得した後、3・4年次に本学部附属小・中学校及び幼稚園を中心に協力校（実習者の出身校を含む）で一定期間行われる。取得する免許の種類に応じて実習校・実習期間等が異なる。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

(9) 介護等の体験

小学校又は中学校教諭普通免許状の取得を希望する学生は、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（介護等体験）が必要である。これは授業ではないので単位認定は行われませんが、大学が指定する施設において適切に実施し、その証明を受けなければならない。

(10) 他大学における学修単位等の認定

他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）において修得した単位及び入学前にすでに修得した単位は、60単位を限度として本学卒業の所要単位として認められる。

この中には、実用英語技能検定及び日本漢字能力検定の合格に係る学修の単位認定（10単位以内）も含まれる。

(11) 大学間単位互換協定

「福島大学・宇都宮大学・茨城大学との単位互換協定」、「放送大学との単位互換協定」、「茨城キリスト教大学との単位互換協定」及び「茨城県立医療大学との単位互換協定」を締結している。

(12) 他学部開設授業の履修

他の学部で開設されている授業（教育学部の「授業科目一覧および授業時間割」に掲載されていない授業）を履修する場合（自由履修単位となる）は、希望する授業科目の担当教員に必ず相談すること。学部によって履修申告の際の手続きが異なるので、希望する授業の当該学部学務係にその詳細を問い合わせること。

(13) 転課程・転コース

転課程・転コース試験に合格した者は、2年次（又は3・4年次）から教育学部内にある他の専攻（課程・コース・系・選修）に移籍することができる。

2-1-4 課程ごとの履修基準

(1) 学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、小学校・中学校・特別支援学校の教員を養成する課程で、以下に示す2つのコースからなる。いずれのコースも卒業のためには「日本国憲法2単位」「体育2単位」「外国語コミュニケーション2単位」「情報機器の操作2単位」の取得が必要となる。さらに、学校教育コースでは、「介護等の体験」の実施が必要となる。

【学校教育コース】

学校教育コースでは、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状（各選修で定められた教科）の両方について取得可能な要件を満たすこと（小・中学校教諭どちらか必ず一種免許状の要件を満たすこと。両方二種免許状では不可。）を、卒業に必要な条件としている。小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の組み合わせは、以下2種類のタイプがある。

Aタイプ＝小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状の取得

Bタイプ＝小学校教諭二種免許状と中学校教諭一種免許状の取得

このタイプとは別に、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方で一種を取得することも可能である。

【特別支援教育コース】

特別支援教育コースでは、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状の両方について取得可能な要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。なお、中学校教諭

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

普通免許状を取得することも可能である。

学校教育教員養成課程の履修基準

科目区分			所要単位		
			学校教育		特別支援 教育
			Aタイプ	Bタイプ	
教養科目	共通基礎科目	外国語科目	6		
		健康・スポーツ科目	2		
		情報関連科目	2		
	主題別科目	分野別教養科目	6～		
		分野別基礎科目(人文系)	2		
		総合科目	4～		
		主題別ゼミナール	2		
合計修得単位			26		
専門科目	教職に関する科目		52(4)	48(2)	46(4)
	教科に関する科目(小学校)		14(6)	4	14(6)
	教科に関する科目(中学校)		10	26(6)	0
	特別支援教育に関する科目		0		29
	卒業研究		4		
合計修得単位			80	82	93
自由履修			19	17	6
卒業に必要な合計修得単位			125		

注) () 内の数字は、教員免許状取得の際「教科又は教職に関する科目」として申請される科目の単位数を示す。詳しくは、以下の該当する項目を参照すること。

a. 教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得するための科目群である。これには、教科指導、生徒指導等に関する科目、教育実習など学校での教授・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれ、受けようとする免許状の種類(小・中学校、教科、一種・二種)に応じ、単位を修得しなければならない。

教職に関する科目（学校教育教員養成課程）

免許法科目		学校教育		特別支援教育
		Aタイプ	Bタイプ	
教職の意義等に関する科目		必修科目 2 単位		
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8 単位 (必修科目 6 単位及び選択必修科目 2 単位)		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			
教育課程の意義及び編成の方法 特別活動の指導法		必修科目 2 単位		
教育の方法及び技術に関する科目		選択必修から 4 単位	選択必修から 2 単位	
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法 (小学校)	必修科目 9 教科 18 単位	選択必修 6 教科 12 単位 (音・図工・体のうち 2 教科 4 単位以上を含む)	必修科目 9 教科 18 単位
	各教科の指導法 (中学校)	取得する教科の 指導法 2 単位	取得する教科の 指導法 6 単位	0
	道徳の指導法	必修科目 2 単位		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目		必修科目 4 単位		
教育実習		必修科目を含み合計 8 単位		必修科目を含み合計 6 単位
教職実践演習		必修科目 2 単位		
合計修得単位		52	48	46

b. 教科に関する科目（小学校）

「教科に関する科目」（小学校）とは、小学校で設定されている各教科の内容に対応させて大学が開講している授業科目群のことである。これには、初等教育段階での教科内容の背景となる専門的な知識及び技能の修得を目的とする科目が含まれる。大学の授業科目すべてが対応しているのではなく、小学校の各教科に相当する科目「〇〇科内容研究」と「教科又は教職に関する科目」の一部が、教員免許状取得のために使用できる科目として認定されている。

個々の授業科目が、「教科に関する科目」（小学校）のどの科目に対応しているか確認し、免許状取得のために必要な内容と単位数を満たさねばならない。

教科に関する科目（小学校）の履修方法

コース	最低条件	選択履修	合計
Aタイプ 特別支援教育	「〇〇科内容研究」のうち各自選択した 4教科8単位	「〇〇科内容研究」のいずれか 「教科又は教職に関する科目」のうち小学校の教科 に対応する科目	6単位 14単位
Bタイプ	「〇〇科内容研究」のうち各自選択した 2教科4単位		4単位

Aタイプおよび特別支援教育コースでは、「〇〇科内容研究」と題された9教科の科目のうち最低4教科8単位を、Bタイプでは9教科のうち2教科4単位を各自選択して修得する。

なお、Aタイプ及び特別支援教育コースでは、上記の条件に加えて14単位のうちの6単位分を「〇〇科内容研究」か「教科又は教職に関する科目」のうち小学校の教科に該当する科目を履修して修得しなければならない。これらの単位は教員免許状取得の際に「教科又は教職に関する科目」として申請される。

Bタイプでは、上記の条件に加えて必要単位数以上修得した単位は、卒業要件としては「自由履修」の単位数として、教員免許状取得の際には「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

c. 教科に関する科目（中学校）

「教科に関する科目」（中学校）とは、中学校及び高等学校等の学校で設定されている各教科の内容に対応させて大学が開講している授業科目群のことである。これには、中等教育段階での教科内容の背景となる専門的な知識及び技能の習得を目的とする科目が含まれる。大学の授業科目すべてが対応しているのではなく、中学校・高校の免許教科に相当する科目および「教科又は教職に関する科目」のうち一部が、教員免許取得のために使用できる科目として認定されている。個々の授業科目が、各教科のどの科目に対応しているか確認し、当該教科の免許取得のために必要な内容と単位数を満たさねばならない。

教科に関する科目（中学校）の履修方法

タイプ	最低条件	選択履修	合計
Aタイプ	「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目 10単位		10単位
Bタイプ	「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目 20単位	「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目 「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目 6単位	26単位

なお、Bタイプでは、上記の条件に加えて26単位のうちの6単位分を取得免許の「教科に関する科目（中学校）」か「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目を履修して修得しなければならない。これらの単位は教員免許状取得の際に「教科又は教職に関する科目」として申請される。

Aタイプでは、上記の条件に加えて必要単位数以上修得した単位は、卒業要件としては「自由履修」の単位数として、教員免許状取得の際には「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

教科に関する科目（中学校）

●言語・社会教育系

	科目区分	所要単位数		
		中学一種	中学二種	
言語・社会教育系	国語選修	国語学	2以上	2以上
		国文学	2以上	2以上
		漢文学	2以上	2以上
		書道	2以上	2以上
		合計	20	10
	社会選修	日本史及び 外国史	2以上	2
		地理学 (地誌を含む)	2以上	2
		「法学、 政治学」	2以上	2
		「社会学、 経済学」	2以上	2
		「哲学、倫理学、 宗教学」	2以上	2
	合計	20	10	
	英語選修	英語学	2以上	2以上
		英米文学	2以上	2以上
		英語コミュニケーション	2以上	2以上
		異文化理解	2以上	2以上
		合計	20	10

●理数教育系

	科目区分	所要単位数		
		中学一種	中学二種	
理数教育系	数学選修	代数学	2以上	2
		幾何学	2以上	2
		解析学	2以上	2
		確率統計	2以上	2
		コンピュータ	2以上	2
		合計	20	10
	理科選修	物理学	2以上	科目区分各領域から 1単位以上
		物理学実験	2以上	
		化学	2以上	
		化学実験	2以上	
		生物学	2以上	
		生物学実験	2以上	
	地学	2以上	地学実験	2以上
	地学実験	2以上		
	合計	20	10	

●音楽教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
音楽教育系	音楽選修	器楽	3以上	3
		声乐	3以上	3
		ソルフェージュ	1以上	1
		指揮法	1以上	1
		音楽理論	1以上	1
		音楽史	1以上	1
		合計	20	10

●美術教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
美術教育系	美術選修	絵画	2以上	科目区分 各領域から 1単位以上
		彫刻	2以上	
		デザイン	2以上	
		工芸	2以上	
		美術理論及び 美術史	2以上	
		合計	20	

●保健体育教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
保健体育教育系	保健体育選修	体育実技	5 以上	5
		体育学	1 以上	1
		運動学	2 以上	1
		生理学	2 以上	1
		衛生学	2 以上	1
		学校保健	2 以上	1
		合 計	2 0	1 0

●技術教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
技術教育系	技術選修	木材加工(製図及び実習を含む)	3 以上	2 以上
		金属加工(製図及び実習を含む)	3 以上	2 以上
		機械(実習を含む)	2 以上	1 以上
		電気(実習を含む)	2 以上	1 以上
		栽培(実習を含む)	2 以上	1 以上
		情報とコンピュータ(実習を含む)	2 以上	1 以上
		合 計	2 0	1 0

●生活科学教育系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
生活科学教育系	家庭選修	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む)	2 以上	科目区分各領域から各1単位以上
		被服学(被服製作実習を含む)	2 以上	
		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む)	2 以上	
		住居学	2 以上	
		保育学(実習を含む)	2 以上	
合 計		2 0	1 0	

●教育科学系

	科目区分	所要単位		
		中学一種	中学二種	
教育科学系	教育基礎選修	1 教科 選択必修	III 教員免許状の履修基準により 単位を修得	III 教員免許状の履修基準により 単位を修得
		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語のうちから1教科を選択		
合 計		2 0	1 0	

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

d. 特別支援教育に関する科目

「特別支援教育に関する科目」は、特別支援学校の教員に必要な専門的内容の習得を目的とする科目で、特別支援教育コースの学生は以下の履修基準にしたがって単位を修得する。

特別支援教育に関する科目

科目区分		所要単位	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	6 以上	1 6
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	6 以上	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		6	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		5	
合計修得単位		2 9	

e. 卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。学修の成果を各コース、系、選修で定められた論文、実技又は作品等の提出や発表等の形式により公表し、その成果が評価され単位を修得する。

(2) 養護教諭養成課程

学校では養護教諭を中心として児童・生徒等の健康教育・保健指導、健康管理が行われる。保健室には、けがや疾病異常、精神的な問題を持った児童・生徒等が訪れ、いじめや保健室登校など学校が抱える様々な問題が持ち込まれる。これらの児童・生徒等に対して、担任や保護者、医療機関等と連携をとりながら、適切なケア、健康相談活動、教育への支援を行うことができる養護教諭を養成することが本課程の目的である。

養護教諭養成課程では、養護教諭一種免許状の取得要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。

なお、中学校・高等学校教諭一種免許状（保健）の取得に配慮がある。

養護教諭養成課程の履修基準

科目区分		所要単位
教養科目	共通基礎科目	外国語科目 6 健康・スポーツ科目 2 情報関連科目 2
	主題別科目	分野別教養科目 6～ 分野別基礎科目(人文系) 2 総合科目 4～ 主題別ゼミナール 2
合計修得単位		26
専門科目	教職に関する科目	33
	養護に関する科目	40
	卒業研究	4
合計修得単位		77
自由履修		22
卒業に必要な合計修得単位		125

a. 教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員である養護教諭にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得する科目群である。これには、生徒指導、教育相談等に関する科目、養護実習など学校での支援・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれている。

「教職に関する科目(養護教諭養成課程)」にしたがって単位を修得することによって、養護教諭一種免許状の取得に必要な「教職に関する科目」の修得単位が満たされ、一部は「養護又は教職に関する科目」として数えられる。また、「教育の方法及び技術」「進路指導等に関する科目」に対応した授業科目を履修し単位を修得することによって、中学校教諭一種免許状(保健)に必要な「教職に関する科目」の修得単位とすることができる。ただし、中学校教諭一種免許状(保健)を取得する場合は、次の表に加えて教育実習(養護実習とは異なる)を行い定められた単位を修得しなければならない。

教職に関する科目（養護教諭養成課程）

免許法科目		所要単位
教職の意義等に関する科目		2
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の 過程	選択必修 免許法科目 3 領域から 各 2 単位以上 合計 8 単位
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	
教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	選択必修 免許法科目 4 領域から 各 2 単位以上 合計 1 2 単位
	道徳及び特別活動に関する内容	
	教育の方法及び技術	
指導法に関する科目 ^(注)		
生徒指導及び 教育相談に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な 知識を含む）の理論及び方法	
進路指導等に関する科目		
養護実習		5
教職実践演習		2
合計修得単位		3 3

注) 受けようとする中学校教諭免許教科に対応した科目を履修すること。

b. 養護に関する科目

「養護に関する科目」は、養護教諭の免許取得のために必要な専門の科目群である。学校教育教員養成課程の「教科に関する科目」に相当するものであり、中学校教諭・高等学校教諭の「保健」の免許状取得に必要な科目と重複しているものが多い。

養護教諭が学校現場で実際に活動していくために必要な実践的な科目のほか、それらの基礎となる各種の科目とから構成されている。

次の表にしたがって単位を修得することによって養護教諭一種免許状の「養護に関する科目」及び中学校教諭一種免許状（保健）の「教科に関する科目」に必要な所要単位を満たすことができる。また、それぞれの免許状に必要な修得単位を超えて修得した単位は「養護又は教職に関する科目」あるいは「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

養護に関する科目

免許法科目	所要単位
学校保健	2 以上
養護概説	2 以上
健康相談活動の理論及び方法	2 以上
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む）	4 以上
精神保健	2 以上
栄養学（食品学を含む）	2 以上
看護学（臨床実習及び救急処置を含む）	10 以上
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2 以上
解剖学及び生理学	2 以上
合計修得単位	40

c. 卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。指導教員のもと各自が定めたテーマにしたがって論文等をまとめ、その成果が評価され単位を修得する。

(3) 情報文化課程

情報文化課程では、専門化と細分化が進む一方で、様々な分野の連携や融合も求められるという情報化社会において望まれる、多くの専門分野の知識を持ちつつその領域を複合的に連携し、社会で実践する力を持つ人間の育成をめざしている。

情報文化課程は、社会文化コース・生活デザインコース・アート文化コースの三つのコースからなるが、上記の目的を達成するために、柔軟な履修科目選択が可能な履修基準となっている。別途配布する履修モデル・課題別科目群などを参考にしながら、自分の目的に応じた科目履修計画を立てることが望ましい。

情報文化課程の履修基準

科目区分		所要単位		
教養科目	共通基礎科目	外国語科目	6	10
		健康・スポーツ科目	2	
		情報関連科目	2	
	主題別科目	分野別教養科目	6～	14～
		分野別基礎科目(人文系)	2	
総合科目		4～		
主題別ゼミナール		2		
合計修得単位		26		
専門科目	プロジェクト科目	8～		
	課程共通科目	16		
	課程専門科目	42～		
	特別演習	4		
	卒業研究	4		
合計修得単位		78		
自由履修		20		
卒業に必要な合計修得単位		124		

a. 課程共通科目

課程全体に共通する基本的知識・技術・技能を課程内の全学生に定着させることを企図した科目となっている。16単位を修得しなければならない。

b. 課程専門科目

各コースに関連する、あるいは複数のコースに関連する専門的な内容の科目をいう。42単位以上を修得しなければならない。

c. プロジェクト科目

プロジェクト科目は、1年次から3年次ないし4年次までの学生によって構成された集団が自ら企画した、あるいはそれぞれの集団に与えられたテーマにしたがって学習・研究を行う科目である。

学生は特定のプロジェクトに参加し学習・研究活動を行うが、各学年で期待される達成目標は異なっている。

- 1年次 … プロジェクトの内容の理解、基本的技術・技能の修得。
- 2年次 … 技術・技能の習得、上下の学年との調整的役割。
- 3・4年次 … 技術・技能の最終的な習得、1・2年次の指導、プロジェクト活動のマネジメント。

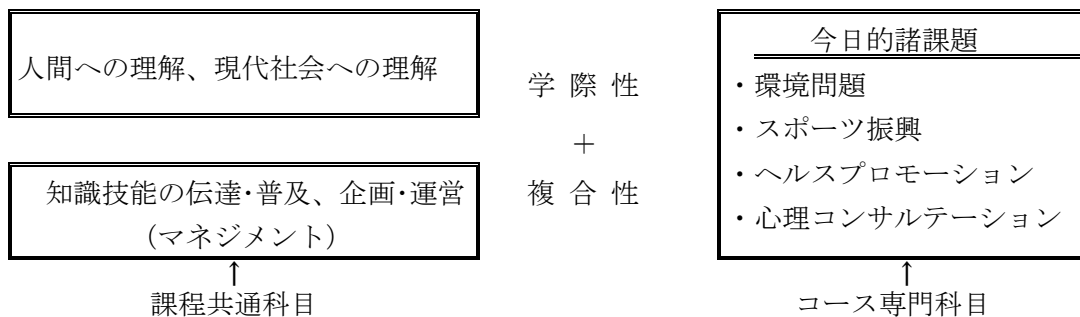
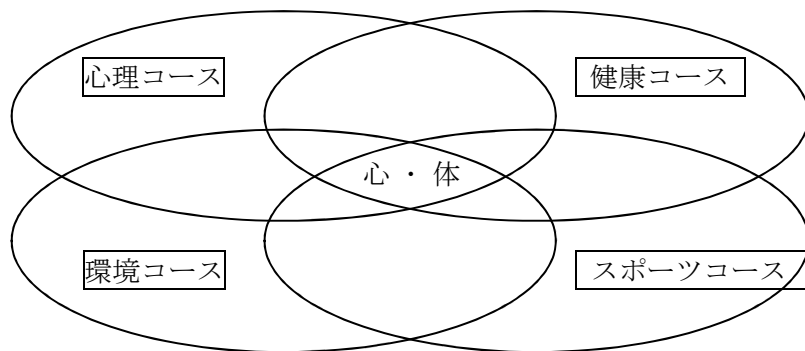
d. 特別演習 および 卒業研究

卒業研究は、特定の指導教員の下で2年間に渡る指導を受けながら、卒業論文の執筆、卒業作品の制作などを行うものである。卒業研究の指導は、卒業研究に必要な知識や技能・技術の習得、執筆・制作中の卒業研究の他学生・教員間での相互批判・検討などを行うための少人数で行うゼミ形式の授業を中心に行われる。これが3年次の「特別演習」・4年次の「卒業研究」にあたり、学生はこれらの科目を履修しなければならない。指導教員の決定方法などは2年次に行う「特別演習履修ガイダンス」にて説明する。

(4) 人間環境教育課程

人間環境教育課程は、人間の「心と体」への理解を原点にし、今日的諸課題に的確に対処できる人材を養成することを目的としている。

そのために、課程共通に「人間への理解、現代社会への理解」を深め、「知識・技能の伝達・普及、企画・運営」に関わる能力を育成し、さらに、今日的課題として注目されている「心理、健康、スポーツ、環境」の4分野について、4コースに分かれてそれぞれの専門的能力を育成している。また、各分野にまたがったテーマを学際的に学び、人と人、テーマとテーマをつなぐことができるように配慮している。



人間環境教育課程の履修基準

科目区分			所要単位	
教養科目	共通基礎科目	外国語科目	6	10
		健康・スポーツ科目	2	
		情報関連科目	2	
	主題別科目	分野別教養科目	6～	14～
		分野別基礎科目(人文系)	2	
総合科目		4～		
主題別ゼミナール		2		
合計修得単位			26	
専門科目	課程共通科目	人間理解のための科目	16	
		知識・技能の伝達等に関する科目		
	コース専門科目	各コースの専門科目	52	
	特別演習		6	
	卒業研究		4	
合計修得単位			78	
自由履修			20	
卒業に必要な合計修得単位			124	

a. 課程共通科目

課程共通科目は、次のような科目群で構成されている。

課程共通科目（人間環境教育課程）

人間理解のための科目	人間と社会を概観する科目
	現代的諸問題に関する科目
知識・技能の伝達等に関する科目	情報等の収集・利用に関する科目
	情報・技能の伝達・教育に関する科目
	決定過程等に関する科目

それぞれの科目群にまたがって履修することが望ましいが、全体で16単位を満たしていればよい。

b. コース専門科目

- ① コース専門科目は、次の4つのコース毎に52単位以上修得しなければならない。
環境コース、スポーツコース、健康コース、心理コース
- ② コース専門科目の中には、関係の深い複数のコースにまたがって設定されているものがある。申告の際には、自コースのコード番号で申告すること。
- ③ 教員免許状を取得するために必要な「教科に関する科目」、及び各種資格に必要な科目がいくつか設定されているので、「授業科目一覧および授業時間割」の免許区分欄、備考

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

欄に注意すること。

c. 特別演習

- ① 特別演習とは、3年次から4年次にかけて卒業研究のために少人数で行われるゼミ形式の授業のことをさす。
- ② 特別演習には、各コースの内容を専門的に学ぶものと、複数コースにまたがった学際的なテーマをプロジェクト的に学ぶものがある。

d. 卒業研究

- ① 特別演習によって絞り込まれた研究テーマを定められた指導教員の指導を中心に自ら研究活動を行い、その成果を定められた期日に提出する。
- ② 個人で研究する場合と複数で共同研究する場合と、特にあるテーマにしたがって教員と学生がプロジェクトを組んで合同で研究に取り組む場合がある。

2-1-5 教員免許状

教員となるためには、教育職員免許法の定める教職課程の科目を大学等で履修することなどにより、教員免許状を取得することが必要である。教員免許状には下記に示す普通免許状のほか、在学中の諸君には直接関係はないが、特別免許状、臨時免許状がある。

教員免許状（普通免許状）の種類

区分	大学院修士課程修了	大学卒業	短期大学卒業
小学校教諭	専修免許状	一種免許状	二種免許状
中学校教諭			
特別支援学校教諭	専修免許状 (+小、中、高又は 幼の普通免)	一種免許状 (+小、中、高又 は幼の普通免)	二種免許状 (+小、中、高又 は幼の普通免)
養護教諭	専修免許状	一種免許状	二種免許状
高等学校教諭			
幼稚園教諭			二種免許状

注1) 中学校及び高等学校教員免許状は、更に教科別に設けられている。また、養護教諭の免許状には、学校種別はない。

注2) 免許状の名称は「小学校教諭普通免許状（一種）」、あるいは「小学校教諭一種免許状」のように表記される。

注3) 本学部では、普通免許状の一種・二種が取得できる。また、一種免許状を取得し、本学大学院教育学研究科において定められた単位を修得した者は、専修免許状が取得できる。

(1) 教員免許状取得に必要な共通的な科目

教育職員免許法では、文部省令にしたがって「日本国憲法（2単位）」「体育（2単位）」「外国語コミュニケーション（2単位）」及び「情報機器の操作（2単位）」の修得を定め

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

ている。本大学ではこれらの科目について次のように対応させている。

教員免許状取得に必要な共通的な科目とその対応科目区分

免許状取得に必要な共通的な科目	本学で対応している科目区分	
日本国憲法	教養科目	分野別教養科目（社会の分野）
体育	教養科目	健康・スポーツ科目
外国語コミュニケーション	教養科目	外国語科目
情報機器の操作	教養科目	情報関連科目

注 1) これらの科目の単位をそれぞれ 2 単位ずつ修得していること。

(2) 教員免許状（普通免許状）取得に必要な専門科目

教育職員免許法では、免許状の種類によって履修すべき科目と必要単位数が細かく定められているが、大きく分けると次のようになる。

教員免許状取得に必要な専門科目の区分と必要単位数

免許状の種類		専門科目の区分と必要単位数					
学校種別		教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	特別支援教育に関する科目	養護又は教職に関する科目	養護に関する科目
小学校教諭	一種	4 1	1 0	8			
	二種	3 1	2	4			
中学校教諭	一種	3 1	8	2 0			
	二種	2 1	4	1 0			
特別支援学校教諭	一種				2 6		
	二種				1 6		
養護教諭	一種	2 1				7	2 8
	二種	1 4				4	2 4
高等学校教諭	一種	2 3	1 6	2 0			
幼稚園教諭	一種	3 5	1 0	6			
	二種	2 7		4			

注 1) 一種については「学士」の学位、二種については「準学士」の称号を有すること。

注 2) 特別支援学校教諭については、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。

(3) 教員免許状取得の際の留意点

- ① 修得した単位は、卒業に必要な単位として数えると同時に教員免許状取得に必要な単位としても数えることができる（別の枠組みであるとする）。
- ② 修得した教員免許状に対応した専門科目の単位は、複数の免許状取得に共通している場合、それぞれに必要な単位として数えることができる。ただし、「教職科目」の一部と「教科又は教職に関する科目」については、学校種別によって共通的に数えることができない場合があるので注意すること。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

- ③ 同一教科の中学校教諭免許状と高等学校教諭免許状を取得する際、「科目区分」が異なっている教科があるのでよく確認すること。また、「教職に関する科目」についても一部異なるので注意すること。
- ④ 免許状取得のために履修しなければならない授業科目は、「各教諭免許状の履修基準」に掲げる免許法上の科目を別誌の「授業科目一覧および授業時間割」の免許区分欄によって求めることができる。
- ⑤ 以下「各教諭免許状の履修基準」の表記については、次のように理解すること。
 - a. 「科目」とあるのは、免許法上にいう科目のことである。
 - b. 「科目」欄に“・・・（〇〇〇を含む。）”とあるのは、それを含めて履修する必要があるもの。たとえば“国文学（国文学史を含む。）”とある場合は、国文学に関する授業科目中に国文学史を含んでいる科目を履修しなければならない。
 - c. “・・・及び〇〇〇”は、両方の科目の履修を必要とするもの。たとえば、“日本史及び外国史”は、日本史に関する科目と外国史に関する科目の両方を履修しなければならない。
 - d. “「・・・、〇〇〇」”と科目名にカギカッコを付して列挙されているものは、その中の一つ以上の科目を履修する必要があるもの。たとえば、“「哲学、倫理学、宗教学」”は、哲学、倫理学、宗教学の中から一つ以上の科目を選んで履修する。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(4) 小学校教諭普通免許状

小学校教諭の免許状を取得するには、次表に示す科目の単位を修得しなければならない。

小学校教諭普通免許状

		科目の区分	各区分の最低修得単位	
		各科目に含めることが必要な事項	一種	二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	6 単位	4 単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)各教科の指導法	小学校 9 教科 各 2 単位以上	小学校 9 教科のうち、6 教科以上（音楽、図画工作及び体育のうち、2 以上を含む）をそれぞれ 2 単位以上
		(3)道徳の指導法	2 単位	1 単位
		(4)特別活動の指導法		
(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
	合計修得単位（各事項を含むこと）	2 2 単位	1 4 単位	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法			
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
	(3)進路指導の理論及び方法			
	合計修得単位（各事項を含むこと）	4 単位	4 単位	
教育実習		5 単位	5 単位	
教職実践演習		2 単位	2 単位	
合 計			4 1 単位	3 1 単位
教科又は教職に関する科目			1 0 単位	2 単位
教科に関する科目			小学校 9 教科のうち 1 以上の科目を修得	小学校 9 教科のうち 1 以上の科目を修得
合 計			8 単位	4 単位

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(5) 中学校教諭普通免許状

中学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

中学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

科目の区分		各区分の最低修得単位		
		一種	二種	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	6 単位	4 単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)各教科の指導法	それぞれ受けようとする免許教科ごとに2 単位以上 ^(注)	それぞれ受けようとする免許教科ごとに2 単位以上
(3)道徳の指導法		2 単位	1 単位	
(4)特別活動の指導法				
(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
	合計修得単位（各事項を含むこと）	1 2 単位	4 単位	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法			
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
	(3)進路指導の理論及び方法			
	合計修得単位（各事項を含むこと）	4 単位	4 単位	
教育実習		5 単位	5 単位	
教職実践演習		2 単位	2 単位	
合 計		3 1 単位	2 1 単位	
教科又は教職に関する科目		8 単位	4 単位	

注) 一種の「各教科の指導法」について、教育職員養成審議会の答申で8 単位程度修得することが望ましいとされている。本学部では6 単位を原則としている。

中学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位	
		一種	二種
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1以上	1以上
	国文学（国文学史を含む。）	1以上	1以上
	漢文学	1以上	1以上
	書道（書写を中心とする。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
社会	日本史及び外国史	1以上	1以上
	地理学（地誌を含む。）	1以上	1以上
	「法律学、政治学」	1以上	1以上
	「社会学、経済学」	1以上	1以上
	「哲学、倫理学、宗教学」	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
数学	代数学	1以上	1以上
	幾何学	1以上	1以上
	解析学	1以上	1以上
	「確率論、統計学」	1以上	1以上
	コンピュータ	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
理科	物理学	1以上	1以上
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	化学	1以上	1以上
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	生物学	1以上	1以上
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	地学	1以上	1以上
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
音楽	ソルフェージュ	1以上	1以上
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	1以上	1以上
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	1以上	1以上
	指揮法	1以上	1以上
	音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
美術	絵画（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上
	彫刻	1以上	1以上
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上
	工芸	1以上	1以上
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位	
		一種	二種
保健体育	体育実技	1以上	1以上
	「体育原理、体育心理学、体育経営学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）	1以上	1以上
	生理学（運動生理学を含む。）	1以上	1以上
	衛生学及び公衆衛生学	1以上	1以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
	保健	生理学及び栄養学	1以上
衛生学及び公衆衛生学	1以上	1以上	
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1以上	1以上	
合計修得単位	20	10	
技術	木材工（製図及び実習を含む。）	1以上	1以上
	金属加工（製図及び実習を含む。）	1以上	1以上
	機械（実習を含む。）	1以上	1以上
	電気（実習を含む。）	1以上	1以上
	栽培（実習を含む。）	1以上	1以上
	情報とコンピュータ（実習を含む。）	1以上	1以上
合計修得単位	20	10	
家庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	1以上	1以上
	被服学（縫製実習を含む。）	1以上	1以上
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	1以上	1以上
	住居学	1以上	1以上
	保育学（実習を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
英語	英語学	1以上	1以上
	英米文学	1以上	1以上
	英語コミュニケーション	1以上	1以上
	異文化理解	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(6) 特別支援学校教諭普通免許状

特別支援学校教諭の免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

特別支援教育に関する科目		最低修得単位			
		一種		二種	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	1 6	1	8
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2		1	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5		3	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3		3	
合計修得単位		2 6		1 6	

(7) 養護教諭普通免許状

養護教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「養護に関する科目」、「養護又は教職に関する科目」及び「教職に関する科目」の単位を修得しなければならない。

養護教諭普通免許状（教職に関する科目・養護又は教職に関する科目）

科目の区分		最低修得単位			
		一種	二種		
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	各科目に含めることが必要な事項			
		(1)教職の意義及び教員の役割			
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）			
	(3)進路選択に資する各種の機会の提供等				
	合計修得単位（各事項を含むこと）		2	2	
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			
	合計修得単位（各事項を含むこと）		4	2	
	教育課程に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法			
(2)道徳及び特別活動に関する内容					
(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）					
合計修得単位（各事項を含むこと）		4	2		
生徒指導及び教育相談に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法				
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
合計修得単位（各事項を含むこと）		4	2		
養護実習		5	4		
教職実践演習		2	2		
合計		2 1	1 4		
養護又は教職に関する科目		7	4		

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

養護教諭普通免許状（養護に関する科目）

養護に関する科目	最低修得単位	
	一種	二種
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	2
学校保健	2	1
養護概説	2	1
健康相談活動の理論及び方法	2	2
栄養学（食品学を含む。）	2	2
解剖学及び生理学	2	2
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	2
精神保健	2	2
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	10
合計修得単位	28	24

(8) 高等学校教諭普通免許状

高等学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

高等学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

	科目の区分		一種	
	各科目に含めることが必要な事項		各区分の最低修得単位	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
	合計修得単位（各事項を含むこと）			2単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
	合計修得単位（各事項を含むこと）			6単位
	教育課程及び指導法に関する科目 ^{注)}	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)各教科の指導法		
(4)特別活動の指導法				
(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
合計修得単位（各事項を含むこと）			6単位	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法			
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
	(3)進路指導の理論及び方法			
合計修得単位（各事項を含むこと）			4単位	
教育実習			3単位	
教職実践演習			2単位	
合計			23単位	
教科又は教職に関する科目			16単位	

注) 高等学校教諭普通免許状では、小・中学校における「教職に関する科目」の「教育課程及び指導法に関する科目」第(3)項「道徳の指導法」がないので注意すること。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

高等学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

免許教科	教科に関する科目	最低修得単位 (一種)	免許教科	教科に関する科目	最低修得単位 (一種)	
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1以上	美術	絵画(映像メディア表現を含む。)	1以上	
	国文学(国文学史を含む。)	1以上		彫刻	1以上	
	漢文学	1以上		デザイン(映像メディア表現を含む。)	1以上	
合計修得単位	20	美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)		1以上		
地理歴史	日本史	1以上	合計修得単位	20		
	外国史	1以上	工芸	図法及び製図	1以上	
	人文地理学及び自然地理学	1以上		デザイン	1以上	
	地誌	1以上		工芸制作(プロダクト制作を含む。)	1以上	
合計修得単位	20	工芸理論、デザイン理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)		1以上		
公民	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	1以上	合計修得単位	20		
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	1以上	書道	書道(書写を含む。)	1以上	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1以上		書道史	1以上	
	合計修得単位	20		「書論、鑑賞」	1以上	
		「国文学、漢文学」		1以上		
数学	代数学	1以上	合計修得単位	20		
	幾何学	1以上	保健体育	体育実技	1以上	
	解析学	1以上		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	1以上	
	「確率論、統計学」	1以上		生理学(運動生理学を含む。)	1以上	
	コンピュータ	1以上		衛生学及び公衆衛生学	1以上	
	合計修得単位	20		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	1以上	
		合計修得単位		20		
理科	物理学	1以上	保健	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	1以上	
	化学	1以上		衛生学及び公衆衛生学	1以上	
	生物学	1以上		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	1以上	
	地学	1以上		合計修得単位	20	
	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1以上		家庭	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	1以上
合計修得単位	20	被服学(被服製作実習を含む。)	1以上			
		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1以上			
		住居学(製図を含む。)	1以上			
		保育学(実習及び家庭看護を含む。)	1以上			
音楽	ソルフェージュ	1以上	工業	家庭電気・機械及び情報処理	1以上	
	声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	1以上		合計修得単位	20	
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	1以上		英語	工業の関係科目	1以上
	指揮法	1以上			職業指導	1以上
	音楽理論、作曲法(編曲法を含む。)	1以上		合計修得単位	20	
及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	1以上	英語	英語学	1以上		
合計修得単位	20		英米文学	1以上		
			英語コミュニケーション	1以上		
			異文化理解	1以上		
情報	情報社会及び情報倫理	1以上	合計修得単位	20		
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	英語	英語学	1以上	
	情報システム(実習を含む。)	1以上		英米文学	1以上	
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1以上		英語コミュニケーション	1以上	
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上		異文化理解	1以上	
	情報と職業	1以上		合計修得単位	20	
	合計修得単位	20				

(9) 幼稚園教諭普通免許状

幼稚園教諭の免許状を取得するには、次の表に示す科目の単位を修得しなければならない。

幼稚園教諭普通免許状

科目の区分		各区分の最低修得単位		
		一種	二種	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
	合計修得単位（各事項を含むこと）	6 単位	4 単位	
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)保育内容の指導法		
(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
合計修得単位（各事項を含むこと）	1 8 単位	1 2 単位		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)幼児理解の理論及び方法			
	(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位		
教育実習		5 単位	5 単位	
教職実践演習		2 単位	2 単位	
合計		3 5 単位	2 7 単位	
教科又は教職に関する科目		1 0 単位		
教科に関する科目		小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち1以上の科目について修得する	小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち1以上の科目について修得する	
合計		6 単位	4 単位	

注) 教育実習（幼稚園）5 単位については、初等教育実地研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ {教育実習（小学校）} をもって代えることができる。また、教育実習（小学校）5 単位のうち3 単位までは中等教育実地研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ {教育実習（中学校）} をもって代えることができる。

2-1-6 諸資格

(1) 社会教育主事

社会教育主事とは、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与えることを職務とする専門職員（地方公務員）である。各都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、各都道府県や市町村などで青少年から高齢者に対する様々な事業（講座等）の企画を立てたり、実際に公民館や青少年教育施設で指導・助言などをする。

本学部在学中に法令で定められた社会教育に関する科目の単位を修得し、さらに卒業後、1年以上社会教育主事補の職にあった者が、社会教育主事になることができる。つまり対応科目の単位修得によって直ちに資格が得られるものではないが、将来、社会教育関係に進む場合、有利な条件を持つことになる。

この社会教育主事となる資格を取得するには、次の表に示す基準にしたがって所要の単位を修得しなければならない。

法令に規定する科目と単位（社会教育主事）

科 目（本学部の授業科目名ではない）		所要単位
生涯学習概論		4
社会教育計画		4
社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目		4
社会教育特講Ⅰ（現代社会と社会教育）	社会教育特講Ⅰ・Ⅱ及びⅢにわたって履修すること	1 2
社会教育特講Ⅱ（社会教育活動・事業・施設）		
社会教育特講Ⅲ（その他必要な科目）		
合計修得単位		2 4

注）上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

(2) 学校図書館司書教諭

高度情報社会を迎え、学校図書館は「学習情報センター」及び「読書センター」としての機能の充実が求められている。その中心的役割を担うのが学校図書館司書教諭で、小学校・中学校・高等学校（特別支援学校を含む。）において、図書のみならず、視聴覚教育の資料・各種学習資料を収集・整理・保存し、これを児童・生徒・教師の利用に供するために様々な事業を行う専門職である。現在、小規模校を除く全ての学校に学校図書館司書教諭を置くことが推進されている。

「学校図書館司書教諭」は、いわゆる「資格」とは若干性質が異なり、「資格証明書」や「免許状」を所有するわけではない。「学校図書館司書教諭講習規定」に基づく所定の講習を受けた者に対して、文部科学大臣による「修了証書」が授与され、この「修了証書」を持つ教員（小・中・高および特別支援学校の教諭普通免許状を持つ者）が、その勤務校において「学校図書館司書教諭」となる資格を持つのである。（つまり、「修了証書」を所持していても学校に正規教員として勤務し、さらにその学校において発令がくだされなければ、「学校図書館司書教諭」にはなれない。）

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

本学部では、この講習科目に該当する科目が設けられており、5 科目 10 単位を履修し単位を修得した者は、卒業後の所定の手続きにより修了証書が授与される。

学校図書館司書教諭講習科目と単位数

科 目	単位数	備 考
学校経営と学校図書館	2	教職に関する科目中、(1) 共通に掲載
学校図書館メディアの構成	2	
情報メディアの活用	2	
学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	「教科又は教職に関する科目」に掲載
合計修得単位	10	

(3) 学芸員

学芸員とは、国立・公立・私立を問わず、様々な博物館・美術館・資料館等において資料の収集や保管、調査研究及び教育普及活動に従事する専門職員である。

本学部では、歴史系、美術系の学芸員の資格取得に配慮がある。ただし、近年、学芸員は専門的な知識ばかりでなく文化・社会・芸術について幅広い教養をそなえた研究者としての役割が期待されており、学芸員となるためには、次のような努力が必要である。

- ① 修士課程を修了しておきたい。
- ② 地方自治体の博物館や美術館では、専門職を現職教員や現職員から採用することがあるので、あらかじめそれらの職種に就ける資格を得ておきたい。

法令に規定する科目と単位（学芸員資格）

科 目（本学の授業科目名称ではない）		所要単位	
博物館に関する科目	生涯学習概論	2	全て必修
	博物館概論	2	
	博物館経営論	2	
	博物館資料論	2	
	博物館資料保存論	2	
	博物館展示論	2	
	博物館教育論	2	
	博物館情報・メディア論	2	
	博物館実習	2	
選択	文化史	これらの中から 2科目以上8単位	
	美術史		
	考古学		
	民俗学		

注1) 上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注2) 資格証書は交付されない。上記科目の単位修得証明書等を採用される博物館等に提出することで認定される。

(4) 公認スポーツ指導者

公認スポーツ指導者とは、スポーツ医・科学の知識を活かし、安全に、正しく、本質的な楽しさ、素晴らしさを伝えることができる指導者のことを指す。所定のカリキュラムによる講習会等に参加し、試験に合格すると認定される。その種類と役割は次の通り。

公認スポーツ指導者の種類と役割

種 類		役 割	所定時間
スポーツ指導者基礎資格	スポーツリーダー	地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	35h
競技別指導者資格	指導員	地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に個々人の年齢や性別などに合わせた指導にあたる。	共通Ⅰ:35h 専門:40h以上
	上級指導員	年齢や競技レベルに応じた指導にあたり、事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通Ⅰ＋Ⅱ:70h 専門:20h以上
	コーチ	広域スポーツセンターや競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5h 専門:60h以上
	上級コーチ	ナショナルレベルのトレーニング拠点において、選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ:192.5h 専門:40h以上
	教師	商業スポーツ施設等において競技別の専門的指導者として会員のニーズに合わせた実技指導を行う。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5h 専門:80h以上
フィットネス系資格	上級教師	各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など組織内指導者の中心的な役割を担う。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5h 専門:60h以上
	ジュニアスポーツ指導員	地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた動きづくりの指導を行う。	共通Ⅰ:35h 専門:40h
ゲイカ・コンディショニング資格	スポーツプログラマー	青年期以降のすべての人に対し、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通Ⅰ＋Ⅱ:70h 専門:63h
	スポーツドクター	スポーツマンの健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断、治療予防研究等にあたる。	基礎:21単位 応用:20単位
マネジメント指導者資格	アシスタントマネジャー	スポーツドクター及びコーチと協力しながら、競技者の障害予防、応急処置、リハビリテーション、トレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5h 専門:136h
	クラブマネジャー	総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする。	共通Ⅰ:35h 専門:35h
	クラブマネジャー	総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通Ⅰ:35h 専門:167.5h

本学部は、公認スポーツ指導者養成講習会の免除適応コースになっている。したがって、本学部が開設している所定の科目の単位を修得することにより、資格別に、講習あるいは試験が免除される。

免除される公認スポーツ指導者資格の種類と区分

公認スポーツ指導者の種類	共通科目	専門科目
	講習・試験	講習・試験
スポーツリーダー（注1）	免除される	該当なし
指導員・上級指導員 コーチ・上級コーチ	免除される (共通Ⅳは免除されない)	免除されない（注2）
ジュニアスポーツ指導員 スポーツプログラマー	免除される	講習のみ免除される
アスレティックトレーナー	免除される	免除されない
アシスタントマネジャー	免除される	講習のみ免除される

注1) スポーツリーダーは、基礎資格なので共通科目のみ。本学部保健体育選修・スポーツコース・健康コース修了者は、修得科目の種類にかかわらず、申請すれば資格が得られる。

注2) 競技別指導者資格の専門科目は、それぞれの種目の中央競技団体が主催する講習および検定試験を受けなければならない。

注3) スポーツドクターは医師免許を有している人のみ対象。

注4) いずれの場合も、資格申請や修了証明書発行手続きには審査料等が必要となる。

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目カリキュラム

共通Ⅰ	文化としてのスポーツ	3.75h	共通Ⅲ	社会の中のスポーツ	5h
	指導者の役割Ⅰ	5h		指導者の役割Ⅱ	7.5h
	トレーニング論	3.75h		スポーツと法	5h
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅰ	7.5h		アスリートの栄養・食事	5h
	スポーツと栄養	2.5h		スポーツの心理Ⅰ	7.5h
	指導計画と安全管理	3.75h		スポーツの心理Ⅱ	10h
	ジュニア期のスポーツ	5h		身体のしくみと働き	10h
	地域におけるスポーツ振興	3.75h		トレーニング論Ⅱ	20h
					競技者育成のための指導法
共通Ⅱ	社会の中のスポーツ	5h	共通Ⅳ	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅱ	20h
	スポーツと法	5h		トップアスリートを取り 巻く諸問題	20h
	スポーツの心理Ⅰ	7.5h		指導能力を高めるための スキルアッププログラム	20h
	スポーツ組織の運営と事業	10h			
	対象に合わせたスポーツ指導	7.5h			

注5) 免除を受けるために必要な本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注6) スポーツプログラマー及びジュニアスポーツ指導員の専門科目については、「授業科目一覧及び授業時間割」を参照すること。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(5) 健康運動指導士

健康運動指導士は、生涯を通じた国民の健康づくりに寄与する目的で創設され、生活習慣病を予防し、健康水準を保持・増進するための運動指導の専門家としての役割を担う。

本学はその養成校として認定されており、所定の単位を取得すると卒業時に受験資格が得られる。

健康運動指導士養成カリキュラム

科目（本学の授業科目名称ではない）	所要授業時間数	
健康づくり施策概論	講義 3	
健康管理概論	講義 3	
生活習慣病（成人病）	講義 13	
運動生理学	講義 12	
機能解剖とバイオメカニクス（運動・動作の力源）	講義 9	
健康づくり運動の理論	講義 9	
運動障害と予防	講義 5	
体力測定と評価	講義 2	実習 6
健康づくり運動の実際		実習 22
救急処置	講義 2	実習 2
運動プログラムの管理	講義 7	実習 6
運動負荷試験	講義 1	実習 4
運動行動変容の理論と実際	講義 3	
運動と心の健康増進	講義 4	
栄養摂取と運動	講義 6	実習 1
健康産業施設現場実習		実習

注) 上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

2-1-7 資料

(1) 教育実習

a. 教育実習とは

教育実習とは、大学在学中に一定期間継続的に幼稚園・小学校・中学校・高等学校、及び特別支援学校等での教育場面に触れ、教師や子どもが行う教育の実際を観察し、様々な教員としての職務に参加し、教材研究をして授業を実施する（あるいは指導計画を作成し授業以外の諸活動を行う）授業科目である。具体的な目的は以下の通り。

- ① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みること。
- ② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得すること。
- ③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証すること。
- ④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を刺激すること。

b. 教育（医療）現場における実習の種類

教育実習は教員免許状を取得するために必ず行わなければならない。全ての学校種に共通に「教職に関する科目」として設定されているものであり、幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校教諭免許状の取得には「教育実習」、養護教諭免許状の取得には「養護実習」として、それぞれの学校種毎に必要な単位が定められている。

この他に、特別支援学校教諭（特別支援学校の先生）の免許状を取得する場合は「特別支援教育に関する科目」、養護教諭（保健室の先生）の免許状を取得する場合は「養護に関する科目」の中にも実際に学校や病院において行われる実習（それぞれ「心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習」「臨床実習」）が設定されている。

ここでは、全ての学校種に共通した「教職に関する科目」の教育実習（養護実習）について解説しており、上述した「特別支援教育に関する科目」及び「養護に関する科目」にある実習科目については、該当する課程・コースのガイダンスに留意すること。

c. 教育実習に対応した授業科目の種類

教育職員免許法（教免法）で規定されている教育実習（養護実習）には「事前事後指導」が平行して設定されており、これを同時に受講することで教育実習の事前準備、実習中必要な知識・技術や心構え等の学習、さらに実習の成果を後につなげ、さらに深めるための学習等が行われる。

本学部では、各学校種等に応じて3・4年次に2—3週間程度の集中授業として設定される「教育実地研究（4または2単位）」及び「養護教育実地研究（2単位）」と、1・2年次に行われる「教育実地研究入門I・II（各1単位）」及び2年次に行われる「養護実地研究入門（1単位）」が設定されている。

教育実習に対応した本学部の科目の種類

	必要単位数	教育実習	事前指導
小学校教諭	5	初等教育実地研究（事後指導を含む）	教育実地研究入門
中学校教諭	5	中等教育実地研究（事後指導を含む）	
高等学校教諭	3	中等教育実地研究（事後指導を含む）	
幼稚園教諭	5	幼児教育実地研究（事後指導を含む）	
特別支援学校教諭	3	特別支援教育実地研究（事前事後指導を含む）	
養護教諭	5	養護教育実地研究（事後指導を含む）	養護実地研究入門

注意事項

- ① 教育職員免許法（教免法）施行規則の定めでは、教育実習の総単位数の一定部分には、他の学校種の免許状取得のための教育実習の単位をあてることが可能となっている。そこで、学校教育教員養成課程学校教育コースでは、初等教育実地研究 4 または 2 単位と中等教育実地研究 4 または 2 単位に加えて教育実地研究入門 I・II の 2 単位を修得すれば、計 8 単位で、小学校・中学校両方の教員免許が取得できるように設定されている。
- ② 同様に教免法では、隣り合った学校段階で教育実習を代替することも可能とされている。したがって、たとえば小学校教諭免許状を取得するために「初等教育実地研究」を履修していれば、それはそのまま幼稚園教諭免許状取得のための教育実習の単位として使用することができる。
- ③ 教育実習の履修にあたっては、履修申告のためのオリエンテーションが行われる。そこで履修基準を満たしているかどうか判断され、各学校種の教員免許状取得のために必要な教育実習の種類と単位数が示される。オリエンテーションは教育実習実施前に随時行われるので、掲示に注意すること。

d. 教育実習を実施する学校

教育実習は、本学部附属学校（園）を中心に周辺の協力校、及び実習者の出身校で行われる。学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程の学生は、オリエンテーションによって実施する学校が割り振られる。また、情報文化課程及び人間環境教育課程の学生で教員免許状の取得を希望する学生は、原則として各自の出身校に自ら連絡をとり、それぞれの出身校で実習を行なう（「帰省実習」と呼ぶ）。いずれの場合も事前のオリエンテーションで必要な手続きをとらなければ実施できないので注意すること。

(2) 介護等体験

a. 介護等体験の趣旨

平成 9 年に「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」、いわゆる「介護等体験特例法」が公布された。これにより「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連体の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点」から、小・中学

校の教諭の普通免許状を取得しようとする者に、「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験」を行うことが義務づけられた。この体験を通して、以下のことを学ぶ。

- ① 人間の尊さや人権を理解する。
- ② 一人一人が違った個性と能力を有していることを実感し、様々な価値観があることを理解する。
- ③ 諸施設やそこで働いている人々について理解する。

b. 対象学生

上記の法律は平成 10 年度から施行されており、平成 10 年度以降の大学等入学者に適用される。本学部の学校教育教員養成課程（特別支援教育コースを除く）及び養護教諭養成課程の学生と、情報文化課程と人間環境教育課程の学生のうち教員免許取得を希望する者が対象となる。看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士などの免許を既に取得している人や、身体障害者手帳の交付を受けている人は免除される。

c. 体験の期間・時間

18 歳に達した後に、原則として社会福祉施設又は老人保健施設で 5 日間、特別支援学校で 2 日間、合計 7 日間以上の介護等の体験を行う必要がある。茨城大学では、2 年次に上記の日数をそれぞれ連続 5 日間及び連続 2 日間、大学の割り当てた施設で行うこととしている。1 年次の 1 月頃にオリエンテーションが実施される。

1 日当たりの必要時間は、「介護等の体験の内容等を総合的に勘案しつつ、適切な時間を確保するものとする」となっており、受入施設側の裁量に委ねられる。社会福祉施設の場合、原則として日帰りで概ね 5～6 時間程度とする。

d. 介護等体験の内容

介護等体験の内容は次の 2 つに大別されるが、具体的に何を行うかは受け入れ側の判断による。

- ① 直接的に介護・介助・交流等を行う：食事、排泄等の介護・介助、話し相手、散歩等の交流、学習活動等の支援や手伝い
- ② 受入施設・学校の職員の業務の補助：行事・バザー等の手伝い、掃除・洗濯・おむつたたみ等

e. 受入施設及び学校の概要

① 社会福祉施設又は老人保健施設

ア. 社会福祉施設：憲法第 25 条に定めた国民の「生存権」、すなわち「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障するためにつくられたもの。

a. 高齢者施設（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、デイサービスセンター、他）

- b. 児童福祉・障害児施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、知的障害児施設、肢体不自由児施設、児童自立支援施設、他）
 - c. 障害者にかかわる施設（身体障害者施設、知的障害者施設、精神障害者施設）
 - d. 生活保護にかかわる施設（救護施設、他）
- イ. 老人保健施設：高齢者の病院等からの居宅復帰を支援するためにリハビリテーション機能を重視し、医療ケアと生活サービスをあわせて提供する施設。医療施設と福祉施設の中間的機能を有する。
- ② 特別支援学校：視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱などの子どもが通っている学校。
- ア. 盲学校（盲児、強度弱視児）
 - イ. 聾学校（聾児、高度難聴児）
 - ウ. 知的障害特別支援学校（知的発達の遅滞の程度が中等以上の子ども等）
 - エ. 肢体不自由特別支援学校（運動・動作の不自由の程度が重度な子ども等）
 - オ. 病弱特別支援学校（慢性疾患で長期にわたって医療又は生活規則が必要な子ども等）

(3) 手続き

概ね次の事項が必要となる。

① 健康診断書

体験前には、健康診断を受診し、健康診断書を体験先に持参しなければならない。

② 証明書

体験終了時には、それぞれの体験先で「証明書」を受け取ることになる。これは、教員免許状を申請する際（4年次の11月頃）に必要なため、大切に保管する必要がある。

③ 学生個人票

体験前に作成し、証明書の用紙とともに体験先に持参する。

④ 保険

以下の2つの保険に加入する。

- ・「学生教育研究災害傷害保険」

原則として、学生本人の傷害等に対して支払われる。

- ・「学研災付帯賠償責任保険（Aコース：学生教育研究賠償責任保険）」

他人に傷害を与えたり、他人の財物を損壊した場合に支払われる。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(4) 実用英語技能検定及び日本漢字能力検定合格者に係る単位認定

a. 認定授業科目及び単位数

このことについて、合格者は下記のように単位が認定される。

実用英語技能検定合格者の認定科目及び単位数

準 1 級			1 級		
認定授業科目	区分	単位数	認定授業科目	区分	単位数
英語コミュニケーションⅡ	専門科目	2	英語コミュニケーションⅡ	専門科目	2
英語コミュニケーションⅣ	専門科目	2	英語コミュニケーションⅣ	専門科目	2
			英語コミュニケーションⅥ	専門科目	2
認定単位数		4	認定単位数		6
合計		6 単位 (限度)			

日本漢字能力検定合格者の認定科目及び単位数

準 1 級 以 上			
認定授業科目	区分	単位数	備 考
国語学演習Ⅱ	専門科目	2	認定は 1 回とし、左記認定授業科目のうち、いずれか 1 科目 2 単位とする。 なお、認定授業科目については、学生が選択する。
中国文字学研究	専門科目	2	
認定単位数		2 単位	

b. 認定願受付期間 (受付最終日が土曜日の場合は前日、日曜日の場合は前々日)

受付は年 2 回とし、次の期間とする。

1 回目：8 月 20 日～8 月 31 日

2 回目：1 月 20 日～1 月 31 日

c. 認定の通知

認定された者については、「単位認定通知書」を本人に交付する。なお、交付日等に関しては別に掲示する。

d. その他

- ① 上記認定は、「茨城大学における大学以外の教育施設等における学修及び入学前の既修得単位等認定に関する規程第 1 条 (12) に基づく単位の認定である。
- ② 「単位認定願」は教育学部学務係で受領し、受付期間内に同係へ提出すること。
- ② 上記の単位認定については、教育学部在籍者に限る。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

2-1-8 開設科目と受講者数

(1) 教職に関する科目

a. 共通

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0001	教育実践と教師(A)(教職共通)	望月 厚志	前期	火	2	常勤	233
P0002	教育実践と教師(B)(教職共通)	望月 厚志	前期	火	1	常勤	60
P0004	教育の本質と理念(A)(B)(教職共通)	小川 哲哉	前期	木	1	常勤	170
P0006	教育の本質と理念(C)(D)(教職共通)	小川 哲哉	後期	木	1	常勤	138
P0008	学校と教育の歴史	佐藤 環	後期	木	4	常勤	182
P0009	人間教育の心理学(A)(B)(教職共通)	丸山 広人	後期	木	1	常勤	169
P0011	人間教育の心理学(C)(D)(教職共通)	丸山 広人	前期	木	1	常勤	137
P0013	発達の理解 I	渡部 玲二郎	前期	木	3	常勤	113
P0014	発達の理解 II	村野井 均	後期	木	3	常勤	50
P0015	教育の制度と経営(A)(D)	加藤 崇英	前期	木	2	常勤	214
P0016	教育の制度と経営(B)(C)	加藤 崇英	後期	木	2	常勤	109
P0020	学校教育課程論(A)	佐藤 環	前期	月	2	常勤	0
P0021	学校教育課程論(B)	佐藤 環	後期	月	2	常勤	0
P0022	学校教育課程論(C)(D)	佐藤 環	前期	月	2	常勤	198
P0024	学校教育課程論(E)(F)	佐藤 環	後期	月	2	常勤	127
P0026	幼児教育課程論	佐藤 環	通年	集中		常勤	56
P0027	道徳と価値の教育(A)	青柳 路子	前期	月	2	常勤	105
P0028	道徳と価値の教育(B)(C)(D)	青柳 路子	後期	月	2	常勤	202
P0031	学習指導の方法	杉本 憲子	後期	木	3	常勤	235
P0032	教育の方法と技術(A)	杉本 憲子	前期	木	3	常勤	105
P0033	教育の方法と技術(B)	杉本 憲子	後期	火	4	常勤	148
P0034	情報教育指導法	本田 敏明	後期	木	4	常勤	11
P0036	技能伝達法(教職共通)	加藤 敏弘	前期	火	1	常勤	22
P0037	視聴覚教育メディア論	小泉 晋弥	後期	集中		常勤	1
P0038	生活指導の方法(A)	生越 達	後期	木	2	常勤	1
P0039	生活指導の方法(B)	生越 達	前期	木	2	常勤	2
P0040	生活指導の方法(C)(F)	生越 達	後期	木	2	常勤	215
P0041	生活指導の方法(D)(E)	生越 達	前期	木	2	常勤	109
P0044	学校教育相談(A)(C)	三輪 壽二	後期	月	2	常勤	110
P0045	学校教育相談(B)(D)(E)(F)	三輪 壽二	前期	月	2	常勤	199
P0050	幼児理解の理論と方法	村野井 均	通年	集中		常勤	87
P0053	生涯学習論(教職共通)	望月 厚志	後期	集中		常勤	18
P0054	学校経営と学校図書館	名城 邦孝	前期	金	2	非常勤	90
P0055	学校図書館メディアの構成	名城 邦孝	後期	金	2	非常勤	51
P0056	情報メディアの活用	速水 智子	前期	集中		非常勤	52
P0057	学習指導と学校図書館	名城 邦孝	後期	集中		非常勤	41
P0058	幼児教育の内容と方法	神永 直美	前期	月	5	非常勤	32
P0060	教職実践演習(教諭)	野崎 英明	後期	集中		常勤	266
P0061	教職実践演習(養護教諭)	青柳 直子	後期	集中		常勤	36

b. 初等教育の教科の指導法

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0201	初等国語科教育法研究(A)	昌子 佳広	前期	月	3	常勤	83

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0202	初等国語科教育法研究(B)	鈴木 一史	前期	月	3	常勤	74
P0203	初等国語科教育法研究(C)	昌子 佳広	後期	月	3	常勤	50
P0204	初等国語科教育法研究(D)	鈴木 一史	後期	月	3	常勤	40
P0205	初等社会科教育法研究(A)	木村 勝彦	後期	月	2	常勤	72
P0206	初等社会科教育法研究(B)(D)	木村 勝彦	前期	火	1	常勤	118
P0207	初等社会科教育法研究(C)	木村 勝彦	前期	月	2	常勤	49
P0209	算数科教育法研究(A)	根本 博	前期	火	2	常勤	80
P0210	算数科教育法研究(B)	根本 博	後期	火	2	常勤	73
P0211	算数科教育法研究(C)	小口 祐一	後期	月	1	常勤	47
P0212	算数科教育法研究(D)	小口 祐一	前期	月	2	常勤	38
P0213	算数科教育法特講 I	久野 勝敬	後期	火	3	非常勤	18
P0214	算数科教育法特講 II	根本 博	前期	火	5	常勤	28
P0216	初等理科教育法研究(A)(B)	山本 勝博	前期	金	1	常勤	143
P0218	初等理科教育法研究(C)(D)	山本 勝博	前期	火	2	常勤	92
P0220	初等音楽科教育法研究(A)	田中 健次	前期	火	2	常勤	40
P0221	初等音楽科教育法研究(B)	田中 健次	後期	火	3	常勤	43
P0222	初等音楽科教育法研究(C)	藤田 文子	前期	金	2	常勤	15
P0223	初等音楽科教育法研究(D)	田中 健次	前期	月	1	常勤	38
P0224	初等音楽科教育法研究(E)	田中 健次	後期	月	1	常勤	42
P0225	初等音楽科教育法研究(F)	藤田 文子	後期	金	2	常勤	55
P0226	図画工作科教育法研究(A)	金子 一夫	後期	月	1	常勤	97
P0227	図画工作科教育法研究(B)	金子 一夫	前期	木	1	常勤	80
P0228	図画工作科教育法研究(C)	向野 康江	前期	月	1	常勤	72
P0229	図画工作科教育法研究(D)	向野 康江	後期	木	1	常勤	46
P0230	体育科教育法研究(A)	中嶋 哲也	前期	火	1	常勤	38
P0231	体育科教育法研究(B)	渡邊 將司	前期	火	2	常勤	64
P0232	体育科教育法研究(C)	上地 勝	前期	木	1	常勤	75
P0233	体育科教育法研究(D)	富樫 泰一	前期	木	2	常勤	38
P0234	体育科教育法研究(A)[後期]	吉野 聡	後期	火	1	常勤	37
P0235	体育科教育法研究(B)[後期]	吉野 聡	後期	火	2	常勤	66
P0236	体育科教育法研究(C)[後期]	大津 展子	後期	木	1	常勤	64
P0237	体育科教育法研究(D)[後期]	大津 展子	後期	木	2	常勤	39
P0238	初等家庭科教育法研究(A)	石島 恵美子	後期	木	1	常勤	67
P0239	初等家庭科教育法研究(B)	野中 美津枝	後期	木	5	常勤	89
P0240	初等家庭科教育法研究(C)(D)	石島 恵美子	前期	木	1	常勤	75
P0242	生活科教育法研究(A)(B)	木村 勝彦	後期	火	5	常勤	234
P0244	保育内容の研究(健康)	渡邊 將司	前期	火	3	常勤	33
P0245	保育内容の研究(人間関係)	丸山 広人	後期	木	5	常勤	34
P0246	保育内容の研究(環境)	野崎 英明	前期	金	4	常勤	45
P0247	保育内容の研究(言葉)	橋浦 洋志	後期	火	3	常勤	34
P0248	保育内容の研究(表現)	小泉 晋弥	後期	水	5	常勤	22

c. 中等教育の教科の指導法

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0301	国語科教育法研究	鈴木 一史	前期	水	1	常勤	58
P0305	国語科教育法特講 I	鈴木 一史	後期	金	2	常勤	50
P0306	国語科教育法特講 II	昌子 佳広	前期	火	3	常勤	19

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0313	国語科教育法演習 I	昌子 佳広	後期	月	5	常勤	38
P0316	書道科教育法研究 I	齋木 久美	後期	金	4	常勤	15
P0318	中等社会科教育法研究	村山 朝子	前期	火	3	常勤	35
P0323	社会科教育法特講 II	村山 朝子	後期	金	2	常勤	34
P0325	社会科教育法演習 I	木村 勝彦	通年	月	4	常勤	7
P0326	社会科教育法演習 II	村山 朝子	通年	火	2	常勤	6
P0327	社会科教科論	村山 朝子	後期	金	4	常勤	14
P0328	地理歴史科教育法研究 I	村山 朝子	前期	金	4	常勤	15
P0331	公民科教育法研究 I	木村 勝彦	後期	火	2	常勤	5
P0334	数学科教育法研究 I	根本 博	前期	金	2	常勤	34
P0335	数学科教育法研究 II	根本 博	後期	金	2	常勤	35
P0339	数学科教育法演習 I	根本 博	前期	木	5	常勤	30
P0340	数学科教育法演習 II	小口 祐一	前期	火	3	常勤	33
P0341	数学科教科論	小口 祐一	前期	集中		常勤	0
P0342	中等理科教育法研究	山本 勝博	前期	木	3	常勤	26
P0347	理科教育法特講A	大辻 永	後期	月	2	常勤	27
P0349	中等理科内容研究	松川 覚	後期	木	3	常勤	32
P0351	物理学実験指導法	矢島 裕介	後期	金	1	常勤	3
P0352	化学実験指導法	松川 覚	前期	金	4	常勤	2
P0354	地学実験指導法	伊藤 孝	前期	金	4	常勤	1
P0355	理科教科論	山本 勝博	後期	火	1	常勤	20
P0356	理科教育演習 I	山本 勝博	後期	木	4	常勤	6
P0358	理科教育演習B	山本 勝博	通年	木	5	常勤	3
P0359	音楽科教育法研究 I	田中 健次	後期	月	5	常勤	15
P0360	音楽科教育法研究 II	田中 健次	前期	火	5	常勤	15
P0361	音楽科教育法研究 III	藤田 文子	後期	木	3	常勤	14
P0363	美術科教育法研究	金子 一夫	前期	木	5	常勤	17
P0364	美術科内容研究	向野 康江	後期	木	3	常勤	17
P0365	美術科教科論	金子 一夫	前期	集中		常勤	16
P0367	保健体育科教育法研究 I	吉野 聡	後期	金	2	常勤	42
P0368	保健体育科教育法研究 II	大津 展子	前期	木	3	常勤	32
P0369	保健体育科教育法研究 III	青柳 直子	前期	金	1	常勤	24
P0370	陸上競技指導法	上地 勝	後期	木	3	常勤	6
P0372	ダンス・身体表現指導法	瀬谷 元子	前期	木	4	非常勤	0
P0373	水泳指導法	富樫 泰一	前期	集中		常勤	19
P0374	バスケットボール指導法	加藤 敏弘	前期	火	3	常勤	3
P0375	サッカー指導法	吉野 聡	後期	火	4	常勤	0
P0377	バレーボール指導法	勝本 真	前期	金	4	常勤	10
P0378	卓球・テニス指導法	日下 裕弘	前期	火	3	常勤	2
P0379	ソフトボール指導法	大津 展子	後期	金	4	常勤	1
P0380	柔道指導法	中嶋 哲也	後期	火	2	常勤	0
P0381	剣道指導法	巽 申直	前期	火	1	常勤	3
P0382	野外運動指導法	富樫 泰一	通年	集中		常勤	0
P0383	スキー指導法	富樫 泰一	後期	集中		常勤	6
P0385	技術科教育法研究 I	大西 有	後期	集中		常勤	19
P0386	技術科教育法研究 II	大西 有	後期	火	4	常勤	17
P0387	技術科教科論	工藤 雄司	前期	火	3	常勤	17

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0388	技術科内容研究	大西 有	前期	集中		常勤	14
P0389	技術科指導論	臼坂 高司	通年	集中		常勤	0
P0390	技術科指導法(木材加工実習)	臼坂 高司	前期	月	4	常勤	9
P0391	技術科指導法(金属加工実習)	野崎 英明	前期	金	4	常勤	3
P0392	技術科指導法(機械実習)	堤 一郎	前期	火	4	常勤	5
P0396	技術科教育演習A	工藤 雄司	前期	火	1	常勤	3
P0398	技術科教育法特講 I	工藤 雄司	後期	集中		常勤	2
P0399	技術科教育法特講 II	工藤 雄司	後期	集中		常勤	14
P0404	家庭科教育実践研究	野中 美津枝	前期	木	4	常勤	17
P0405	家庭科教育学演習 I	石島 恵美子	後期	木	2	常勤	3
P0406	家庭科教育学演 II	野中 美津枝	後期	水	2	常勤	3
P0407	中等家庭科教育法研究	野中 美津枝	後期	金	3	常勤	17
P0408	中等家庭科内容研究	野中 美津枝	後期	火	3	常勤	16
P0409	家庭科教科論	野中 美津枝	前期	金	1	常勤	17
P0410	情報科教育法 I	本田 敏明	前期	木	3	常勤	3
P0413	英語科教育法研究 I	猪井 新一	前期	水	1	常勤	17
P0414	英語科教育法研究 II	齋藤 英敏	前期	木	2	常勤	11
P0415	英語科内容研究	猪井 新一	後期	金	2	常勤	19
P0416	英語科教育法特講	齋藤 英敏	後期	木	2	常勤	8
P0417	英語科教科論 I	相原 和恵	後期	金	2	非常勤	29
P0418	英語科教科論 II	齋藤 英敏	前期	木	4	常勤	17
P0419	保健科内容研究 I	青柳 直子	前期	水	1	常勤	36
P0420	保健科内容研究 II	青柳 直子	後期	集中		常勤	16
P0421	保健科教育法研究	青柳 直子	前期	金	1	常勤	38
P0422	保健科教育法演習	青柳 直子	後期	木	1	常勤	37

d. 教育実習

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0601	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		常勤	0
P0602	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		常勤	0
P0603	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		常勤	0
P0604	教育実践研究	関係教員	通年	集中		常勤	0
P0605	教育実地研究入門 I	関係教員	通年	集中		常勤	285
P0606	教育実地研究入門 II(A)(B)	関係教員	通年	集中		常勤	290
P0608	初等教育実地研究 I	関係教員	通年	集中		常勤	0
P0609	中等教育実地研究 I	関係教員	通年	集中		常勤	0
P0610	初等教育実地研究 I	関係教員	通年	集中		常勤	128
P0611	中等教育実地研究 I	関係教員	通年	集中		常勤	99
P0612	初等教育実地研究 II	関係教員	通年	集中		常勤	94
P0613	中等教育実地研究 II	関係教員	通年	集中		常勤	133
P0615	中等教育実地研究 III	関係教員	通年	集中		常勤	12
P0616	中等教育実地研究 IV	関係教員	通年	集中		常勤	3
P0617	中等教育実地研究 V	関係教員	通年	集中		常勤	14
P0618	中等教育実地研究 VI	関係教員	通年	集中		常勤	22
P0619	特別支援教育実地研究	関係教員	通年	集中		常勤	20
P0621	特別支援教育実地研究	関係教員	通年	集中		常勤	11
P0622	幼児教育実地研究 I	関係教員	通年	集中		常勤	2

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0623	幼児教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		常勤	5
P0624	養護実地研究入門	関係教員	通年	集中		常勤	38
P0625	養護実践研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		常勤	38
P0627	養護実践研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		常勤	30
P0628	養護教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		常勤	37
P0629	養護教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		常勤	37
P0630	養護教育実地研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		常勤	0

(2)教科又は教職に関する科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0701	特別なニーズをもつ子どもの教育	荒川 智	後期	火	5	常勤	36
P0703	教師のキャリア・デザイン	望月 厚志	後期	火	4	常勤	104
P0704	環境教育論【全教科】	郡司 晴元	後期	金	2	常勤	4
P0705	食生活と健康【全教科】	西川 陽子	前期	金	2	常勤	18
P0706	生活環境学【全教科】	山本 和恵	後期	集中		非常勤	3
P0709	教育における平和学	橋浦 洋志	後期	火	5	常勤	22
P0711	ものづくり体験	堤 一郎	前期	水	2	常勤	24
P0713	コミュニケーション演習【全教科】	加藤 敏弘	後期	水	2	常勤	2
P0714	こころを育てるグループワーク	正保 春彦	後期	月	3	常勤	32
P0715	子どもの遊びと体験学習	日下 裕弘	前期	水	3	常勤	34
P0716	現代教育の実践的課題	野崎 英明	通年	集中		常勤	73
P0719	小学校英語ⅠB	猪井 新一	後期	火	4	常勤	16
P0720	小学校英語Ⅱ	下 薫	後期	木	4	非常勤	15
P0721	小学校英語ⅠA	下 薫	前期	木	5	非常勤	35
P0722	読書と豊かな人間性	昌子 佳広	後期	水	1	常勤	26
P0723	郷土の言葉	川嶋 秀之	後期	月	5	常勤	37
P0724	ヨーロッパの歴史と文化(教科又は教職)	藤崎 衛	後期	火	3	常勤	26
P0725	憲法と社会生活	中野 雅紀	後期	木	5	常勤	0
P0726	茨城の歴史と文化(教科又は教職)	千葉 真由美	後期	火	1	常勤	29
P0728	言語と文化の諸相	君塚 淳一	前期	集中		常勤	11
P0730	音楽通論Ⅱ	山口 哲人	後期	火	2	常勤	18
P0731	現代音楽へのいざない	山口 哲人	前期	火	4	常勤	13
P0732	デッサンの基礎Ⅰ	片口 直樹	前期	集中		常勤	14
P0733	デッサンの基礎Ⅱ	島 剛	前期	集中		常勤	13
P0734	デッサンの基礎Ⅲ	島 剛	前期	集中		常勤	16
P0735	デッサンの基礎Ⅳ	島 剛	後期	集中		常勤	15
P0736	デッサンⅠ	島 剛	前期	集中		常勤	6
P0737	デッサンⅡ	片口 直樹	後期	集中		常勤	5
P0739	美術教育授業研究Ⅰ	島田 裕之	後期	集中		常勤	14
P0740	美術教育授業研究Ⅱ	片口 直樹	前期	集中		常勤	15
P0741	美術教育授業研究Ⅲ	島田 裕之	後期	集中		常勤	15
P0742	現代人の健康(教科又は教職)	松坂 晃	後期	金	2	常勤	20
P0743	住居環境学	乾 康代	後期	木	3	常勤	18
P0744	住環境計画学(教科又は教職)	乾 康代	前期	金	3	常勤	0
P0745	小児・思春期保健学	青柳 直子	前期	水	2	常勤	0

(3)教科に関する科目

a. 小学校

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0801	初等国語科内容研究(A)	橋浦 洋志	後期	木	2	常勤	72
P0802	初等国語科内容研究(B)	橋浦 洋志	前期	木	2	常勤	72
P0803	初等国語科内容研究(C)	川嶋 秀之	前期	木	2	常勤	57
P0804	初等国語科内容研究(D)	川嶋 秀之	後期	木	2	常勤	50
P0805	初等書写内容研究(A)	齋木 久美	後期	木	2	常勤	110
P0806	初等書写内容研究(B)	齋木 久美	前期	木	2	常勤	114
P0807	初等社会科内容研究(A)(C)	大島 規江	前期	金	2	常勤	104
P0808	初等社会科内容研究(B)(D)	大島 規江	後期	月	1	常勤	96
P0811	算数科内容研究(A)(B)	松村 初	後期	金	1	常勤	120
P0813	算数科内容研究(C)(D)	吉井 豊	前期	金	1	常勤	64
P0815	初等理科内容研究(A)	小野 義隆	後期	火	1	常勤	33
P0816	初等理科内容研究(B)	伊藤 孝	後期	火	1	常勤	62
P0817	初等理科内容研究(C)(D)	上栗 伸一	後期	火	1	常勤	6
P0819	初等理科実験観察内容研究	松川 覚	後期	火	4	常勤	0
P0820	生活科内容研究(A)	木村 勝彦	前期	火	5	常勤	105
P0821	生活科内容研究(B)	木村 勝彦	前期	火	4	常勤	114
P0822	初等音楽科内容研究(A)	山口 哲人	後期	月	3	常勤	45
P0823	初等音楽科内容研究(B)	谷川 佳幸	前期	月	3	常勤	71
P0824	初等音楽科内容研究(C)	田中 宏明	前期	木	4	常勤	63
P0825	初等音楽科内容研究(D)	神部 智	後期	木	4	常勤	43
P0827	図画工作科内容研究(A)	金子 一夫	前期	火	2	常勤	30
P0828	図画工作科内容研究(B)	甲斐 教行	前期	木	2	常勤	14
P0829	図画工作科内容研究(C)	島田 裕之	前期	金	2	常勤	9
P0830	図画工作科内容研究(D)	向野 康江	前期	月	5	常勤	15
P0831	初等家庭科内容研究(A)(C)	石島 恵美子	後期	火	2	常勤	117
P0832	初等家庭科内容研究(B)	石島 恵美子	前期	火	2	常勤	71
P0834	体育科内容研究(A)(C)	吉野 聡	前期	火	1	常勤	114
P0835	体育科内容研究(B)(D)	大津 展子	前期	月	1	常勤	80

b. 中学校

国語

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P0901	国語学概論	川嶋 秀之	前期	月	5	常勤	54
P0902	国語表現法	川嶋 秀之	後期	金	3	常勤	53
P0905	国語学演習Ⅰ	川嶋 秀之	前期	金	5	常勤	32
P0906	国語学演習Ⅱ	川嶋 秀之	前期	月	3	常勤	12
P0911	国文学史	橋浦 洋志	後期	木	5	常勤	64
P0913	古典文学研究Ⅰ	栗山 元子	前期	集中		非常勤	48
P0919	近・現代散文研究Ⅰ	橋浦 洋志	前期	金	3	常勤	39
P0920	近・現代散文研究Ⅱ	橋浦 洋志	後期	金	3	常勤	27
P0925	近・現代韻文演習Ⅰ	橋浦 洋志	前期	金	4	常勤	30
P0926	近・現代韻文演習Ⅱ	橋浦 洋志	後期	金	4	常勤	25
P0931	漢文学基礎	増子 和男	後期	木	4	常勤	47
P0932	漢文学概論	増子 和男	前期	火	1	常勤	43
P0933	漢文学演習Ⅰ	増子 和男	後期	火	3	常勤	39
P0934	漢文学演習Ⅱ	増子 和男	後期	火	2	常勤	7

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0935	漢文学研究法 I	増子 和男	前期	火	3	常勤	47
P0936	漢文学研究法 II	増子 和男	前期	木	4	常勤	8
P0939	鑑賞	齋木 久美	後期	水	2	常勤	19
P0940	書道 I	齋木 久美	前期	金	2	常勤	54
P0941	書道 II	齋木 久美	後期	金	2	常勤	48
P0942	書道 III	齋木 久美	前期	金	3	常勤	28
P0945	かな書法研究	齋木 久美	前期	火	5	常勤	10
P0946	書道史	齋木 久美	前期	水	2	常勤	21

社会

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1002	基礎世界史	藤崎 衛	前期	金	1	常勤	14
P1003	基礎地理	大島 規江	前期	火	3	常勤	23
P1004	社会科教育学入門	木村 勝彦	後期	水	1	常勤	24
P1006	日本史概説 II	千葉 真由美	前期	金	3	常勤	52
P1007	日本史特講 I	千葉 真由美	後期	月	3	常勤	10
P1008	日本史特講 II	内山 俊身	後期	木	5	非常勤	1
P1009	日本史特講 III	添田 仁	後期	火	4	常勤	1
P1010	日本史特講 IV	佐々木 啓	前期	金	4	常勤	0
P1011	日本史演習	千葉 真由美	通年	火	4	常勤	11
P1012	歴史学特別演習	千葉 真由美	後期	集中		常勤	16
P1014	考古学特講	千葉 隆司	後期	月	3	非常勤	25
P1015	西洋史概説 I	藤崎 衛	後期	木	3	常勤	36
P1017	西洋史特講 I	藤崎 衛	後期	金	3	常勤	21
P1020	西洋史特講 IV	森下 嘉之	前期	木	3	常勤	3
P1021	西洋史演習 I	藤崎 衛	通年	火	5	常勤	8
P1022	西洋史演習 II	森下 嘉之	通年	木	4	常勤	0
P1024	東洋史特講 I	澁谷 浩一	後期	月	3	常勤	3
P1025	東洋史特講 II	山田 桂子	後期	火	2	常勤	0
P1028	東洋史演習 I	澁谷 浩一	通年	火	2	常勤	0
P1029	東洋史演習 II	山田 桂子	通年	月	5	常勤	0
P1030	人文地理学 I	小野寺 淳	後期	火	3	常勤	34
P1032	人文地理学 III	小原 規宏	後期	金	3	常勤	4
P1033	人文地理学 IV	小原 規宏	前期	金	3	常勤	5
P1034	人文地理学 V	Chienwei YEH	前期	火	4	常勤	2
P1035	人文地理学 VI	堤 純	後期	集中		非常勤	0
P1036	歴史地理学 I	小野寺 淳	後期	月	4	常勤	4
P1038	人文地理学演習	小野寺 淳	通年	月	5	常勤	7
P1039	地理学研究法	大島 規江	前期	木	4	常勤	17
P1041	自然地理学 I	田瀬 則雄	後期	金	4	常勤	16
P1042	自然地理学 II	田瀬 則雄	前期	月	3	常勤	9
P1043	自然地理学 III	島野 安雄	前期	集中		非常勤	17
P1044	自然地理学演習	田瀬 則雄	通年	金	3	常勤	2
P1046	地誌学 I	横山 貴史	後期	集中		非常勤	10
P1047	地誌学 II	田中 耕市	前期	金	2	常勤	9
P1048	地誌学 III	大島 規江	後期	木	4	常勤	3
P1050	地誌学演習	大島 規江	通年	月	5	常勤	4

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1051	地理学野外実習Ⅲ	大島 規江	通年	集中		常勤	20
P1052	法と社会	中野 雅紀	前期	木	5	常勤	35
P1053	法学概論	中野 雅紀	後期	月	5	常勤	33
P1054	法学演習	中野 雅紀	通年	木	3	常勤	2
P1055	法学特論	中野 雅紀	後期	月	4	常勤	1
P1058	政治学概論	賀来 健輔	前期	火	2	常勤	28
P1063	文化の社会学	岩佐 淳一	後期	火	5	常勤	3
P1064	マス・コミュニケーション論(社会情報)	岩佐 淳一	前期	木	1	常勤	26
P1065	社会学特講	岩佐 淳一	後期	木	1	常勤	19
P1066	社会福祉論[2単位]	渋谷 敦司	前期	火	3	常勤	10
P1068	国際経済史	山本 尚史	通年	集中		非常勤	31
P1073	社会と思想(社会選修)	木村 競	前期	月	1	常勤	41
P1075	哲学概論Ⅱ	伊藤 聡	前期	木	4	常勤	20
P1076	哲学特講Ⅱ[2単位]	渡邊 邦夫	後期	木	2	常勤	4
P1077	哲学演習	渡邊 邦夫	後期	火	4	常勤	0
P1078	倫理学概論	木村 競	前期	水	1	常勤	43

英語

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1101	英語学概論Ⅰ	伊藤 礼子	前期	金	4	非常勤	22
P1102	英語学概論Ⅱ	福井龍太	後期	水	1	非常勤	17
P1103	英文法	中本 恭平	前期	集中		非常勤	12
P1107	英語学演習Ⅰ	未定	前期	木	1	非常勤	0
P1108	英語学演習Ⅱ	未定	後期	木	3	非常勤	0
P1109	英米文学概論Ⅰ	小林 英美	前期	火	3	常勤	24
P1110	英米文学概論Ⅱ	君塚 淳一	後期	木	3	常勤	5
P1111	英米文学特講Ⅰ	小林 英美	後期	水	2	常勤	17
P1112	英米文学特講Ⅱ	小林 英美	後期	金	5	常勤	5
P1113	英米文学特講Ⅲ	君塚 淳一	後期	木	4	常勤	4
P1114	英米文学特講Ⅳ	君塚 淳一	後期	木	1	常勤	1
P1115	英米文学演習Ⅰ	小林 英美	前期	金	3	常勤	21
P1116	英米文学演習Ⅱ	小林 英美	後期	月	4	常勤	14
P1117	英米文学演習Ⅲ	君塚 淳一	前期	月	5	常勤	12
P1118	英米文学演習Ⅳ	君塚 淳一	前期	月	4	常勤	9
P1119	英米文学・文化から教える英語テキスト	君塚 淳一	後期	月	5	常勤	25
P1120	英語コミュニケーションⅠ	アーメンド ディナ	前期	火	3	非常勤	11
P1121	英語コミュニケーションⅡ	アーメンド ディナ	後期	火	3	非常勤	10
P1122	英語コミュニケーションⅢ	猪井 新一	後期	水	1	常勤	31
P1123	英語コミュニケーションⅣ	アーメンド ディナ	前期	火	1	非常勤	13
P1124	英語コミュニケーションⅤ	アーメンド ディナ	前期	火	2	非常勤	13
P1125	英語コミュニケーションⅥ	アーメンド ディナ	後期	火	2	非常勤	12
P1126	英語コミュニケーションⅦ	齋藤 英敏	後期	金	3	常勤	11
P1128	英語コミュニケーションⅨ	齋藤 英敏	前期	金	2	常勤	26
P1129	英語コミュニケーションⅩ	バツセンジャー C	前期	月	3	常勤	11
P1131	英語コミュニケーションⅫ	齋藤 英敏	前期	金	4	常勤	8
P1132	異文化理解	小林 英美	後期	集中		常勤	5
P1133	異文化間コミュニケーション	君塚 淳一	通年	集中		常勤	15

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

数学

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1201	代数学の基礎Ⅰ	吉井 豊	前期	金	5	常勤	37
P1202	代数学の基礎Ⅱ	吉井 豊	後期	金	5	常勤	38
P1203	代数学A	吉井 豊	前期	木	3	常勤	41
P1204	代数学B	吉井 豊	後期	木	3	常勤	24
P1205	代数学C	松村 初	前期	木	4	常勤	38
P1206	代数学D	吉井 豊	後期	金	3	常勤	20
P1208	幾何学の基礎Ⅰ	栗原 博之	前期	木	5	常勤	40
P1209	幾何学の基礎Ⅱ	栗原 博之	後期	火	2	常勤	31
P1210	幾何学A	栗原 博之	前期	金	5	常勤	29
P1211	幾何学B	栗原 博之	後期	金	5	常勤	20
P1212	幾何学C	栗原 博之	前期	金	4	常勤	8
P1213	幾何学D	栗原 博之	後期	金	4	常勤	4
P1214	解析学の基礎Ⅰ	梅津 健一郎	前期	水	1	常勤	54
P1215	解析学の基礎Ⅱ	梅津 健一郎	後期	水	1	常勤	38
P1216	解析学A	梅津 健一郎	前期	火	3	常勤	30
P1217	解析学B	梅津 健一郎	後期	火	3	常勤	23
P1218	解析学C	梅津 健一郎	前期	月	3	常勤	21
P1219	解析学D	梅津 健一郎	後期	月	3	常勤	10
P1220	応用解析学Ⅰ	曾我 日出夫	後期	火	3	常勤	36
P1223	確率統計概論	松村 初	前期	金	3	常勤	32
P1226	コンピュータ概論	松村 初	後期	月	4	常勤	33

理科

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1301	基礎物理学	永尾 敬一	前期	火	1	常勤	35
P1302	電磁気学	永尾 敬一	後期	水	1	常勤	7
P1303	量子物性概論	矢島 裕介	前期	火	5	常勤	1
P1304	量子力学	矢島 裕介	後期	火	3	常勤	6
P1305	実験物理学演習	矢島 裕介	後期	木	4	常勤	0
P1306	理論物理学演習	永尾 敬一	後期	木	4	常勤	2
P1307	物理学演習A	矢島 裕介	通年	木	5	常勤	1
P1308	物理学演習B	永尾 敬一	通年	木	5	常勤	2
P1309	物理学実験Ⅰ	矢島 裕介	後期	金	1~2	常勤	21
P1311	基礎化学(中教科:理科)	青島 政之	後期	火	2	常勤	25
P1312	有機化学	松川 覚	前期	金	2	常勤	28
P1313	環境化学	松川 覚	後期	月	4	常勤	15
P1314	物理化学演習	青島 政之	後期	木	5	常勤	1
P1315	無機物理化学	青島 政之	前期	水	1	常勤	4
P1316	有機化学演習	松川 覚	後期	木	5	常勤	2
P1317	化学演習	松川 覚	通年	木	4	常勤	2
P1318	化学実験Ⅰ	松川 覚	前期	金	4~5	常勤	27
P1319	化学実験Ⅱ	松川 覚	後期	金	4~5	常勤	8
P1320	基礎生物学	棗田 孝晴	前期	月	5	常勤	23
P1321	動物生態学	棗田 孝晴	後期	月	3	常勤	13
P1322	植物学	小野 義隆	前期	月	4	常勤	16

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1323	植物分類学	小野 義隆	前期	火	1	常勤	1
P1327	植物学演習	小野 義隆	後期	月	5	常勤	0
P1328	動物学演習	棗田 孝晴	後期	月	5	常勤	0
P1329	生物学演習	小野 義隆	通年	木	5	常勤	3
P1330	生物学実験	棗田 孝晴	前期	火	3~4	常勤	14
P1331	生物学野外実習	小野 義隆	前期	集中		常勤	17
P1333	基礎地学	上栗 伸一	前期	火	3	常勤	26
P1334	環境地球科学	伊藤 孝	前期	水	1	常勤	26
P1335	岩石学	伊藤 孝	後期	木	2	常勤	9
P1336	地質学	上栗 伸一	後期	水	1	常勤	11
P1338	気象学	伊藤 孝	後期	金	3	常勤	19
P1339	地球科学演習	伊藤 孝	後期	木	4	常勤	6
P1340	地学演習	伊藤 孝	通年	木	5	常勤	8
P1341	地学実験A	上栗 伸一	前期	金	4~5	常勤	22
P1342	地学実験B	伊藤 孝	後期	月	4~5	常勤	10
P1343	地学野外実習	伊藤 孝	前期	集中		常勤	8

音楽

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1401	ピアノ I a(必修・伴奏を含む)	田中 宏明	前期	火	3	常勤	7
P1402	ピアノ I b	田中 宏明	後期	水	1	常勤	7
P1403	ピアノ I c(必修・伴奏を含む)	神部 智	前期	金	2	常勤	7
P1404	ピアノ I d	神部 智	後期	金	2	常勤	7
P1405	ピアノ II a	田中 宏明	前期	水	1	常勤	7
P1406	ピアノ II b	田中 宏明	後期	火	1	常勤	7
P1407	ピアノ II c	神部 智	前期	金	3	常勤	7
P1408	ピアノ II d	神部 智	後期	金	3	常勤	7
P1409	ピアノ III a	田中 宏明	前期	水	2	常勤	8
P1410	ピアノ III b	田中 宏明	後期	火	2	常勤	8
P1411	管打楽器	脇岡 宗一	前期	水	4	常勤	8
P1412	管打楽器	脇岡 宗一	後期	水	3	常勤	13
P1413	管打楽器	脇岡 宗一	前期	水	3	常勤	7
P1414	管打楽器	脇岡 宗一	後期	水	5	常勤	2
P1415	弦楽器	野末 あけみ	前期	水	5	非常勤	13
P1416	合奏	脇岡 宗一	前期	木	3	常勤	15
P1418	独唱 I a	谷川 佳幸	前期	火	1	常勤	9
P1419	独唱 I b	谷川 佳幸	後期	火	1	常勤	7
P1420	独唱 I c	藤田 文子	前期	金	3	常勤	7
P1421	独唱 I d	藤田 文子	後期	金	3	常勤	7
P1422	独唱 II a(選択必修)	谷川 佳幸	前期	木	1	常勤	9
P1423	独唱 II b	谷川 佳幸	後期	火	3	常勤	8
P1424	独唱 II c(選択必修)	藤田 文子	前期	木	4	常勤	7
P1425	独唱 II d	藤田 文子	後期	木	4	常勤	7
P1426	独唱 III a	谷川 佳幸	前期	水	1	常勤	5
P1427	独唱 III b	谷川 佳幸	後期	水	1	常勤	3
P1428	合唱(2単位)	谷川 佳幸	後期	木	2	常勤	15
P1429	日本音楽(箏唄)	大須賀 佳緒里	後期	集中		非常勤	30

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1430	ソルフェージュ I	山口 哲人	前期	水	1	常勤	14
P1431	ソルフェージュ II	田中 宏明	後期	火	3	常勤	15
P1432	指揮法	山口 哲人	後期	火	1	常勤	15
P1433	和声学 I	山口 哲人	前期	火	3	常勤	15
P1435	対位法 I	山口 哲人	後期	火	3	常勤	14
P1437	作曲法 I	山口 哲人	前期	月	4	常勤	15
P1439	作曲特別演習 I	山口 哲人	前期	月	3	常勤	5
P1440	作曲特別演習 II	山口 哲人	後期	月	4	常勤	2
P1441	音楽史(2 単位)	神部 智	前期	金	5	常勤	15
P1443	音楽学 I	神部 智	後期	木	5	常勤	10
P1445	音楽学特別演習 I	神部 智	前期	木	3	常勤	0
P1446	音楽学特別演習 II	神部 智	後期	水	2	常勤	0
P1447	音楽教育特別演習 I	田中 健次	前期	水	2	常勤	0
P1448	音楽教育特別演習 II	田中 健次	後期	水	1	常勤	0
P1449	音楽教育特別演習 III	藤田 文子	前期	水	2	常勤	0
P1450	音楽教育特別演習 IV	藤田 文子	後期	水	2	常勤	0
P1451	弦楽器	野末 あけみ	後期	集中		非常勤	10
P1452	弦楽器	野末 あけみ	後期	集中		非常勤	10

美術

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1501	絵画基礎	片口 直樹	前期	金	2	常勤	14
P1502	絵画 I	片口 直樹	前期	火	3	常勤	16
P1503	絵画 II	片口 直樹	後期	月	3	常勤	9
P1504	絵画表現演習 I	片口 直樹	前期	金	3	常勤	6
P1505	絵画表現演習 II	片口 直樹	後期	金	3	常勤	5
P1506	彩画特別演習	片口 直樹	通年	集中		常勤	0
P1507	絵画特別演習	神谷 佳男	通年	集中		非常勤	6
P1508	彫刻基礎	島 剛	前期	月	5	常勤	14
P1509	彫刻 I	島 剛	前期	金	5	常勤	7
P1510	彫刻 II	島 剛	後期	金	2	常勤	4
P1511	彫刻表現演習 I	島 剛	前期	金	1	常勤	3
P1512	彫刻表現演習 II	島 剛	後期	金	1	常勤	2
P1513	塑造特別演習	島 剛	後期	集中		常勤	0
P1514	彫刻特別演習	島 剛	後期	集中		常勤	3
P1515	デザイン基礎(学校・表現)	島田 裕之	後期	金	2	常勤	16
P1516	デザイン I	島田 裕之	前期	木	1	常勤	14
P1517	デザイン II	島田 裕之	後期	火	3	常勤	14
P1518	デザイン表現演習 I	島田 裕之	前期	木	5	常勤	6
P1519	デザイン表現演習 II	島田 裕之	後期	木	5	常勤	4
P1520	デザイン特別演習	山崎 曜	通年	集中		非常勤	0
P1521	工芸基礎	寺本 輝正	後期	金	5	常勤	3
P1522	工芸 I	寺本 輝正	前期	金	3	常勤	15
P1523	工芸 II	寺本 輝正	後期	金	3	常勤	13
P1524	工芸表現演習 I	寺本 輝正	前期	木	3	常勤	1
P1525	工芸表現演習 II	寺本 輝正	後期	木	3	常勤	0
P1527	図法及び製図	齋藤 芳徳	前期	火	3	常勤	14

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1528	西洋美術史Ⅰ	甲斐 教行	前期	木	5	常勤	10
P1529	西洋美術史Ⅱ	甲斐 教行	後期	集中		常勤	3
P1530	日本美術史Ⅰ	小泉 晋弥	前期	木	3	常勤	17
P1531	日本美術史Ⅱ	小泉 晋弥	後期	木	4	常勤	5
P1532	西洋美術史特別演習Ⅰ	甲斐 教行	前期	火	5	常勤	0
P1533	西洋美術史特別演習Ⅱ	甲斐 教行	後期	木	2	常勤	1
P1534	日本美術史特別演習Ⅰ	小泉 晋弥	前期	月	3	常勤	8
P1535	日本美術史特別演習Ⅱ	小泉 晋弥	後期	月	3	常勤	7
P1536	日本美術実地研究	小泉 晋弥	通年	集中		常勤	13
P1539	デザイン理論	齋藤 芳徳	後期	月	2	常勤	12
P1540	美術批評論	小泉 晋弥	後期	火	2	常勤	8
P1542	美術科教育特別演習AI	金子 一夫	前期	火	4	常勤	6
P1543	美術科教育特別演習BI	向野 康江	前期	月	4	常勤	0
P1544	美術科教育特別演習AII	金子 一夫	後期	火	4	常勤	6
P1545	美術科教育特別演習BII	向野 康江	後期	木	4	常勤	0

保健体育

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1601	陸上競技	渡邊 将司	後期	木	3	常勤	20
P1602	ギムナスティック	會沢 哲史	前期	金	4	非常勤	18
P1603	ダンス・身体表現	瀬谷 元子	前期	木	4	非常勤	20
P1604	水泳	富樫 泰一	前期	集中		常勤	22
P1605	バスケットボール	加藤 敏弘	前期	火	3	常勤	22
P1606	ソフトボール	大津 展子	後期	金	4	常勤	11
P1607	サッカー	吉野 聡	後期	火	4	常勤	19
P1608	バレーボール(中教科:保体)	勝本 真	前期	金	4	常勤	19
P1609	卓球・テニス	日下 裕弘	前期	火	3	常勤	15
P1610	柔道	中嶋 哲也	後期	火	2	常勤	22
P1611	剣道	巽 申直	前期	火	1	常勤	20
P1612	野外運動	富樫 泰一	通年	集中		常勤	3
P1613	スキー	渡邊 将司	後期	集中		常勤	16
P1614	体育学概論	中嶋 哲也	前期	金	1	常勤	20
P1615	体育史	中嶋 哲也	後期	木	1	常勤	10
P1616	測定評価	渡邊 将司	後期	金	3	常勤	3
P1617	スポーツ心理学(免許あり)	中島 宣行	後期	集中		非常勤	37
P1618	体育経営管理学	日下 裕弘	前期	火	2	常勤	15
P1620	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	後期	月	2	常勤	20
P1621	運動学概論	勝本 真	後期	金	1	常勤	20
P1622	トレーニング法	渡邊 将司	後期	火	3	常勤	38
P1625	陸上競技方法論	渡邊 将司	後期	木	4	常勤	21
P1628	ボールゲーム方法論Ⅰ	加藤 敏弘	前期	火	4	常勤	1
P1629	ボールゲーム方法論Ⅱ	日下 裕弘	後期	火	3	常勤	0
P1630	武道方法論	中嶋 哲也	後期	火	1	常勤	20
P1631	生理学概論	松坂 晃	前期	月	4	常勤	24
P1632	形態学	渡邊 将司	前期	金	2	常勤	19
P1633	スポーツ医学	富樫 泰一	後期	集中		常勤	38
P1634	栄養学《生理学(運生含)》	西川 陽子	後期	木	4	常勤	0

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1635	運動処方論	松坂 晃	後期	月	4	常勤	17
P1637	スポーツ栄養学	古旗 照美	通年	集中		非常勤	20
P1638	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	後期	金	4	常勤	22
P1639	健康調査解析法	上地 勝	前期	金	2	常勤	10
P1640	学校保健概論(中教科:保体選修)	上地 勝	後期	月	4	常勤	21
P1641	救急処置法	富樫 泰一	通年	集中		常勤	28
P1642	保健体育総合演習	渡邊 将司	前期	集中		常勤	19
P1643	保健体育特別演習 I	渡邊 将司	後期	集中		常勤	14
P1644	保健体育特別演習 II	渡邊 将司	前期	集中		常勤	16

技術

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1701	製図 I	堤 一郎	前期	水	1	常勤	19
P1702	基礎木材加工	臼坂 高司	前期	火	3	常勤	19
P1703	木材加工の基礎技術	臼坂 高司	前期	月	4~5	常勤	19
P1704	木材加工の応用技術	臼坂 高司	後期	月	4~5	常勤	19
P1705	木材加工学	臼坂 高司	後期	火	3	常勤	4
P1706	木材加工演習	臼坂 高司	前期	火	1	常勤	4
P1707	製図 II	野崎 英明	後期	金	2	常勤	19
P1708	基礎金属加工	野崎 英明	後期	金	1	常勤	21
P1709	金属加工の基礎技術	野崎 英明	前期	金	4~5	常勤	17
P1710	金属加工の応用技術	野崎 英明	後期	金	4~5	常勤	16
P1711	金属加工学	野崎 英明	前期	金	3	常勤	17
P1712	金属加工演習	野崎 英明	前期	火	1	常勤	4
P1713	基礎機械工学	堤 一郎	後期	火	3	常勤	19
P1714	機械の基礎技術	堤 一郎	前期	火	4~5	常勤	19
P1715	機械の応用技術	堤 一郎	後期	火	4~5	常勤	16
P1716	機械工学	堤 一郎	後期	水	2	常勤	2
P1717	機械工学演習	堤 一郎	前期	火	1	常勤	2
P1718	基礎電気	榊 守	後期	水	1	常勤	20
P1719	電気の基礎技術	榊 守	前期	木	3~4	常勤	17
P1720	電気の応用技術	榊 守	後期	木	4~5	常勤	4
P1721	電気工学	榊 守	前期	水	1	常勤	10
P1722	電気工学演習	榊 守	前期	火	1	常勤	2
P1723	基礎栽培学	大西 有	前期	金	5	常勤	19
P1724	栽培の基礎技術	大西 有	前期	月	3~4	常勤	19
P1725	栽培の応用技術	大西 有	後期	月	3~4	常勤	18
P1726	栽培学	大西 有	後期	木	3	常勤	19
P1727	栽培演習	大西 有	前期	火	1	常勤	4
P1728	基礎情報処理(高教科:工業)	工藤 雄司	後期	木	2	常勤	3
P1729	情報処理の基礎技術 I	佐々木 忠之	前期	木	2	常勤	20
P1730	情報処理の基礎技術 II	関 友作	前期	金	3	常勤	19
P1731	情報処理の応用技術	佐々木 忠之	後期	金	3~4	常勤	0
P1732	情報教育研究法(技術)	工藤 雄司	後期	集中		常勤	9
P1734	情報基礎演習	田村 俊之	前期	集中		非常勤	9
P1735	職業指導原論 I	大平 典男	後期	集中		非常勤	7

家庭

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1801	食物科学	西川 陽子	前期	火	1	常勤	20
P1802	食品衛生管理学	西川 陽子	後期	集中		常勤	13
P1803	食生活論	西川 陽子	前期	木	4	常勤	17
P1804	栄養学《食物学》	西川 陽子	後期	木	4	常勤	8
P1805	食物学演習	西川 陽子	後期	水	2	常勤	3
P1806	調理学基礎[1単位]	石島 恵美子	前期	金	2	常勤	17
P1807	調理学応用	石島 恵美子	後期	金	2	常勤	11
P1808	被服科学	木村 美智子	後期	火	3	常勤	18
P1809	衣生活論	木村 美智子	前期	木	5	常勤	20
P1811	アパレル科学	木村 美智子	前期	火	4	常勤	9
P1812	被服学演習	木村 美智子	後期	水	2	常勤	2
P1813	被服構成学基礎	木村 美智子	前期	水	1	常勤	19
P1814	被服構成学応用	米今 由希子	後期	集中		非常勤	8
P1815	住居計画学	乾 康代	前期	金	5	常勤	20
P1816	住居デザインⅠ	乾 康代	後期	金	5	常勤	0
P1817	住居デザインⅡ	乾 康代	前期	水	2	常勤	0
P1818	住居学演習	乾 康代	後期	木	4	常勤	0
P1819	保育学	数井 みゆき	前期	木	5	常勤	17
P1820	養育環境学	数井 みゆき	後期	火	5	常勤	6
P1821	親子関係学	数井 みゆき	前期	月	5	常勤	16
P1822	保育学演習	数井 みゆき	後期	木	4	常勤	3
P1823	家庭経営学	佐藤 裕紀子	前期	金	4	常勤	17
P1824	家事労働論	佐藤 裕紀子	後期	金	2	常勤	17
P1825	現代家族論	佐藤 裕紀子	後期	金	4	常勤	30
P1826	家族とジェンダー	佐藤 裕紀子	後期	火	4	常勤	14
P1827	家庭経営学演習	佐藤 裕紀子	後期	木	2	常勤	3
P1828	家庭電気・機械	榊 守	後期	集中		常勤	20
P1829	情報教育研究法(家庭)	工藤 雄司	後期	集中		常勤	12

教育基礎

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1901	教育哲学	青柳 路子	後期	月	4	常勤	4
P1902	教育哲学特講	小川 哲哉	前期	火	3	常勤	4
P1903	教育思想	青柳 路子	前期	月	4	常勤	7
P1905	教育史演習Ⅰ	小川 哲哉	後期	火	3	常勤	14
P1906	教育史演習Ⅱ	佐藤 環	後期	金	2	常勤	0
P1907	教育史特講	佐藤 環	前期	金	1	常勤	4
P1908	教育行政特講	加藤 崇英	前期	金	5	常勤	0
P1909	教育行政演習	加藤 崇英	後期	金	5	常勤	0
P1910	社会教育計画Ⅰ	長谷川 幸介	前期	木	3	常勤	13
P1911	社会教育計画Ⅱ	長谷川 幸介	後期	木	3	常勤	13
P1912	社会教育演習	望月 厚志	後期	火	2	常勤	4
P1913	社会教育実習	望月 厚志	通年	集中		常勤	6
P1915	学習指導演習	杉本 憲子	後期	金	4	常勤	7
P1916	教育的関係論演習	未定	通年	集中		非常勤	0
P1917	教育的関係論特講	未定	通年	集中		非常勤	0

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1918	学習指導特講	杉本 憲子	前期	金	4	常勤	2
P1919	教育課程演習	打越 正貴	後期	火	5	常勤	5

(4)高等学校「情報」

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P1951	情報社会及び情報倫理	實原 隆志	通年	集中		非常勤	16
P1953	情報技術演習Ⅰ	佐々木 忠之	後期	金	3~4	常勤	1
P1957	情報システム演習	田村 俊之	前期	集中		非常勤	1
P1958	情報通信ネットワーク	工藤 雄司	前期	火	2	常勤	6
P1959	情報通信ネットワーク演習	工藤 雄司	後期	木	2	常勤	0
P1961	マルチメディア表現の理論及び演習	小泉 晋弥	後期	集中		常勤	9
P1962	情報編集法	関 友作	後期	木	1	常勤	13
P1963	シミュレーション技法	野崎 英明	後期	月	5	常勤	11
P1964	情報と職業	工藤 雄司	後期	集中		常勤	1

(5)特別支援教育に関する科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P2101	特別支援教育原論	荒川 智	前期	火	4	常勤	37
P2102	障害児教育学演習Ⅰ	荒川 智	後期	集中		常勤	3
P2103	障害児教育学演習Ⅱ	新井 英靖	後期	集中		常勤	5
P2104	特別支援教育研究法	新井 英靖	前期	月	4	常勤	21
P2106	知的障害児の心理	細川 美由紀	前期	火	5	常勤	35
P2107	知的障害児の生理	勝二 博亮	後期	月	4	常勤	35
P2108	知的障害児の病理	勝二 博亮	前期	集中		常勤	42
P2109	障害児心理学演習Ⅰ	細川 美由紀	後期	集中		常勤	6
P2110	障害児心理学演習Ⅱ	東條 吉邦	後期	集中		常勤	0
P2111	障害児生理学演習Ⅰ	田原 敬	通年	集中		常勤	3
P2112	障害児生理学演習Ⅱ	勝二 博亮	後期	集中		常勤	3
P2113	肢体不自由児の生理	岡澤 慎一	後期	集中		非常勤	48
P2114	病弱児の生理	勝二 博亮	前期	金	4	常勤	50
P2115	知的障害児の教育方法	新井 英靖	前期	金	1	常勤	32
P2116	知的障害児教育実践論	関係教員	前期	金	2	常勤	32
P2117	知的障害児指導法演習	新井 英靖	後期	水	1~2	常勤	38
P2118	障害児発達臨床学	東條 吉邦	後期	火	2	常勤	45
P2119	障害児心理診断法	細川 美由紀	前期	集中		常勤	15
P2120	肢体不自由児の教育方法	新井 英靖	後期	水	1~2	常勤	39
P2121	病弱児の教育方法	新井 英靖	前期	月	3	常勤	37
P2122	聴覚言語病理	田原 敬	後期	火	3	常勤	28
P2123	感覚障害児の教育	田原 敬	前期	集中		常勤	20
P2124	重度重複障害児教育論	林 恵津子	前期	集中		非常勤	52
P2125	発達障害児教育概論	東條 吉邦	前期	火	3	常勤	43
P2126	障害児生理機能評価法	勝二 博亮	後期	木	5	常勤	15
P2127	障害児教育総論	荒川 智	前期	水	1	常勤	50

(6)養護に関する科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P3001	衛生学	瀧澤 利行	前期	金	2	常勤	37
P3002	公衆衛生学	瀧澤 利行	前期	火	5	常勤	37

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P3003	保健福祉論	瀧澤 利行	前期	火	2	常勤	5
P3004	保健学演習	青柳 直子	後期	木	3	常勤	35
P3005	学校保健概論(養護教諭)	瀧澤 利行	前期	金	5	常勤	41
P3006	小児健康運動学	松坂 晃	後期	金	4	常勤	35
P3007	養護学概論	斉藤 ふくみ	後期	火	2	常勤	38
P3009	養護実践論	斉藤 ふくみ	後期	火	3	常勤	39
P3010	養護活動と関連法規	瀧澤 利行	後期	金	3	常勤	37
P3011	養護活動演習 I	斉藤 ふくみ	後期	金	2	常勤	38
P3012	養護活動演習 II	斉藤 ふくみ	前期	火	1	常勤	36
P3016	健康相談活動	斉藤 ふくみ	前期	火	3	常勤	37
P3018	栄養学《栄養学》	西川 陽子	後期	木	4	常勤	39
P3019	解剖生理学	石原 研治	前期	木	2	常勤	42
P3020	解剖生理学演習	石原 研治	後期	木	2	常勤	39
P3021	障害児の病理	勝二 博亮	前期	集中		常勤	37
P3022	免疫学 I	石原 研治	後期	金	2	常勤	38
P3023	免疫学 II	石原 研治	前期	木	4	常勤	38
P3024	薬理学	石原 研治	前期	金	2	常勤	38
P3025	精神保健	瀧澤 利行	前期	火	4	常勤	36
P3026	精神医学	古池 雄治	後期	木	2	常勤	38
P3027	臨床医学概論	古池 雄治	前期	木	5	常勤	40
P3028	学校看護学概論	廣原 紀恵	前期	水	1	常勤	40
P3029	学校看護学実習	廣原 紀恵	前期	火	3	常勤	38
P3029	学校看護学実習	廣原 紀恵	前期	火	4	常勤	38
P3030	学校救急看護	廣原 紀恵	前期	火	1	常勤	38
P3031	学校救急看護実習	廣原 紀恵	後期	火	1~2	常勤	38
P3032	学校救急看護演習 I	廣原 紀恵	後期	集中		常勤	34
P3034	内科系臨床医学・看護学	古池 雄治	後期	木	5	常勤	39
P3035	外科系臨床医学・看護学	古池 雄治	後期	金	1	常勤	40
P3036	母性・小児系臨床医学・看護学	古池 雄治	前期	木	2	常勤	38
P3037	感覚器系臨床医学・看護学	古池 雄治	前期	木	3	常勤	39
P3040	臨床医学・看護学臨床実習	古池 雄治	通年	集中		常勤	37
P3041	小児・思春期保健学	青柳 直子	前期	水	2	常勤	36

(7)情報文化課程

課程共通科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P4501	情報文化論	まつかわ ゆま	後期	集中		非常勤	141
P4502	情報リテラシーと情報モラル	本田 敏明	後期	木	3	常勤	68
P4503	情報と倫理	實原 隆志	前期	集中		非常勤	42
P4504	情報教育論	小林 祐紀	後期	木	1	常勤	41
P4506	基礎情報処理(情報文化)	工藤 雄司	後期	木	2	常勤	41
P4507	動画像処理(初級)a	折笠 良	後期	集中		非常勤	23
P4508	動画像処理(初級)b	折笠 良	後期	集中		非常勤	16
P4509	Illustrator で DTP(初級)	島田 裕之	前期	集中		常勤	23
P4510	静止画像処理(初級)a	佐々木 忠之	後期	火	2	常勤	26
P4511	静止画像処理(初級)b	佐々木 忠之	後期	火	3	常勤	26
P4512	ウェブ制作(初級)a	林 延哉	後期	集中		常勤	19

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4513	ウェブ制作(初級)b	林 延哉	後期	集中		常勤	18
P4516	統計の初歩	林 延哉	後期	火	3	常勤	43
P4517	統計学の基礎	小林 祐紀	前期	金	3	常勤	47
P4518	チームワーク&コーチング論	加藤 敏弘	後期	火	1	常勤	28
P4519	課題図書講読Ⅰ	林 延哉	通年	集中		常勤	82
P4520	課題図書講読Ⅱ	林 延哉	通年	集中		常勤	60
P4521	課題図書講読Ⅲ	林 延哉	通年	集中		常勤	30
P4522	生涯学習論(情報・人間)	望月 厚志	後期	集中		常勤	28
P4523	インターンシップ	岩佐 淳一	通年	集中		常勤	3

課程専門科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P4524	情報文化広報プロジェクトⅠ	林 延哉	前期	集中		常勤	52
P4525	情報文化広報プロジェクトⅡ	林 延哉	後期	集中		常勤	50
P4526	メディア批評プロジェクトⅠ	小泉 晋弥	前期	集中		常勤	24
P4527	メディア批評プロジェクトⅡ	小泉 晋弥	後期	集中		常勤	23
P4528	地域活動プロジェクトⅠ	小泉 晋弥	前期	集中		常勤	32
P4529	地域活動プロジェクトⅡ	小泉 晋弥	後期	集中		常勤	32
P4530	映像工房プロジェクトⅠ	島田 裕之	前期	集中		常勤	29
P4531	映像工房プロジェクトⅡ	島田 裕之	後期	集中		常勤	28
P4532	子ども文化プロジェクトⅠ	林 延哉	前期	集中		常勤	48
P4533	子ども文化プロジェクトⅡ	林 延哉	後期	集中		常勤	47
P4534	音×環境プロジェクト1	林 延哉	前期	集中		常勤	14
P4535	音×環境プロジェクト2	林 延哉	後期	集中		常勤	13
P4536	ICT演習	小林 祐紀	後期	火	1	常勤	37
P4537	静止画像処理(中級)	島田 裕之	後期	集中		常勤	23
P4538	マイクロコンピュータ・プログラミング入門	佐々木 忠之	後期	金	3	常勤	6
P4538	マイクロコンピュータ・プログラミング入門	佐々木 忠之	後期	金	4	常勤	6
P4539	マルチメディア・コンテンツ制作	本田 敏明	前期	木	4	常勤	25
P4540	設計製図Ⅰ(情報文化)	乾 康代	後期	金	5	常勤	18
P4541	設計製図Ⅱ	齋藤 芳徳	前期	火	2	常勤	9
P4542	設計製図Ⅲ	齋藤 芳徳	後期	月	3	常勤	11
P4543	図学演習(情報文化)	齋藤 芳徳	前期	火	3	常勤	23
P4544	建築一般構造	齋藤 芳徳	前期	月	2	常勤	12
P4545	住居計画学(情報文化課程)	乾 康代	前期	金	5	常勤	27
P4546	住居環境学(情報文化)	乾 康代	後期	木	3	常勤	8
P4547	住環境計画学(生活デザイン)	乾 康代	前期	金	3	常勤	23
P4548	居住地計画演習	乾 康代	後期	木	4	常勤	7
P4552	ベーシックデザイン	寺本 輝正	前期	金	5	常勤	23
P4553	デザイン素材研究	寺本 輝正	後期	金	5	常勤	23
P4554	生活デザイン演習Ⅰ	佐々木 忠之	後期	木	4	常勤	15
P4555	生活デザイン演習Ⅱ	佐々木 忠之	前期	火	4	常勤	8
P4556	生活用品デザイン演習Ⅰ	寺本 輝正	前期	金	3	常勤	2
P4557	生活用品デザイン演習Ⅱ	寺本 輝正	後期	金	3	常勤	2
P4559	デザイン理論	齋藤 芳徳	後期	月	2	常勤	25
P4560	視覚コミュニケーション演習	島田 裕之	後期	金	2	常勤	37
P4561	デザイン史演習	島田 裕之	前期	木	1	常勤	15

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4562	編集出版演習	岡部 泰明	後期	木	3	非常勤	19
P4563	感覚の科学	佐々木 忠之	前期	金	2	常勤	60
P4565	筆による表現	齋木 久美	前期	火	5	常勤	58
P4566	子どもアート演習	福田 邦夫	前期	集中		非常勤	19
P4569	美術批評論	小泉 晋弥	後期	火	2	常勤	43
P4570	図像学入門	甲斐 教行	後期	集中		常勤	18
P4571	表象文化論	小泉 晋弥	前期	水	4	常勤	54
P4575	日本美術史 I	小泉 晋弥	前期	木	3	常勤	57
P4576	日本美術史 II	小泉 晋弥	後期	木	4	常勤	60
P4577	西洋美術史 I	甲斐 教行	前期	木	5	常勤	42
P4578	西洋美術史 II	甲斐 教行	後期	集中		常勤	28
P4579	西洋美術史特別講義 I	藤原 貞朗	前期	火	4	常勤	46
P4581	古美術実地研究	小泉 晋弥	通年	集中		常勤	6
P4584	表現の基礎 I	片口 直樹	前期	集中		常勤	33
P4585	表現の基礎 II	島 剛	前期	集中		常勤	17
P4586	表現の基礎 III	島 剛	前期	集中		常勤	13
P4587	表現の基礎 IV	島 剛	後期	集中		常勤	3
P4588	造形実技 I	島 剛	前期	集中		常勤	0
P4589	造形実技 II	片口 直樹	後期	集中		常勤	1
P4590	平面表現演習 I	片口 直樹	前期	金	2	常勤	18
P4591	平面表現演習 II	片口 直樹	前期	火	3	常勤	5
P4592	平面表現演習 III	片口 直樹	後期	月	3	常勤	5
P4593	彩画特別演習	片口 直樹	通年	集中		常勤	0
P4594	絵画特別演習	神谷 佳男	通年	集中		非常勤	6
P4595	立体表現演習 I	島 剛	前期	月	5	常勤	2
P4596	立体表現演習 II	島 剛	前期	金	5	常勤	2
P4597	立体表現演習 III	島 剛	後期	金	2	常勤	0
P4598	塑造特別演習	島 剛	後期	集中		常勤	0
P4599	彫刻特別演習	島 剛	後期	集中		常勤	1
P4600	絵本制作演習	島田 裕之	後期	火	3	常勤	17
P4602	社会調査の基礎	小林 祐紀	後期	金	3	常勤	46
P4604	メディア・リテラシーII	岩佐 淳一	後期	木	2	常勤	25
P4605	フィールドワークの科学	岩佐 淳一	前期	木	2	常勤	54
P4607	社会文化情報演習 I	小林 祐紀	前期	金	4	常勤	36
P4608	社会文化情報演習 II	岩佐 淳一	前期	火	5	常勤	13
P4611	情報社会論	岩佐 淳一	後期	木	1	常勤	27
P4612	マス・コミュニケーション論(社会情報)	岩佐 淳一	前期	木	1	常勤	59
P4613	文化の社会学	岩佐 淳一	後期	火	5	常勤	62
P4614	人文地理学	小野寺 淳	後期	火	3	常勤	27
P4615	社会と文化 I	小林 祐紀	前期	火	1	常勤	27
P4616	社会と文化 II	小林 祐紀	後期	金	2	常勤	17
P4620	視聴覚教育メディア論	小泉 晋弥	後期	集中		常勤	3
P4621	茨城の歴史と文化(情報文化)	千葉 真由美	後期	火	1	常勤	53
P4622	ヨーロッパの歴史と文化	藤崎 衛	後期	火	3	常勤	37
P4623	アメリカ文学史	君塚 淳一	後期	木	3	常勤	37
P4624	アメリカ社会論	君塚 淳一	後期	木	1	常勤	22
P4625	映像作品と時代そして文化的背景	君塚 淳一	後期	木	5	常勤	72

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4626	博物館学Ⅰ	田中 裕	前期	木	5	常勤	0
P4627	博物館学Ⅰ(教育と理念)	田中 裕	前期	木	5	常勤	21
P4628	博物館学Ⅱ(経営論)	梶山 孝	後期	月	4	非常勤	20
P4629	博物館学Ⅱ	梶山 孝	後期	月	4	非常勤	1
P4630	博物館学Ⅲ	小泉 晋弥	前期	木	2	常勤	1
P4631	博物館学Ⅲ(資料論)	小泉 晋弥	前期	木	2	常勤	4
P4632	博物館学Ⅳ(展示論)	水嶋 英治	前期	金	2	非常勤	10
P4633	文化財保存と博物館	田中 裕	前期	集中		常勤	10
P4634	情報メディアと博物館	添田 仁	後期	水	3	常勤	6
P4635	博物館実習Ⅰ	小泉 晋弥	後期	集中		常勤	0
P4636	博物館実習Ⅱ	小泉 晋弥	後期	集中		常勤	2
P4637	美術館ワークショップ実習	片口 直樹	前期	集中		常勤	15
P4638	博物館実習Ⅰ(校内実習)	小泉 晋弥	通年	集中		常勤	7
P4640	建築材料学基礎	野崎 英明	前期	月	3	常勤	41
P4642	材料力学	車谷 麻緒	後期	月	1	常勤	4
P4643	コンクリート構造学	原田 隆郎	後期	金	4	常勤	0
P4644	建築施工	齋藤 芳徳	後期	火	2	常勤	10
P4646	測量学演習	宮原 寛実	前期	月	1	非常勤	15
P4647	都市設備及び住居環境	沼尾 達弥	後期	木	1	常勤	0
P4648	測量学	桑原 祐史	前期	金	3	常勤	2
P4649	建設材料学	沼尾 達弥	前期	月	1	常勤	0
P4650	都市・地域計画	金 利昭	後期	火	1	常勤	0
P4651	建築学概論	内藤 将俊	後期	水	2	常勤	3
P4653	都市計画論Ⅱ	斎藤 義則	前期	火	2	常勤	1
P4654	特別演習Ⅰ	林 延哉	前期	集中		常勤	59
P4655	特別演習Ⅱ	林 延哉	後期	集中		常勤	59

(8) 人間環境教育課程

共通

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5001	社会と思想(人間共通)	木村 競	前期	月	1	常勤	18
P5002	現代のナショナリズム	木村 競	後期	月	2	常勤	10
P5003	科学技術と社会	曾我 日出夫	前期	金	1	常勤	14
P5004	教育実践と教師[人環用教職]	望月 厚志	前期	火	1	常勤	36
P5005	教育の本質と理念[人環用教職]	小川 哲哉	前期	木	1	常勤	46
P5006	現代社会の構図	賀来 健輔	前期	火	2	常勤	8
P5007	現代社会と行政	賀来 健輔	後期	火	2	常勤	17
P5008	現代の地方自治	賀来 健輔	前期	月	3	常勤	17
P5009	情報化社会の諸問題	郡司 晴元	前期	木	1	常勤	9
P5010	生活の中の環境問題	郡司 晴元	後期	月	1	常勤	14
P5011	子どもの遊びと体験学習	日下 裕弘	前期	水	3	常勤	26
P5012	現代人の健康(人間環境)	松坂 晃	後期	金	2	常勤	23
P5014	人間教育の心理学[人環用教職]	丸山 広人	後期	木	1	常勤	45
P5015	情報の収集と活用	関 友作	前期	木	2	常勤	26
P5016	データ解析法	関 友作	前期	火	4	常勤	25
P5017	知識解析論	郡司 晴元	後期	木	2	常勤	12
P5018	情報編集法(人間環境)	関 友作	後期	木	1	常勤	14

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5019	技能伝達法[人環用教職]	加藤 敏弘	前期	火	1	常勤	30
P5020	コミュニケーション演習 (人間・共通)	加藤 敏弘	後期	水	2	常勤	28
P5022	視聴覚教育メディア論(人環)	小泉 晋弥	後期	集中		常勤	1
P5023	チームワーク&コーチング論	加藤 敏弘	後期	火	1	常勤	26
P5024	組織の合意	曾我 日出夫	前期	水	2	常勤	12
P5025	生涯学習論(情報・人間)	望月 厚志	後期	集中		常勤	11
P5028	総合演習[人環用]	加藤 敏弘	前期	集中		常勤	3
P5029	知識経営特別演習 I	加藤 敏弘	後期	集中		常勤	1
P5030	知識経営特別演習 II	加藤 敏弘	前期	集中		常勤	4
P5031	総合演習[人環用]	伊藤 孝	前期	集中		常勤	11
P5032	環境特別演習 I	伊藤 孝	後期	集中		常勤	13
P5033	環境特別演習 II	伊藤 孝	前期	集中		常勤	7
P5034	総合演習[人環用]	加藤 敏弘	前期	集中		常勤	7
P5035	スポーツ特別演習 I	加藤 敏弘	後期	集中		常勤	9
P5036	スポーツ特別演習 II	加藤 敏弘	前期	集中		常勤	10
P5037	総合演習[人環用]	上地 勝	前期	集中		常勤	11
P5038	健康特別演習 I	上地 勝	後期	集中		常勤	11
P5039	健康特別演習 II	上地 勝	前期	集中		常勤	12
P5040	総合演習[人環用]	丸山 広人	前期	集中		常勤	9
P5041	心理特別演習 I	丸山 広人	後期	集中		常勤	9
P5042	心理特別演習 II	丸山 広人	前期	集中		常勤	11

環境コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5101	環境科学総論	伊藤 孝	前期	集中		常勤	12
P5102	地球環境論	阿部 信一郎	前期	火	2	常勤	13
P5103	環境科学への数学	曾我 日出夫	後期	火	3	常勤	8
P5104	基礎生物学	藁田 孝晴	前期	月	5	常勤	14
P5105	基礎化学(環境コース)	青島 政之	後期	火	2	常勤	12
P5106	基礎地学	上栗 伸一	前期	火	3	常勤	15
P5107	環境と社会	賀来 健輔	後期	月	3	常勤	16
P5109	環境倫理学(人間環境)	大倉 茂	後期	集中		非常勤	20
P5110	公害・環境問題史	賀来 健輔	後期	火	3	常勤	18
P5112	複雑系の適応行動	曾我 日出夫	後期	金	1	常勤	11
P5113	生活環境学(環境・健康)	山本 和恵	後期	集中		非常勤	16
P5114	衛生公衆衛生学概論(環境コース)	上地 勝	後期	金	4	常勤	1
P5115	環境教育論	郡司 晴元	後期	金	2	常勤	16
P5116	環境教育演習	郡司 晴元	前期	木	4	常勤	9
P5117	環境地球科学	伊藤 孝	前期	水	1	常勤	16
P5118	岩石学	伊藤 孝	後期	木	2	常勤	12
P5119	地質学	上栗 伸一	後期	水	1	常勤	11
P5120	気象学(環境コース)	伊藤 孝	後期	金	3	常勤	20
P5121	地形学 I	田瀬 則雄	後期	金	4	常勤	12
P5122	地学実験A	上栗 伸一	前期	金	4~5	常勤	9
P5123	地学実験B	伊藤 孝	後期	月	4~5	常勤	5
P5124	地学実験指導法	上栗 伸一	前期	金	4	常勤	1
P5125	地学野外実習	伊藤 孝	前期	集中		常勤	7

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5126	無機物理化学	青島 政之	前期	水	1	常勤	2
P5127	有機化学	松川 覚	前期	金	2	常勤	13
P5128	水環境論	阿部 信一郎	後期	木	5	常勤	13
P5130	化学実験Ⅰ	松川 覚	前期	金	4~5	常勤	11
P5131	化学実験Ⅱ	松川 覚	後期	金	4~5	常勤	1
P5132	環境化学	松川 覚	後期	月	4	常勤	15
P5133	植物学	小野 義隆	前期	月	4	常勤	10
P5134	植物分類学	小野 義隆	前期	火	1	常勤	0
P5135	動物生態学	棗田 孝晴	後期	月	3	常勤	14
P5136	保全生物学	阿部 信一郎	前期	木	4	常勤	15
P5138	環境科学実験	阿部 信一郎	後期	月	4	常勤	9
P5138	環境科学実験	阿部 信一郎	後期	月	5	常勤	9
P5139	生物学実験	棗田 孝晴	前期	火	3~4	常勤	1
P5140	臨湖実習	中里 亮治	前期	集中		常勤	6
P5141	生物学野外実習	小野 義隆	前期	集中		常勤	5
P5144	微分積分の基礎	梅津 健一郎	前期	水	1	常勤	3
P5145	基礎物理学	永尾 敬一	前期	火	1	常勤	13
P5146	環境計測法	曾我 日出夫	前期	火	3	常勤	20
P5147	物理学実験Ⅰ	矢島 裕介	後期	金	1~2	常勤	3
P5149	博物館学Ⅰ	田中 裕	前期	木	5	常勤	2
P5150	博物館学Ⅱ	梶山 孝	後期	月	4	非常勤	1
P5151	博物館学Ⅲ	山崎 晃司	後期	集中		非常勤	0
P5152	博物館実習Ⅰ	郡司 晴元	通年	集中		常勤	0
P5153	博物館実習Ⅱ	郡司 晴元	通年	集中		常勤	0

スポーツコース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5201	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	後期	月	2	常勤	12
P5204	体育学概論	中嶋 哲也	前期	金	1	常勤	11
P5205	体育史	中嶋 哲也	後期	木	1	常勤	11
P5206	体育経営管理学	日下 裕弘	前期	火	2	常勤	6
P5207	運動学概論	勝本 真	後期	金	1	常勤	10
P5209	栄養学《生理学(運生含)》	西川 陽子	後期	木	4	常勤	1
P5210	トレーニング法	渡邊 将司	後期	火	3	常勤	23
P5211	スポーツ医学	富樫 泰一	後期	集中		常勤	19
P5213	運動障害救急法	富樫 泰一	通年	集中		常勤	16
P5214	生理学概論	松坂 晃	前期	月	4	常勤	12
P5215	形態学	渡邊 将司	前期	金	2	常勤	10
P5216	測定評価	渡邊 将司	後期	金	3	常勤	8
P5217	スポーツ栄養学	古旗 照美	通年	集中		非常勤	11
P5218	運動処方論	松坂 晃	後期	月	4	常勤	11
P5219	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	後期	金	4	常勤	11
P5220	健康調査解析法	上地 勝	前期	金	2	常勤	6
P5221	学校保健概論(スポーツコース)	上地 勝	後期	月	4	常勤	8
P5222	スポーツ心理学(免許あり)	中島 宣行	後期	集中		非常勤	20
P5224	野外運動	富樫 泰一	通年	集中		常勤	5
P5225	スキー	渡邊 将司	後期	集中		常勤	18

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5226	陸上競技	渡邊 將司	後期	木	3	常勤	5
P5227	ギムナスティック	會沢 哲史	前期	金	4	非常勤	8
P5228	ダンス・身体表現	瀬谷 元子	前期	木	4	非常勤	11
P5229	水泳	富樫 泰一	前期	集中		常勤	12
P5230	バスケットボール	加藤 敏弘	前期	火	3	常勤	10
P5231	サッカー	吉野 聡	後期	火	4	常勤	13
P5232	バレーボール(人間環境)	勝本 真	前期	金	4	常勤	10
P5233	卓球・テニス	日下 裕弘	前期	火	3	常勤	9
P5234	ソフトボール	大津 展子	後期	金	4	常勤	8
P5235	柔道	中嶋 哲也	前期	火	2	常勤	22
P5236	剣道	巽 申直	後期	火	2	常勤	20
P5237	陸上競技方法論	渡邊 將司	後期	木	4	常勤	5
P5240	ボールゲーム方法論Ⅰ	加藤 敏弘	前期	火	4	常勤	9
P5241	ボールゲーム方法論Ⅱ	日下 裕弘	後期	火	3	常勤	7
P5242	武道方法論	中嶋 哲也	後期	火	1	常勤	20
P5243	陸上競技指導法	渡邊 將司	後期	木	3	常勤	2
P5245	ダンス・身体表現指導法	瀬谷 元子	前期	木	4	非常勤	0
P5246	水泳指導法	富樫 泰一	前期	集中		常勤	17
P5247	バスケットボール指導法	加藤 敏弘	前期	火	3	常勤	3
P5248	サッカー指導法	吉野 聡	後期	火	4	常勤	0
P5249	バレーボール指導法	勝本 真	前期	金	4	常勤	9
P5250	卓球・テニス指導法	日下 裕弘	前期	火	3	常勤	9
P5251	ソフトボール指導法	大津 展子	後期	金	4	常勤	4
P5252	柔道指導法	中嶋 哲也	前期	火	2	常勤	0
P5253	剣道指導法	巽 申直	後期	火	2	常勤	3
P5254	野外運動指導法	富樫 泰一	通年	集中		常勤	2
P5255	スキー指導法	富樫 泰一	後期	集中		常勤	9
P5256	スポーツ実習Ⅰ	加藤 敏弘	後期	集中		常勤	36

健康コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5301	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	後期	金	4	常勤	10
P5303	健康調査解析法	上地 勝	前期	金	2	常勤	16
P5304	運動学概論	勝本 真	後期	金	1	常勤	11
P5305	形態学	渡邊 將司	前期	金	2	常勤	12
P5306	生理学概論	松坂 晃	前期	月	4	常勤	11
P5307	栄養学《生理学(運生含)》	西川 陽子	後期	木	4	常勤	3
P5308	臨床医学概論	古池 雄治	前期	木	5	常勤	11
P5310	測定評価	渡邊 將司	後期	金	3	常勤	8
P5311	保健福祉論	瀧澤 利行	前期	火	2	常勤	13
P5312	トレーニング法	渡邊 將司	後期	火	3	常勤	21
P5313	スポーツ医学	富樫 泰一	後期	集中		常勤	20
P5314	運動処方論	松坂 晃	後期	月	4	常勤	10
P5316	運動障害救急法	富樫 泰一	通年	集中		常勤	13
P5317	メンタルヘルス	瀧澤 利行	前期	火	4	常勤	7
P5319	体育史	中嶋 哲也	後期	木	1	常勤	11
P5320	体育経営管理学	日下 裕弘	前期	火	2	常勤	5

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5321	スポーツ心理学(免許あり)	中島 宣行	後期	集中		非常勤	19
P5322	体育学概論	中嶋 哲也	前期	金	1	常勤	12
P5323	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	後期	月	2	常勤	10
P5324	食生活と健康(健康コース)	西川 陽子	前期	金	2	常勤	0
P5325	スポーツ栄養学	古旗 照美	通年	集中		非常勤	12
P5326	環境科学総論	伊藤 孝	前期	集中		常勤	0
P5327	環境と社会	賀来 健輔	後期	月	3	常勤	1
P5329	生活環境学(環境_健康)	山本 和恵	後期	集中		非常勤	1
P5330	発達心理学	村野井 均	前期	火	2	常勤	13
P5332	保健体育科教育法研究Ⅲ	青柳 直子	前期	金	1	常勤	12
P5333	学校保健概論(健康コース)	上地 勝	後期	月	4	常勤	11
P5334	健康相談活動	斉藤 ふくみ	前期	火	3	常勤	2
P5335	障害児生理心理学	勝二 博亮	後期	木	5	常勤	13
P5336	ダンス・身体表現	瀬谷 元子	前期	木	4	非常勤	10
P5337	アクアフィットネス	富樫 泰一	前期	集中		常勤	10
P5338	卓球・テニス	日下 裕弘	前期	火	3	常勤	11
P5339	野外運動	富樫 泰一	通年	集中		常勤	5
P5340	バスケットボール	加藤 敏弘	前期	火	3	常勤	12
P5341	サッカー	吉野 聡	後期	火	4	常勤	11
P5342	バレーボール(人間環境)	勝本 真	前期	金	4	常勤	10
P5343	ソフトボール	大津 展子	後期	金	4	常勤	6
P5344	ギムナスティック(健康コース)	會沢 哲史	前期	金	4	非常勤	9
P5345	陸上競技(健康コース)	渡邊 將司	後期	木	3	常勤	11
P5346	ボールゲーム方法論Ⅰ(健康)	加藤 敏弘	前期	火	4	常勤	4
P5347	ボールゲーム方法論Ⅱ(健康)	日下 裕弘	後期	火	3	常勤	6
P5349	陸上競技方法論(健康コース)	渡邊 將司	後期	木	4	常勤	11
P5350	健康運動指導実習	上地 勝	前期	木	2	常勤	9
P5351	健康施設実習	上地 勝	通年	集中		常勤	0

心理コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5401	心理学史	丸山 広人	前期	金	2	常勤	10
P5402	発達心理学	村野井 均	前期	火	2	常勤	21
P5404	人格心理学	三輪 壽二	後期	木	2	常勤	25
P5405	心理学研究法Ⅰ	渡部 玲二郎	後期	火	5	常勤	11
P5407	心理学統計法	渡部 玲二郎	後期	火	3	常勤	13
P5408	心理学実験	丸山 広人	後期	金	5	常勤	10
P5409	心理学文献講読Ⅰ	渡部 玲二郎	前期	火	4	常勤	11
P5411	心理学文献講読Ⅲ	関 友作	後期	木	4	常勤	16
P5412	グループアプローチ特講	正保 春彦	前期	月	3	常勤	25
P5414	生涯学習とメディア	村野井 均	後期	火	4	常勤	37
P5415	幼児心理学	村野井 均	通年	集中		常勤	11
P5416	発達心理学特講	村野井 均	後期	金	2	常勤	18
P5417	学校心理学	丸山 広人	前期	月	5	常勤	27
P5420	発達臨床心理学	渡部 玲二郎	後期	火	2	常勤	18
P5422	職業指導の原理Ⅰ	大平 典男	後期	集中		非常勤	0
P5424	発達の理解A	渡部 玲二郎	前期	木	3	常勤	11

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5425	発達の理解B	村野井 均	後期	木	3	常勤	10
P5426	学校教育相談(心理)	三輪 壽二	後期	月	2	常勤	0
P5427	学校教育相談(心理)	三輪 壽二	後期	月	2	常勤	9
P5428	不応問題と学校	丸山 広人	後期	月	5	常勤	33
P5430	心理臨床検査法演習	三輪 壽二	前期	木	4	常勤	19
P5431	心理臨床援助法実習Ⅰ	三輪 壽二	前期	金	3	常勤	7
P5432	心理臨床援助法実習Ⅱ	三輪 壽二	後期	金	4	常勤	5
P5433	衛生公衆衛生学概論(心理)	上地 勝	後期	金	4	常勤	4
P5434	生理学概論	松坂 晃	前期	月	4	常勤	14
P5435	学校保健概論(心理コース)	上地 勝	後期	月	4	常勤	3
P5436	健康相談活動	斉藤 ふくみ	前期	火	3	常勤	5
P5437	保健科教育内容研究Ⅰ	青柳 直子	前期	水	1	常勤	0
P5438	障害児臨床学	東條 吉邦	後期	火	2	常勤	10
P5440	栄養学	西川 陽子	後期	木	4	常勤	1
P5441	社会福祉論(人間・心理)	渋谷 敦司	前期	火	3	常勤	3
P5442	スポーツ心理学(免許なし)	中島 宣行	後期	集中		非常勤	1
P5443	複雑系の適応行動	曾我 日出夫	後期	金	1	常勤	0
P5444	運動障害救急法(心理)	富樫 泰一	通年	集中		常勤	0

(9)特別専門科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
P5501	教師の資質と教職設計A	五島 浩一	前期	金	5	常勤	115
P5502	教師の資質と教職設計B	五島 浩一	後期	金	5	常勤	89
P5503	教職のためのパブリックスピーキング	橋浦 洋志	前期	火	5	常勤	15

(10)卒業研究

授業コード	科目名称	教員氏名	開講時期	曜日	講時	常勤・非常勤	受講者数
PG301	卒業研究(教育:4単位)	青島 政之	通年	集中		常勤	0
PG302	卒業研究(教育:4単位)	青柳 直子	通年	集中		常勤	8
PG303	卒業研究(教育:4単位)	青柳 路子	通年	集中		常勤	2
PG304	卒業研究(教育:4単位)	阿部 信一郎	通年	集中		常勤	5
PG305	卒業研究(教育:4単位)	新井 英靖	通年	集中		常勤	4
PG306	卒業研究(教育:4単位)	荒川 智	通年	集中		常勤	4
PG307	卒業研究(教育:4単位)	石島 恵美子	通年	集中		常勤	1
PG308	卒業研究(教育:4単位)	石原 研治	通年	集中		常勤	4
PG309	卒業研究(教育:4単位)	伊藤 孝	通年	集中		常勤	5
PG310	卒業研究(教育:4単位)	乾 康代	通年	集中		常勤	0
PG311	卒業研究(教育:4単位)	猪井 新一	通年	集中		常勤	2
PG312	卒業研究(教育:4単位)	岩佐 淳一	通年	集中		常勤	10
PG313	卒業研究(教育:4単位)	上地 勝	通年	集中		常勤	5
PG314	卒業研究(教育:4単位)	臼坂 高司	通年	集中		常勤	3
PG315	卒業研究(教育:4単位)	打越 正貴	通年	集中		常勤	2
PG316	卒業研究(教育:4単位)	梅津 健一郎	通年	集中		常勤	3
PG317	卒業研究(教育:4単位)	大島 規江	通年	集中		常勤	2
PG318	卒業研究(教育:4単位)	大津 展子	通年	集中		常勤	3
PG320	卒業研究(教育:4単位)	大西 有	通年	集中		常勤	3
PG321	卒業研究(教育:4単位)	小川 哲哉	通年	集中		常勤	3
PG322	卒業研究(教育:4単位)	小口 祐一	通年	集中		常勤	4

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PG323	卒業研究(教育:4単位)	生越 達	通年	集中		常勤	2
PG324	卒業研究(教育:4単位)	小野 義隆	通年	集中		常勤	1
PG325	卒業研究(教育:4単位)	小野寺 淳	通年	集中		常勤	4
PG326	卒業研究(教育:4単位)	甲斐 教行	通年	集中		常勤	2
PG327	卒業研究(教育:4単位)	賀来 健輔	通年	集中		常勤	1
PG328	卒業研究(教育:4単位)	数井 みゆき	通年	集中		常勤	3
PG329	卒業研究(教育:4単位)	片口 直樹	通年	集中		常勤	4
PG330	卒業研究(教育:4単位)	勝本 真	通年	集中		常勤	4
PG331	卒業研究(教育:4単位)	加藤 崇英	通年	集中		常勤	2
PG332	卒業研究(教育:4単位)	加藤 敏弘	通年	集中		常勤	3
PG333	卒業研究(教育:4単位)	金子 一夫	通年	集中		常勤	0
PG334	卒業研究(教育:4単位)	上栗 伸一	通年	集中		常勤	4
PG335	卒業研究(教育:4単位)	川嶋 秀之	通年	集中		常勤	4
PG336	卒業研究(教育:4単位)	神部 智	通年	集中		常勤	0
PG337	卒業研究(教育:4単位)	君塚 淳一	通年	集中		常勤	6
PG338	卒業研究(教育:4単位)	木村 勝彦	通年	集中		常勤	2
PG339	卒業研究(教育:4単位)	木村 競	通年	集中		常勤	5
PG340	卒業研究(教育:4単位)	木村 美智子	通年	集中		常勤	1
PG341	卒業研究(教育:4単位)	日下 裕弘	通年	集中		常勤	5
PG342	卒業研究(教育:4単位)	工藤 雄司	通年	集中		常勤	2
PG343	卒業研究(教育:4単位)	栗原 博之	通年	集中		常勤	5
PG344	卒業研究(教育:4単位)	郡司 晴元	通年	集中		常勤	2
PG345	卒業研究(教育:4単位)	古池 雄治	通年	集中		常勤	6
PG346	卒業研究(教育:4単位)	小泉 晋弥	通年	集中		常勤	1
PG347	卒業研究(教育:4単位)	向野 康江	通年	集中		常勤	0
PG348	卒業研究(教育:4単位)	五島 浩一	通年	集中		常勤	0
PG349	卒業研究(教育:4単位)	小林 英美	通年	集中		常勤	2
PG350	卒業研究(教育:4単位)	小林 祐紀	通年	集中		常勤	3
PG351	卒業研究(教育:4単位)	齋木 久美	通年	集中		常勤	6
PG352	卒業研究(教育:4単位)	齋藤 英敏	通年	集中		常勤	2
PG353	卒業研究(教育:4単位)	斉藤 ふくみ	通年	集中		常勤	7
PG354	卒業研究(教育:4単位)	齋藤 芳徳	通年	集中		常勤	6
PG355	卒業研究(教育:4単位)	榭 守	通年	集中		常勤	3
PG356	卒業研究(教育:4単位)	佐々木 忠之	通年	集中		常勤	0
PG357	卒業研究(教育:4単位)	佐藤 環	通年	集中		常勤	3
PG358	卒業研究(教育:4単位)	佐藤 裕紀子	通年	集中		常勤	3
PG359	卒業研究(教育:4単位)	篠田 明音	通年	集中		常勤	0
PG360	卒業研究(教育:4単位)	島 剛	通年	集中		常勤	2
PG361	卒業研究(教育:4単位)	島田 裕之	通年	集中		常勤	19
PG362	卒業研究(教育:4単位)	勝二 博亮	通年	集中		常勤	4
PG363	卒業研究(教育:4単位)	昌子 佳広	通年	集中		常勤	4
PG364	卒業研究(教育:4単位)	正保 春彦	通年	集中		常勤	0
PG365	卒業研究(教育:4単位)	杉本 憲子	通年	集中		常勤	3
PG366	卒業研究(教育:4単位)	鈴木 一史	通年	集中		常勤	6
PG367	卒業研究(教育:4単位)	関 友作	通年	集中		常勤	2
PG368	卒業研究(教育:4単位)	曾我 日出夫	通年	集中		常勤	1
PG369	卒業研究(教育:4単位)	瀧澤 利行	通年	集中		常勤	4

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PG370	卒業研究(教育:4単位)	田瀬 則雄	通年	集中		常勤	0
PG371	卒業研究(教育:4単位)	巽 申直	通年	集中		常勤	1
PG372	卒業研究(教育:4単位)	田中 健次	通年	集中		常勤	0
PG373	卒業研究(教育:4単位)	田中 宏明	通年	集中		常勤	9
PG374	卒業研究(教育:4単位)	谷川 佳幸	通年	集中		常勤	2
PG375	卒業研究(教育:4単位)	田原 敬	通年	集中		常勤	2
PG376	卒業研究(教育:4単位)	千葉 真由美	通年	集中		常勤	5
PG377	卒業研究(教育:4単位)	堤 一郎	通年	集中		常勤	3
PG378	卒業研究(教育:4単位)	寺本 輝正	通年	集中		常勤	0
PG379	卒業研究(教育:4単位)	東條 吉邦	通年	集中		常勤	2
PG380	卒業研究(教育:4単位)	富樫 泰一	通年	集中		常勤	3
PG381	卒業研究(教育:4単位)	永尾 敬一	通年	集中		常勤	2
PG382	卒業研究(教育:4単位)	中嶋 哲也	通年	集中		常勤	2
PG383	卒業研究(教育:4単位)	中野 雅紀	通年	集中		常勤	0
PG384	卒業研究(教育:4単位)	棗田 孝晴	通年	集中		常勤	2
PG385	卒業研究(教育:4単位)	野中 美津枝	通年	集中		常勤	3
PG386	卒業研究(教育:4単位)	西川 陽子	通年	集中		常勤	3
PG387	卒業研究(教育:4単位)	根本 博	通年	集中		常勤	5
PG388	卒業研究(教育:4単位)	野崎 英明	通年	集中		常勤	4
PG389	卒業研究(教育:4単位)	橋浦 洋志	通年	集中		常勤	9
PG390	卒業研究(教育:4単位)	林 延哉	通年	集中		常勤	11
PG391	卒業研究(教育:4単位)	廣原 紀恵	通年	集中		常勤	6
PG392	卒業研究(教育:4単位)	藤崎 衛	通年	集中		常勤	5
PG393	卒業研究(教育:4単位)	藤田 文子	通年	集中		常勤	0
PG394	卒業研究(教育:4単位)	細川 美由紀	通年	集中		常勤	4
PG395	卒業研究(教育:4単位)	本田 敏明	通年	集中		常勤	5
PG396	卒業研究(教育:4単位)	増子 和男	通年	集中		常勤	3
PG397	卒業研究(教育:4単位)	松川 覚	通年	集中		常勤	2
PG398	卒業研究(教育:4単位)	松坂 晃	通年	集中		常勤	5
PG399	卒業研究(教育:4単位)	松村 初	通年	集中		常勤	5
PG400	卒業研究(教育:4単位)	丸山 広人	通年	集中		常勤	2
PG401	卒業研究(教育:4単位)	三輪 壽二	通年	集中		常勤	2
PG402	卒業研究(教育:4単位)	村野井 均	通年	集中		常勤	4
PG403	卒業研究(教育:4単位)	村山 朝子	通年	集中		常勤	3
PG404	卒業研究(教育:4単位)	望月 厚志	通年	集中		常勤	2
PG405	卒業研究(教育:4単位)	矢島 裕介	通年	集中		常勤	1
PG406	卒業研究(教育:4単位)	山口 哲人	通年	集中		常勤	1
PG407	卒業研究(教育:4単位)	山本 勝博	通年	集中		常勤	3
PG408	卒業研究(教育:4単位)	吉井 豊	通年	集中		常勤	4
PG409	卒業研究(教育:4単位)	吉野 聡	通年	集中		常勤	4
PG410	卒業研究(教育:4単位)	脇岡 宗一	通年	集中		常勤	1
PG411	卒業研究(教育:4単位)	渡邊 将司	通年	集中		常勤	4
PG412	卒業研究(教育:4単位)	渡部 玲二郎	通年	集中		常勤	3

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

2-2 開設授業科目の各種比率

学校教育教員養成課程

(特別支援学校教育
コース)

専門科目	専任担当科目数	640	34
	兼任担当科目数	81	2
	全体の科目数及び専任割合	721	88.8%
		36	94.4%

養護教諭養成課程

専門科目	専任担当科目数	46	
	兼任担当科目数	0	
	全体の科目数及び専任割合	46	100.0%

情報文化課程

専門科目	専任担当科目数	128	
	兼任担当科目数	11	
	全体の科目数及び専任割合	139	92.1%

人間環境教育課程

専門科目	専任担当科目数	207	
	兼任担当科目数	16	
	全体の科目数及び専任割合	223	92.8%

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

2-3 単位互換協定及び大学独自の単位認定の状況

			学校教育教 員養成課程	養護教諭養 成課程	情報文化課 程	人間環境教 育課程	計	
単位互換協定に基づくもの	認定者数 (a)		2		2		4	
	他大学	認定単位総数 (b)	専門 科目				0	
			専門 以外	8	4	4	16	
	短期大学	認定単位総数 (c)	専門 科目				0	
			専門 以外				0	
	1人当たり平均認定単位数 (b+c) /a			4.0		2.0		4.0
単位互換協定以外のもの	認定者数 (d)		3	2		4	9	
	他大学	認定単位総数 (e)	専門 科目		43		46	89
			専門 以外		16		18	34
	短期大学 高専 含む・そ の他	認定単位総数 (f)	専門 科目				58	58
			専門 以外	6	4		32	42
	1人当たり平均認定単位数 (e+f) /d			2.0			38.5	25

3 大学院教育学研究科のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

3-1 学校教育専攻

3-1-1 カリキュラム・ポリシー

学校教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①以下について教員としての高い専門性を満たすに十分な知識を身に付けさせる。
 - a) 教育および学校での教育実践の意義
 - b) 学校教育の内容と方法
 - c) 学校教育の組織と運営
 - d) 児童・生徒の発達と人間形成
- ②上記について、学校における教育活動に活かせる研究を行う能力を身に付けさせる。
- ③専門的知識と研究能力を活かして、学校における教員集団の中心となって教育活動を行うことができる能力を身に付けさせる。

3-1-2 ディプロマ・ポリシー

学校教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教員としての高い専門性を満たすに十分な学校教育に関する知識を有している。
- ・学校における教育活動に活かせる研究を行う能力を有している。
- ・専門的知識と研究能力を活かして学校教育を行うことができる能力を有している。

3-2 障害児教育専攻

3-2-1 カリキュラム・ポリシー

障害児教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①教員としての専門性を満たすに十分な、障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な知識を身に付けさせる。
- ②特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力を身に付けさせる。
- ③特別支援教育の課題に対応し、指導・援助の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④個々の児童・生徒、学校の実情に沿った特別支援教育を展開できる力を身に付けさせる。

3-2-2 ディプロマ・ポリシー

障害児教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教員としての高い専門性を満たすに十分な、障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な知識を有している。
- ・特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力を有している。
- ・特別支援教育に活かせる研究を行う能力を有している。
- ・専門的知識と研究能力を活かして特別支援教育を行うことができる能力を有している。

3-3 教科教育専攻

3-3-1 カリキュラム・ポリシー

教科教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①教科内容について、教員としての専門性を満たすに十分な知識を身に付けさせる。
- ②教材化と教育方法についての専門的知識と高い実践力を身に付けさせる。
- ③教育内容の深化・変化に対応し、教科指導の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④個々の児童・生徒、学校の実情に合わせた教科指導を展開できる力を身に付けさせる。

3-3-2 ディプロマ・ポリシー

教科教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教員としての高い専門性を満たすに十分な、教科内容についての知識を有している。
- ・教科における教材化と教育方法についての専門的知識と高い実践力を有している。
- ・教科教育に活かせる研究を行う能力を有している。
- ・専門的知識と研究能力を活かして教科教育を行うことができる能力を有している。

3-4 養護教育専攻

3-4-1 カリキュラム・ポリシー

養護教育専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ①養護教諭としての専門性を満たすに十分な、児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識と学校教育における多様な課題を理解させる。
- ②児童・生徒の状況を把握し、発達段階や特性に応じて、心身の健康に関する課題に適切に対応できる専門的な実践力を身に付けさせる。
- ③課題の変化に対応し、指導・援助の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。
- ④個々の児童・生徒、学校の実情に沿って、養護教諭としての活動を展開できる力を身に付けさせる。

3-4-2 ディプロマ・ポリシー

養護教育専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・養護教諭としての高い専門性を満たすに十分な、児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識を有し、学校教育における課題を理解している。
- ・児童・生徒および学校の状況に応じて、心身の健康に関する課題に適切に対応できる専門的な実践力を有している。
- ・養護教諭としての活動に活かせる研究を行う能力を有している。

3-5 学校臨床心理専攻

3-5-1 カリキュラム・ポリシー

学校臨床心理専攻では以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

- ①こころの問題の専門家としての専門性を満たすに十分な臨床心理学的な知識を身に付けさせる。
- ②こころの問題の多様性及びその変化に対応できる実践力を身に付けさせる。
- ③こころの問題の様々な変化に対応し、心理学的な支援の高度化を進める研究能力を身に付けさせる。

3-5-2 ディプロマ・ポリシー

学校臨床心理専攻では以下が認められる場合、修了を認定し学位（修士）を授与する。

- ・教育をはじめとする様々な分野における多様なこころの問題への心理学的援助に関わる実践と研究を専門的に行う力を有している。
- ・こころの問題に関する様々な分野において、こころの問題に取り組む専門家としての見識と専門的技能を持ち、それぞれの分野において社会の発展に寄与することができる力を有している。

3-6 教育実践高度化専攻

3-6-1 カリキュラム・ポリシー

教育実践高度化専攻（専門職学位課程）では、以下の方針に従ってカリキュラムを構成する。

- ① 共通科目としての5領域（「教育課程の編成及び実施に関する領域」「教科等の実践的な指導方法に関する領域」「生徒指導及び教育相談に関する領域」「学級経営及び学校経営に関する領域」「学校教育と教員の在り方に関する領域」）に加えて、「校内組織作りに関する領域」によって学校全体に貢献できる力を育成するとともに、各コース（学校運営、教育方法開発、児童生徒支援）の専門科目及び実習科目によって、教育者としての使命感と豊かな人間性を有し、子ども理解に基づく高度な専門性を有する実践力を身に付けさせる。
- ② 知識基盤社会における変化の激しい教育現場において、高度な洞察力に基づいて学校実践の課題を多面的・多角的視点で捉える知識と理解力を身に付けさせる。
- ③ 以下のような高度専門職業人としての知識、技能及び自立的に課題を発見し、解決できる実践力を身に付けさせる。また、学校現場における実習と省察を重視し、研究者教員と実務家教員による指導によって、理論と実践の架橋・往還を図る。
 - a) スクールリーダーとしてビジョンを形成し、学校経営の課題を構築しながら、教育上の問題解決を行うマネジメントの実践力
 - b) 授業実践上の課題を洞察し、自らの実践を省察しながら、児童・生徒理解に根ざした授業を開発・改善する高度な実践力
 - c) 児童生徒の心の状態を察知し、その背景要因を含めて見立てながら、環境を調整することで介入し、支援する実践力

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

- ④ 専門的知識・技能を活かして、同僚教師や保護者・地域とともに教育課題の解決に取り組む協働性を身に付けさせる。

3-6-2 ディプロマ・ポリシー

教育実践高度化専攻（専門職学位課程）では、以下が認められる場合、修了を認定し、教職修士（専門職）の学位を授与する。

- ① 使命感を持ち、子ども理解に基づく高度な専門性を有し、教育者として資質能力に優れた人間性を有している。
- ② 知識基盤社会における変化の激しい教育現場において、高度な洞察力に基づいて学校実践の課題を多面的・多角的視点で捉える知識と理解力を有している。
- ③ 以下のような高度専門職業人としての知識、技能及び自立的に課題を発見し、解決できる実践力を有している。
- a) スクールリーダーとしてビジョンを形成し、学校経営の課題を構築しながら、教育上の問題解決を行うマネジメントの実践力
 - b) 授業実践上の課題を洞察し、自らの実践を省察しながら、児童・生徒理解に根ざした授業を開発・改善する高度な実践力
 - c) 児童・生徒の心の状態を察知し、その背景要因を含めて見立てながら、環境を調整することで介入し、支援する実践力
- ④ 専門的知識・技能を活かして、同僚教師や保護者・地域とともに教育課題の解決に取り組む協働性を有している。

4 茨城大学教育学研究科の教育内容と方法

以下は茨城大学教育学研究科「大学院学生便覧」から引用した。

4-1 概要

4-1-1 茨城大学大学院教育学研究科を運営するに当たって準拠する規則

学校教育法に基づく大学院設置基準（昭和 49 年 6 月 20 日 文部省令第二十八号）

茨城大学学則

茨城大学大学院学則（以下「大学院学則」）

茨城大学学位規則（以下「学位規則」）

茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「研究科規則」）

学位論文の審査及び最終試験実施要項（以下「学位論文審査要項」）

その他各種申し合わせ事項、及び各種ガイドライン等

この便覧は、それらから学生に必要なと思われる内容を編集したものである。

4-1-2 教育学研究科の組織構成

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

茨城大学大学院教育学研究科は、5 専攻 14 専修で構成されている（研究科規則第 3 条）。

（修士課程）

障害児教育専攻	障害児教育専修
教科教育専攻	国語教育専修
	社会科教育専修
	数学教育専修
	理科教育専修
	音楽教育専修
	美術教育専修
	保健体育専修
	技術教育専修
	家政教育専修
	英語教育専修
養護教育専攻	養護教育専修
学校臨床心理専攻	学校臨床心理専修

（専門職学位課程）

教育実践高度化専攻	学校運営コース
	教育方法開発コース
	児童生徒支援コース

4-1-3 教育学研究科の運営体制（研究科共通）

教育学研究科の諸事項は大学院教育学研究科教員で組織する研究科委員会で審議し、決定する。各専修には専修を代表する専修主任と専修関係の諸事項を担当する専門委員がいる。種々の専門的事項については、各専修の専門委員で構成する専門委員会が審議し、研究委員会に提案する。

4-1-4 主指導教員・副指導教員（修士課程）

学生には、その研究主題に応じ、指導教員を定める（研究科規則第 4 条）。各専修は年度当初に学生の希望や指導體制を考慮して、主指導教員 1 名、副指導教員 2 名以上を決め、所定書式で提出する。大学院教員には指導教員と授業担当教員との区別がある。学生の研究指導と授業をするのが指導教員、授業をするのが授業担当教員である。各専修で確認すること。主指導教員は当該専攻・専修の指導教員の中から選ぶ。副指導教員は研究主題との関係で適切と判断できれば、他専攻・他専修の指導教員・授業担当教員でもよい。

4-1-5 指導體制（専門職学位課程）

学生には、主担当教員と、実習における実習指導大学教員（アドバイザー）及び実習調整大学教員（コーディネーター）を定める。

日常的に連絡の窓口になったり、緊急時に連絡したりするなど、主担当教員が中心となって学生を支援する。また、実習では、実習指導大学教員（アドバイザー）及び実習調整大学教員（コーディネーター）が協力して実習校と連携を取ることで学生への指導・支援を行う。

また講義科目等における指導体制については、課題や内容によって柔軟な形態をとることで、より効果の高い指導を実施する。例えば、各コースで設定されている「課題研究Ⅰ～Ⅳ」では、実習内容を振り返ったり、様々な課題について議論したりしながら、各コースの専任教員と学生が、チームを組んで協議を行ったり、コース全体として協議を行う。

4-1-6 履修方法

（修士課程）

後掲の「研究科規程 別表 3」の各専修備考欄に指定された授業科目を履修する（研究科規程第 6 条）。履修する授業科目は必修科目と選択科目（学校臨床心理専修は選択必修科目）とに分かれる。各専修によって指定が違うので別表で確認すること。

ただし、研究科規程別表記載の授業科目のすべてが開講されているとは限らないので注意すること。開講授業科目は本便覧所収の「開講授業科目一覧」に掲載されている。「開講授業科目一覧」で授業科目は各種の科目群「分野」に分類されている。また、再度履修して単位を累加できる授業科目とできない授業科目の区別も示されている。

修了に必要な最低単位は別表備考欄で指定された授業科目 34 単位である（下表及び研究科規程別表参照）。専修毎にバランスの取れた複数の履修モデルを提供しているため、それを参考に計画をたてること。前学期または後学期始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目申告票を提出する。

専 攻		障害児教育	教科教育	養護教育	学校臨床心理	
必 修	研究科共通科目 a 群	4	4	4		
選 択 必 修	共 通 科 目	大学院共通科目から	2	2	2	
		研究科共通科目 b 群から	2	2	2	
	専 攻 科 目	障害児教育に関する科目から	1 2			
		教科教育に関する科目から	2	1 2 (国語教育専修は 1 4)		
		養護教育に関する科目から			1 4	
	学校臨床に関する科目から				1 6	
選択（研究科内の科目から） ※学校臨床心理専攻のみ専修内の科目から		8 *	1 0 * (国語教育専修は 8)	8 *	※ 1 4	
特別課題研究（必修）		4	4	4	4	
修了要件単位合計		3 4	3 4	3 4	3 4	

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

学校臨床心理専修の開講科目のうち、*印のついている科目を除く。

また、他研究科での授業科目（大学院共通科目を除く）は自由単位（修了要件にしない）として認める。その履修は、前もって当該授業の担当教員及び主指導教員の承諾を得ること。履修を研究科委員会が了承して単位として認められる。

また、教員免許取得等の関係で学部の科目等履修生（単位取得をする）になる場合、在学中 24 単位の修得を認める（科目数は不問とする）。

（専門職学位課程）

後掲の「研究科規程 別表 3」の備考欄に指定された授業科目を履修する（研究科規程第 6 条）。履修する授業科目は必修科目と選択科目とに分かれる。各コースによって指定が違うので別表で確認すること。

ただし、研究科規程別表記載の授業科目のすべてが開講されているとは限らないので注意すること。開講授業科目は本便覧所収の「開講授業科目一覧」に掲載されている。また、再度履修して単位を累加できる授業科目とできない授業科目の区別も示されている。

修了に必要な最低単位は別表欄（研究科規程別表参照）で指定された授業科目 4 6 単位である。コース毎にバランスの取れた履修モデルを提供しているので、それを参考に計画をたてること。前学期または後学期始めに、当該授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目申告票を提出すること。

また、他研究科での授業科目（大学院共通科目を除く）は自由単位（修了要件にしない）として認める。その履修は、前もって当該授業の担当教員及び主担当教員の承諾を得ること。履修を研究科委員会が了承して単位として認められる。

また、教員免許状取得等の関係で学部の科目等履修生（単位取得をする）になる場合、在学中 24 単位の修得を認める（科目数は不問とする）。

4-1-7 試験及び成績評価（研究科共通）

履修科目の単位の授与は、試験その他の方法によって授業科目の担当教員が行う。（研究科規則第 10 条）授業科目の試験又は研究報告書等の成績評価は、100 点をもって満点とし、A+（90 点以上）、A（80 点以上 90 点未満）、B（70 点以上 80 点未満）、C（60 点以上 70 点未満）及び D（60 点未満）の評語で表し、A+、A、B 及び C を合格とする。（同 11 条）。

その評価基準は表の通りである。各授業科目の評価方法は、「教務情報ポータルシステム」のシラバスの「成績の評価方法」欄を参照すること。

前学期の科目は 10 月上旬、後学期の科目は年度末に学生各自が「教務情報ポータルシステム」から成績一覧を印刷し確認すること。

区分	点数	評価の内容
----	----	-------

A+	90～100	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A	80～89	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B	70～79	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C	60～69	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	0～59	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

以上 A+～D の評価の他に、「欠試」がある。試験欠席又は報告書未提出の場合は「欠試」となる。授業の出席時数が総授業数の 3 分の 2 に達しない場合は、試験を受けても単位は認定されず D 評価となる。追試験は研究科委員会の議を経て行われる（研究科規則第 10 条 2）。追試験はやむを得ない事由のある「欠試」の場合のみに認められる。一度単位が認定された評価は再履修しても変更できない。D 評価、欠試の場合は再履修ができる。単位累加可の授業以外は、既に単位が認定された授業を再履修しても単位は認定されない。印刷し交付された成績に関して説明を希望する場合は、当該教員又は学務第二係の相談窓口に出示することができる。

4-1-8 修了研究としての学位論文（修士課程）

特別課題研究で指導を受け、指定された期限までに学位論文（大学院学則に規定された特定課題の研究成果を含む）を提出する（研究科規則第 12 条）。学位論文の審査会は所属専攻の指導教員の 1 名と研究科内の内容に関係する教員 2 名以上をもって組織される（学位規則第 12 条の 2）。審査員は原則として主指導教員と副指導教員 2 名である。学位論文は、別に定める評価基準と審査方法により可・不可の二種に評価される。なお、前述の「大学院学則に規定された特定の課題の研究成果」とは、演奏・演技・作品及び関連論文を指す。

各専修における学位論文に関する基準等については、「IV 各専修の履修計画指針」を参照すること。

4-1-9 最終試験と学位論文の公開（修士課程）

最終試験は学位論文を中心として、それに関連する事項について行う（学位規則第 14 条）。学位論文は各専修における発表会等で公開する。合格した学位論文は、研究科で刊行する抄録集に概要を掲載できる。その際、国立教育政策研究所の教育情報検索システムによる電子化を了承する。

4-1-10 修了要件と学位

（修士課程）

研究科に 2 年以上在籍し、研究科指定の科目 34 単位修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すると修了でき、学位（教育学）が与えられる（大学院学則第 21 条の 2）。在籍期間については 1 年、3 年と例外的制度がある（研究科規則第 9 条、第 14 条参照）。

（専門職学位課程）

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

研究科に 2 年以上在学し、研究科指定の科目について 4 6 単位修得することとする。（研究科規程第 14 条の 2 参照）

大学院の課程を修了した者には、教職修士（専門職）が与えられる（大学院学則第 21 条の 2）。在籍期間については 1 年、3 年と例外的制度がある（研究科規程第 9 条、第 14 条参照）。

4-1-11 学生相談の体制（研究科共通）

学生が学習、経済、進路、人間関係、その他各種困難な事態に直面した場合は、専修主任、専修専門委員に相談されたい。また、専修を超えた研究科全体としての相談窓口も設けているので、そちらへ相談したい場合は、学務第二係の相談受付窓口に申し出ること。秘密は厳守される。

4-1-12 奨学金・授業料免除・奨学金返還免除（研究科共通）

日本学生支援機構の奨学金貸与や授業料免除を希望する学生は、年度当初に募集要項を配布しているので所定の窓口に取りに行くこと。また、日本学生支援機構の奨学金貸与を受けた者のうち、特に優れた業績をあげた者を奨学金返還免除候補者として大学が推薦する制度がある。推薦を希望する者には第 2 年度の 2 月に申請書を配布するが、第 1 年度から条件に合うように留意すること。

4-1-13 学位論文の審査及び最終試験実施要項

（昭和 63 年 12 月 21 日教育学研究科委員会決定）

1. 趣旨

修士（教育学）の学位授与に関しては、茨城大学大学院学則、茨城大学学位規則（以下「学位規則」という。）及び茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「教育学研究科規則」という。）によるものほか、この要項による。

2. 学位論文審査

(1) 論文の提出資格

所属専修に 1 年以上在学し、修士課程修了見込みの者。

(2) 論文の提出期限

1 月 31 日（9 月修了予定の者については、7 月 31 日）とする。（提出日が土・日曜日にあたる場合は次の休業日とする。）

(3) 論文の提出部数

1 編 3 部とする。（正本 1 部、副本 2 部）

(4) 論文の提出方法

論文には論文要旨（2,000 字以内）及び論文審査願を添付し、指導教員の承認を得て、研究科長に提出する。

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

ただし、教育学研究科規則第 9 条第 1 項の規定に基づき、専修領域によって特定の課題についての研究作品をもって代える場合は、その関連論文を添えて提出する。

(5) 論文審査会・審査員

学位規則第 12 条の規定に基づき審査会を設置する。審査員は原則として主指導教員を主査、副指導教員 2 名を副査とする。各専修においては審査の一環として、発表会等論文内容を公開する場を設けるものとする。

(6) 評価

学位論文の評価は可・不可の二種とし、教育に関する優れた知見を修得したことが認められ、学位論文が次のいずれかに該当する場合を可とする。

① 高度な研究又は実践の能力を修得したと認められる。

② 修士課程修了時の研究論文としても妥協性、または独創性が認められる。

(7) 学生への明示

この要項に基づいて各専修で設定する学位論文及び茨城大学大学院学則第 2 2 条に規定された「特定の課題」に関する評価基準、審査方法及び最終試験の方法等については、該当学生にあらかじめ明示するものとする。

3. 論文題目の変更

論文題目を変更する場合は、指導教員の承認を得て、研究科長に届出なければならない。

4. 最終試験

最終試験は、学位規則第 14 条の規定に基づき実施するものとする。

5. 論文の審査及び最終試験の期日

論文の審査及び最終試験は、2 月 20 日（9 月修了予定の者については、8 月末日）までに終了し、審査会はその結果を文書をもって研究科委員会に報告しなければならない。（期日が土・日曜日にあたる場合は前の休業日とする。）

6. 論文の保管

審査に合格した論文の 1 部は、教育学研究科に保管する。

7. その他

この要項によりがたいときは、その都度、研究科委員会に付議し決定する。

4-2 共通科目の履修について

4-2-1 大学院授業科目

茨城大学大学院は、知識基盤社会の構築を担う高度専門職業人養成と知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人材の育成をめざしています。そのために、専門分野に関する高度の専門的知識および能力を習得するとともに、幅広い学識と専門分野に関連する基礎的素養を培うことを目標としています。これらの目標を実現するため、大学院授業科目は次のような科目で構成されています。

(1) 共通科目

- 1) 大学院共通科目：幅広い学識と俯瞰的視野及び職業的素養などを涵養するための科目です。
- 2) 研究科共通科目：教育学研究科が開講する科目で、専門に近い領域で基盤的な学識や素養を涵養するための科目です。

(2) 専攻科目

専門分野に関する高度の専門的知識および能力を習得するための科目です。

(3) 独立及び横断型プログラム等の科目

研究科や専攻をまたぐ横断的分野や特定の職種に特化した分野の科目です。プログラムを修了すると「修了認定証」が交付されます。

4-2-2 修了要件

教育学研究科の各専攻を修了するためには、教育学研究科規則に示した 3 4 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、学位論文の最終審査に合格することが必要です。

学校臨床心理専攻を除く各専攻においては、大学院共通科目 2 単位以上、研究科共通科目 6 単位以上（a 群：2 科目 4 単位が必修、b 群：どちらか 1 科目 2 単位を選択必修）の修得が必要です。（学校臨床心理専攻においては、大学院共通科目および研究科共通科目の修得は修了要件に含まれません。）

4-2-3 共通科目の授業科目

科目群	科目名	単位	担当教員
大学院共	地球環境システム論Ⅰ	1	横木、北
	地球環境システム論Ⅱ	1	山村、岡田
	持続社会システム論Ⅰ	1	中川他
	持続社会システム論Ⅱ	1	田村、蓮井
	人間システム基礎論Ⅰ	1	伊藤、小原
	人間システム基礎論Ⅱ	1	賀来、上地、関
	学術英会話	2	非常勤講師
	国際コミュニケーション基礎	2	鈴木
	研究と教育-知の往還をめぐって-	2	橋浦他
	科学と倫理	2	曾良

通 科 目		実学的産業特論	2	非常勤
		学術情報リテラシー	1	高橋
		霞ヶ浦環境科学概論	1	黒田、吉田他
		原子科学と倫理	1	菊地
		地域サステイナビリティ農学概論	1	小松崎他
		食料の安定生産と農学	1	新田
		実践国際コミュニケーション	2	鈴木
		先端科学トピックスA	1	工学部教員
		先端科学トピックスB	1	工学部教員
		感性数理工学特論	1	湊
		知的所有権特論	1	梅比良
		バイオテクノロジーと社会	1	安西他
	研 究 科 共 通 科 目	a 群	地域教育資源フィールドスタディ	2
授業展開ケーススタディ			2	佐藤他
b 群		教科コラボレートケーススタディ	2	佐藤他
		学校教育総合研究	2	小川、村野井、佐藤
c 群		アクティブ・ラーニングの理論と実践	2	小川
		学校教育と現代社会	2	佐藤
		ライフキャリア論	2	望月
		教育方法学特論	2	本田
		認知学習心理学	2	関
		特別支援教育実践論	2	新井
		小学校英語演習	2	関係教員
b 群		サステイナビリティ教育特論Ⅰ	1	郡司他
		サステイナビリティ教育特論Ⅱ	1	郡司他
		サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1	関係教員
		サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1	関係教員
	サステイナビリティ教育演習Ⅲ	1	関係教員	

4-2-4 履修上の注意

(1) 大学院共通科目の履修申告

学年または学期の始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目一覧を研究科長に提出して下さい。該当授業の担当教員に必要事項を記入して提出した履修科目申告票が受理されれば、履修の承諾となります。履修科目一覧は専修主任及び主指導教員の承諾を得て学務第二係へ提出して下さい。

(2) 大学院共通科目は、基本的には、3キャンパス遠隔講義として同時開講しますので、開講時間やそれぞれのキャンパスでの受講する教室に注意して下さい。

(3) 教育職員免許状（専修免許状）の取得希望者は、免許の取得に必要な単位数に大学院共通科目を含めることはできませんので、注意して下さい。

4-3 サステイナビリティ学教育プログラムの履修について

4-3-1 サステイナビリティ学教育プログラムの履修について

(1) サステイナビリティ学教育プログラムの趣旨

茨城大学は、平成 18 年 5 月に「地球変動適応科学研究機関（ICAS : Institute for Global Change Adaptation Science）」を設置し、東京大学を基幹校とする「サステイナビリティ学連携研究機構（Integrated Research System for Sustainability Science: IR3S）」に主要 5 大学（他に、京都大学、大阪大学、北海道大学）の一員として参加、「アジア・太平洋の地域性を生かし

た気候変動への適応」を研究テーマに、全学をあげて、地球環境と社会の持続性（サステイナビリティ）を確保するための新しい学問の創造をめざしています。教育面では、平成 21 年 4 月から本学全研究科に共通した「サステイナビリティ学教育プログラム」を創設し、サステイナビリティ学研究成果を生かしつつ、アジア・太平洋地域の現場の問題解決を担う人材育成を行っています。

環境問題やエネルギー・資源の不足、水・食料の逼迫、人口問題などを解決して、社会の持続性（サステイナビリティ）をいかに確保するかは現代の大きな課題になっています。本教育プログラムは、基盤科目や海外及び国内での現場演習を通して、これらの問題を把握する俯瞰的視点と専門分野の知識をつなぐ分野横断的な勉学の機会を提供します。

教育学研究科で実施する「サステイナビリティ学教育プログラム」では、上記の全学の目的に加え、あらゆる教育的場面において、サステイナビリティの視点をもって活動ができる以下の人材を育成します。

- ・地球環境問題、地域環境問題など、持続可能な社会を実現するための諸課題に関する俯瞰的・横断的知識をもつ。
- ・学校教育や生涯学習等あらゆる教育機会において、持続可能な社会にむけた教育（Education for Sustainable Society）を自ら計画・実施する意欲、技能、知識をもつ。
- ・持続可能な社会を実現する観点から、未来を生きる次世代の構成員を育成する高い意識をもつ。

当該プログラムの修了要件を満たした院生には、教育学研究科長名で「教育学研究科サステイナビリティ学プログラム修了証」が与えられます。また、IR3S 主要 5 大学は共同教育プログラムを設置し、この要件を満たした院生には、共同教育プログラム修了認定証が授与されます。この運営は、平成 22 年度から一般社団法人「サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム（SSC）」に引き継がれ、認定証は「SSC 共同教育プログラム修了認定証」になります。

(2) 平成 28 年度教育学研究科「サステイナビリティ学プログラム」科目一覧

科目区分	科目名	単位	SSC 共同教育プログラム	必要単位数
コア科目	サステイナビリティ学最前線（必修）	2	「俯瞰型科目」	2
	地球環境システム論 I	1 ●		
	地球環境システム論 II	1 ●		6
	持続社会システム論 I	1 ●		
	持続社会システム論 II	1 ●		
	人間システム基礎論 I	1 ●		
	人間システム基礎論 II	1 ●		
	国際実践教育演習	2		
	国内実践教育演習	2		
	ファシリテーション能力開発演習 I	1		
	ファシリテーション能力開発演習 II	1		
サステイナビリティ学インターンシップ	2			

専 門 科 目	教育学	サステイナビリティ教育特論Ⅰ(*)	1●	「選択科目」	} 1 4
	研究科	サステイナビリティ教育特論Ⅱ(*)	1●		
	専	サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1●		
	門	サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1●		
	科	サステイナビリティ教育演習Ⅲ	1●		
	目	地域教育資源フィールドスタディ	2●		
		地域生態学特論	2●		
		食物学特論	2●		
		被服学特論	2●		

(*) 「サステイナビリティ教育特論Ⅰ」または「サステイナビリティ教育特論Ⅱ」を必ず履修する。

(●) ●印を付した科目のみ修了要件としてカウントされる。それ以外は修了要件にならないので注意すること。

(3) プログラムの修了要件と履修上の注意

1) (プログラムの修了要件) 前表に示す基盤科目と演習科目から合わせて6単位、教育学研究科専門科目から4単位の合計10単位を履修すること。ただし、基盤科目「サステイナビリティ学最前線」はサステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)参加大学が協力して開講する科目で、必修です。

また、「サステイナビリティ教育特論Ⅰ」または「サステイナビリティ教育特論Ⅱ」のいずれかの科目を必ず履修すること。なお、「SSC共同教育プログラム運営規則」でいう「俯瞰型科目」及び「サステイナビリティ学関連科目」とは上の表に示すとおりです。

2) 基盤科目及び演習科目は、地球変動適応科学研究機関(ICAS)の協力の下で開講する科目です。

3) 「地球環境システム論Ⅰ」、「持続社会システム論Ⅰ」、「人間システム基礎論Ⅰ」は、本プログラムの科目かつ大学院共通科目として申告できます。

4) 「国際実践教育演習」及び「国内実践教育演習」、「サステイナビリティ教育演習Ⅲ」を履修する場合は、「学生教育研究災害保険」に加入し、担当教員の指示に従うこと。

5) このプログラムの履修を希望する者は、指導教員と相談し了解を得た上で、別紙「サステイナビリティ学プログラム履修届」を指定された期日までに学務第二係に提出して下さい。

6) 修了要件を満たした学生には、教育学研究科長名で「教育学研究科サステイナビリティ学プログラム修了証」が与えられます。また、5大学で共通の認定証「SSC共同教育プログラム修了認定証」がSSCでの審議を経て授与されます。

7) 「教育学研究科サステイナビリティ学プログラム修了認定証」の発行申請にあたっては、別紙「サステイナビリティ学プログラム修了認定証発行願」を指定された期日までに、学務第二係に提出してください。

(4) その他

1) 修了認定証を授与された者が、不正に修了認定を受けた事実が判明した場合は、修了の認定を取消、修了認定証を返還しなければなりません。

2) 修了認定証の再発行を受けようとする者は、研究科長に願い出てください。

4-4 教育職員免許について

(修士課程)

専修免許状の取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数は次の表 1 のとおりとする。ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を取得されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

なお、各専攻・専修で認定を受けている免許状の種類及び教科については、表 2 を参照すること。

表 1

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数	科目の区分
幼稚園教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
小学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
中学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
高等学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
特別支援学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること	24	特別支援学校教育に関する科目

表 2

専攻	専修	幼稚園教諭専修免許状	小学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	養護教諭専修免許状	特別支援学校教諭専修免許状
障害児教育	障害児教育						○
教科教育	国語教育	○	○	国語	国語		
	社会科教育		○	社会	地理歴史、公民		
	数学教育	○	○	数学	数学		
	理科教育		○	理科	理科		
	音楽教育	○	○	音楽	音楽		
	美術教育	○	○	美術	美術、工芸		
	保健体育	○	○	保健体育	保健体育		
	技術教育			技術	工業		
家政教育		○	家庭	家庭			
英語教育			英語	英語			
養護教育	養護教育			保健	保健	○	

学校臨床 心理	学校臨床 心理	○	○	国語、社会、 数学、理科、 音楽、美術、 保健体育、 保健、技術、 家庭、英語	国語、地理歴史、 公民、数学、 理科、音楽、 美術、工芸、 書道、保健体育、 保健、家庭、 工業、英語	○	
------------	------------	---	---	--	---	---	--

※表 2 に基づき教育職員免許状を取得する場合は、Ⅲ開講授業科目 (p. 27) の開講授業科目一覧に記載されている各専修免許状の種類・教科毎の授業科目を 24 単位以上修得するものとする。

(専門職学位課程)

本専攻において、授業科目のうちから 24 単位以上の所定の単位を修得した者は、以下の専修免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を得ることができる。

ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を授与されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

免許状の種類	教科
幼稚園教諭専修免許状	
小学校教諭専修免許状	
中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業指導、英語
高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、職業指導、英語
養護教諭専修免許状	

4-5 開講科目

①研究科共通科目(必修)※学校臨床心理専攻を除く。【担当教員欄()書きは、当該教員の研究領域を示す。】

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目a群	P-EDU-511	地域教育資源フィールドスタディ	2	前	水	4	講義	×	佐藤環、君塚淳一、小林英美	〈教職〉全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-631	授業展開ケーススタディ	2	後	水	4	演習	×	君塚淳一	〈教職〉全専修免許状に対応					不可

②-1研究科共通科目(選択必修) ※学校臨床心理専攻を除く。

共通科目b群	P-EDU-511	学校教育総合研究	2	前	月	5	講義	×	小川哲哉、村野井均、佐藤環	〈教職〉全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	教科コラボレートケーススタディ	2		休講		講義	×		〈教職〉全専修免許状に対応					不可

②-2研究科共通科目(選択) ※学校臨床心理専攻を除く。

共通科目c群	P-EDU-511	アクティブ・ラーニングの理論と実践	2	前	集中(8月)		講義	×	小川哲哉	〈教職〉全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	学校教育と現代社会	2	後	木	5	講義	×	佐藤環	〈教職〉全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	ライフキャリア論	2	前	集中(9月)		講義	×	望月厚志	〈教職〉全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	教育方法学特論	2	後	木	2	講義	×	本田敏明	〈教職〉全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	認知学習心理学	2	後	火	2	演習	×	関友作	〈教職〉全専修免許状に対応					不可
	P-EDU-511	特別支援教育実践論	2	前	水	1	講義	×	新井英靖	不可	(特職)対応	(特職)対応	不可	不可	不可
	P-EDU-511	小学校英語演習	2				講義	×		不可	(特職)対応	不可	不可	不可	不可

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

◎大学院共通科目(選択必修) ※学校臨床心理専攻を除く。

大学院共通科目	K-EGS-511-SEP	地球環境システム論Ⅰ(※)	1	前	月	1	講義	×	横木裕宗、北和之	不可	不可
	K-SED-511-SEP	持続社会システム論Ⅰ(※)	1	後	月	1	講義	×	中川光弘	不可	不可
	K-MUL-511-SEP	人間システム基礎論Ⅰ(※)	1	後	水	1	講義	×	伊藤哲司、小原規宏	不可	不可
	K-SED-511-SEP	地球環境システム論Ⅱ(※)	1	後	金	2	講義	×	山村靖夫、岡田 誠	不可	不可
	K-MUL-511-SEP	持続社会システム論Ⅱ(※)	1	前	金	2	講義	×	田村誠、蓮井誠一郎	不可	不可
	K-EGS-531-SEP	人間システム基礎論Ⅱ(※)	1	前	月	4	講義	×	上地勝、賀来健輔、関友作	不可	不可
	K-ENG-513	学術英会話	2	前	水	1	講義	×	畑中泰道	不可	不可
	K-COM-513	国際コミュニケーション基礎	2	前	月	2	講義	×	鈴木千加子	不可	不可
	K-COM-513	実践国際コミュニケーション	2	前	水	2	講義	×	鈴木千加子	不可	不可
	K-EDS-631	研究と教育一歩の往還をめぐって	2	後	水	5	講義	×	橋浦洋志、松坂晃、小林英美、伊藤孝、片口直樹	不可	不可
	K-SHS-511	科学と倫理	2	前	集中		講義	×	曾良達生	不可	不可
	K-INS-513	実学的産業特論	2	後	水	5	講義	×	鶴殿治彦	不可	不可
	K-FOI-521	学術情報リテラシー	1	前	集中		講義	×	高橋修	不可	不可
	K-END-532	霞ヶ浦環境科学概論	1	前	集中		講義	×	黒田久雄、吉田貢士、中里亮治、藤田昌史	不可	不可
	K-ETH-511	原子科学と倫理	1	後	集中		講義	×	菊地賢司	不可	不可
	K-PEA-511	食料の安定生産と農学	1	前	木	4	講義	×	新田洋司 他	不可	不可
	K-INS-511	バイオテクノロジーと社会	1	前	集中		講義	×	安西弘行、立川雅司、古谷綾子	不可	不可
	K-END-512	地域サステナビリティ農学概論	1	後	集中		講義	×	小松崎将一、太田寛行、成澤才彦、金子信博	不可	不可
	K-INS-511	先端科学トピックスA	1	前	木	6	講義	×	工学部教員	不可	不可
	K-INS-511	先端科学トピックスB	1		休講		講義	×	工学部教員	不可	不可
K-HUI-511	感性数理工学特論	1	後	水	2	講義	×	湊淳	不可	不可	
K-INS-511	知的所有権特論	1	前	集中		講義	×	梅比良正弘 他	不可	不可	

(※)印の科目は「サステナビリティ学プログラム」にも対応した科目

④サステナビリティ学プログラム

分野	科目ナンバ リングコード	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授 業 形 態	単 位 の 累 加	担 当 教 員	修 了 要 件	専修免許区分					
											教科又は教職に関する科目					特別支援教育 に関する科目
											幼	小	中	高	養教	特別支援
基 礎 科 目	K-06-322-SEP	サステナビリティ学最前線	2	前	集中	講義	×	田村誠 他	×	不可					不可	
	K-06-311-SEP	地球環境システム論Ⅰ(※)	1	前	月	1	講義	×	三村信男、北和之	×	不可					不可
	K-SED-311-SEP	持続社会システム論Ⅰ(※)	1	後	月	1	講義	×	中川光弘	×	不可					不可
	K-MUL-311-SEP	人間システム基礎論Ⅰ(※)	1	後	水	1	講義	×	伊藤哲司、小原規宏	×	不可					不可
	K-SED-311-SEP	地球環境システム論Ⅱ(※)	1	前	金	2	講義	×	山村靖夫、天野一男	×	不可					不可
	K-MUL-311-SEP	持続社会システム論Ⅱ(※)	1	前	金	2	講義	×	田村誠、蓮井誠一郎	×	不可					不可
	K-06-331-SEP	人間システム基礎論Ⅱ(※)	1	後	月	4	講義	×	上地勝、関友作、阿部信一郎	×	不可					不可
演 習 科 目	K-06-331-SEP	ファンレーション能力開発演習Ⅰ	1	前	集中	演習	×	山岸裕	×	不可					不可	
	K-06-331-SEP	ファンレーション能力開発演習Ⅱ	1	前	集中	演習	×	山岸裕	×	不可					不可	
	K-06-323-SEP	国際実践教育演習	2	前	集中	演習	×	田村誠 他	×	不可					不可	
	K-06-323-SEP	国内実践教育演習	2	前	集中	演習	×	大辻永 他	×	不可					不可	
	K-06-323-SEP	サステナビリティ学インターンシップ	2		未定		×	関係教員	×	不可					不可	
教 育 学 研 究 科 専 門 科 目	P-EDU-331-SEP	サステナビリティ教育特論Ⅰ	1		休講	講義	×	郡司晴元 他		不可					不可	
	P-EDU-331-SEP	サステナビリティ教育特論Ⅱ	1		集中	講義	×	郡司晴元 他		不可					不可	
	P-EDU-331-SEP	サステナビリティ教育演習Ⅰ	1		休講	演習	×			不可					不可	
	P-EDU-333-SEP	サステナビリティ教育演習Ⅱ	1		休講	演習	×			不可					不可	
	P-EDU-333-SEP	サステナビリティ教育演習Ⅲ	1		休講	演習	×			不可					不可	
	P-EDU-511	地域教育実践フィールドスタディ(※)	2	前	水	4	講義	×	佐藤環、君塚淳一、小林英美		《教職》全専修免許状に対応					不可
	P-ENC-311-SEP	地域生態学特論	2	前	火	3	講義	×	阿部信一郎		不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	P-POS-311-SEP	食物学特論	2	前	木	2	講義	○	西川 陽子		不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
P-CTS-431-SEP	被服学特論	2	前	月	4	講義	○	木村 美智子		不可	不可	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可	

(※)印の科目は、大学院共通科目または研究科共通科目にも対応した科目

⑤障害児教育専攻 障害児教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
基礎科目	P-EDU-531	障害学総合研究	2	後	月	5	講義	○	勝二博亮・荒川智・細川美由紀	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-EDU-511	障害児教育学特論Ⅰ	2	前	火	2	講義	○	教授 荒川智(障害児教育学)	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-EDU-631	障害児教育学演習Ⅰ	2	後	火	3	演習	○	〃	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-EDU-511	障害児教育学特論Ⅱ	2	前	水	2	講義	○	准教授 新井英靖(障害児教育学)	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
障害児教育	P-EDU-631	障害児教育学演習Ⅱ	2	後	月	4	演習	○	〃	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-EDU-511	障害児心理学特論Ⅰ	2	前	火	3	講義	○	准教授 細川美由紀(障害児心理学)	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-EDU-631	障害児心理学演習Ⅰ	2	後	火	2	演習	○	〃	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-EDU-511	障害児心理学特論Ⅱ	2	前	火	4	講義	○	教授 東條吉邦(障害児心理学)	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
障害児心理	P-EDU-631	障害児心理学演習Ⅱ	2	後	火	4	演習	○	〃	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-BRS-511	障害児生理学特論Ⅰ	2	前	月	1	講義	○	教授 勝二博亮(障害児生理学)	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-BRS-631	障害児生理学演習Ⅰ	2	後	木	3	演習	○	〃	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	P-BRS-511	障害児生理学特論Ⅱ	2	前	月	2	講義	○	講師 田原 敬(障害児生理学)	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
障害児生理	P-BRS-631	障害児生理学演習Ⅱ	2	後	月	1	演習	○	〃	不可					特別支援学校 数論専修免許 状に対応
	特別課題研究		4		通年		演習		指導教員	不可					不可

⑥教科教育専攻 国語教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-MUL-511	言語文化総合研究	2	前	月	4	講義	×	齋木・橋浦・増子・川嶋・昌子・鈴木	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-EDU-511	初等国語教育授業設計	2	前	木	3	講義	×	昌子・鈴木・増子・川嶋	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等国語教育授業設計	2	後	木	4	講義	×	昌子・鈴木・増子・川嶋・齋木	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
国語科教育	P-EDU-531	国語科教育学特論Ⅰ	2	前	木	1	講義	×	准教授 鈴木一史(国語科教育学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-EDU-631	国語科教育学演習Ⅰ	2	後	木	1	演習	×	〃	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-EDU-511	国語科教育学特論Ⅱ	2	前	月	2	講義	×	教授 昌子佳広(国語科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	国語科教育学演習Ⅱ	2	後	月	2	演習	×	〃	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
国語学	P-LIN-511	古典語特論	2	前	火	5	講義	×	教授 川嶋秀之(国語学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIN-511	現代語演習	2	後	木	5	演習	×	〃	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
国文学	P-LIT-511	近代文学特論	2	前	金	5	講義	×	特任教授 橋浦洋志(日本近代文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-LIT-631	現代文学研究Ⅱ	2	後	金	5	演習	×	〃	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
漢文学	P-OHC-631	漢文学特論	2	前	火	2	講義	×	教授 増子和男(漢文学)	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
	P-OHC-631	漢文学研究	2	後	火	2	演習	×	〃	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
書道	P-EDU-531	書写書道教育研究	2	前	金	1	講義	×	教授 齋木久美(書写書道)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	書写書道教育演習	2	後	金	3	演習	×	〃	不可	不可	(教科)国語	(教科)国語	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可

④教科教育専攻 社会科教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	
共通科目	P-INS-511	社会・文化総合研究Ⅰ	2		休講		講義	×	28年度休講	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-INS-511	社会・文化総合研究Ⅱ	2	前	水	2	講義	×	岩佐 賀来 中野	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
	P-EDU-531	社会科授業設計Ⅰ	1	後	火	4	演習	×	教授 村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-511	社会科授業設計Ⅱ	1	後	火	4	演習	×	教授 木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
社会科教育	P-EDU-511	初等社会科教育特論Ⅰ	1	前	金	2	講義	×	教授 村山朝子(社会科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	初等社会科教育特論Ⅱ	1	前	月	3	講義	×	教授 木村勝彦(社会科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等社会科教育特論Ⅰ	1	前	金	2	講義	×	教授 村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-511	中等社会科教育特論Ⅱ	1	後	月	3	講義	×	教授 木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
	P-EDU-631	社会科教育演習Ⅰ	2	後	金	5	演習	○	教授 村山朝子(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-EDU-631	社会科教育演習Ⅱ	2	後	月	3	演習	○	教授 木村勝彦(社会科教育学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
歴史学	P-HIS-511	日本史特論	2	前	火	3	講義	×	准教授 千葉真由美(日本史)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-631	日本史演習	2	後	火	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-511	西欧史特論	2	前	木	2	講義	×	准教授 藤崎 衛(西欧中世史)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-HIS-631	西欧史演習	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
地理学	P-HUG-511	人文地理学特論	2	前	火	2	講義	×	教授 小野寺淳(人文地理学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-HUG-631	人文地理学演習	2	後	火	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-511	地誌学特論	2	前	月	2	講義	×	准教授 大島規江(地誌学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-631	地誌学演習	2	後	月	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-511	自然地理学特論	2	前	月	3	講義	×	特任教授 田瀬順雄(自然地理学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
	P-GEO-631	自然地理学演習	2	後	月	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)地理歴史	不可	不可
政治学	P-POL-511	政治学特論	2	前	火	1	講義	×	教授 賀来健輔(政治学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
	P-POL-631	政治学演習	2	後	火	1	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
社会学	P-SOC-631	社会学特論	2	前	木	3	講義	×	教授 岩佐淳一(社会学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
	P-SOC-631	社会学演習	2	後	木	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
法学	P-LAW-511	憲法特論	2	前	木	4	講義	×	准教授 中野雅紀(憲法学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
	P-LAW-631	憲法演習	2	後	木	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
哲学	P-ETH-511	倫理学特論	2	前	金	4	講義	×	教授 木村競(倫理学)	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
	P-ETH-631	倫理学演習	2	後	金	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)社会	(教職)公民	不可	不可
特別課題研究			4		通年		演習		指導教員	不可					

※社会・文化総合研究Ⅰと社会・文化総合研究Ⅱは隔年開講

⑩教科教育専攻 数学教育専修

分野	科目ナンバ リングコー ド	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授 業 形 態	単 位 の 累 加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育 に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-MAT-511	数学総合研究	2	前	金	5	講義	×	栗原・根本・梅津・小口・松村・吉井・曾我	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-EDU-611	数学科教育授業設計	2	後	月	5	講義	×	根本	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
数学科教育	P-EDU-511	数学教育学特論	2	前	木	3	講義	×	特任教授 根本博(数学教育学)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-EDU-611	数学教育学演習	2	後	木	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-EDU-511	算数教育学特論	2	前	木	4	講義	×	教授 小口祐一(数学教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-611	算数教育学演習	2	後	木	4	演習	○	〃	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
代数学	P-ALG-511	代数学特論	2	前	木	5	講義	×	准教授 吉井豊(表現論)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-ALG-611	代数学演習	2	後	木	5	演習	○	〃	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
幾何学	P-GEM-511	幾何学特論	2	前	木	2	講義	×	准教授 栗原博之(微分幾何学)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-GEM-611	幾何学演習	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
解析学	P-ANA-511	解析学特論	2	前	金	3	講義	×	特任教授 曾我日出夫(微分方程式論)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-ANA-611	解析学演習	2	後	金	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-ANA-511	応用数理学特論	2	前	月	4	講義	×	教授 梅津健一郎(応用解析学)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-ANA-611	応用数理学演習	2	後	月	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
応用数学	P-APM-511	応用数学特論	2	前	火	3	講義	×	准教授 松村初(離散数学)	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	P-APM-611	応用数学演習	2	後	火	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

⑨教科教育専攻 理科教育専修

分野	科目ナンバ リングコー ド	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授業 形態	単位 の 累加	担当教員	専修免許区分						
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育 に関する科目	
										幼	小	中	高	養教	特別支援	
共通科目	P-INS-513	初等自然科学総合研究	1	前	月	4	講義	×	矢島・永尾・松川・青島・小野・東田・伊藤・上栗・阿部	不可	(教科)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	初等理科授業設計	1	後	火	2	演習	×	特任教授 山本勝博(理科教育学) 准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-INS-513	中等自然科学総合研究	1	前	月	4	講義	×	矢島・永尾・松川・青島・小野・東田・伊藤・上栗・阿部	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等理科授業設計	1	後	火	2	演習	×	特任教授 山本勝博(理科教育学) 准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可	不可
理科教育	P-EDU-511	初等理科教育学特論	1	後	月	3	講義	×	特任教授 山本勝博(理科教育学) 准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-531	初等理科教育学演習	1	前	金	2	演習	×	特任教授 山本勝博(理科教育学) 准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	中等理科教育学特論	1	後	月	3	講義	×	特任教授 山本勝博(理科教育学) 准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可	不可
	P-EDU-531	中等理科教育学演習	1	前	金	2	演習	×	特任教授 山本勝博(理科教育学) 准教授 郡司晴元(理科教育学)	不可	不可	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可	不可
物理学	P-PHY-531	物理学特論	2	前	火	3	講義	×	准教授 永尾敬一(素粒子物理学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
	P-EXP-521	物理学特別実験	2	前	火	1・2	実験	×	教授 矢島裕介(物性物理学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
化学	P-CHE-531	化学特論	2	前	月	2	講義	×	教授 松川寛(化学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
	P-CHE-521	化学特別実験	2	後	金	1・2	実験	×	准教授 青島政之(化学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
生物学	P-BIO-511	生物学特論	2	後	木	2	講義	×	准教授 森田孝晴(動物生態学) 特任教授 小野義隆(菌学・植物病理学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
	P-BIO-521	生物学特別実験	2	前	木	1・2	実験	×	特任教授 小野義隆(菌学・植物病理学) 准教授 森田孝晴(動物生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
地学	P-EAS-511	地学特論	2	前	金	3	講義	×	教授 伊藤孝(岩石鉱物学) 准教授 上栗伸一(地質学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
	P-EAS-521	地学特別実験	2	後	金	4・5	実験	×	教授 伊藤孝(岩石鉱物学) 准教授 上栗伸一(地質学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
科学論	P-ENC-311-SEP	地域生態学特論	2	前	火	3	講義	×	教授 阿部信一郎(水域生態学)	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
	P-ENC-531	地域生態学演習	2	後	月	3	演習	×	〃	不可	不可	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可	

⑩教科教育専攻 音楽教育専修

分野	科目ナンバ リングコー ド	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授 業 形 態	単 位 の 累 加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育 に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-ART-511	初等音楽文化総合研究	2	前	水	3	講義	×	教授 神部智(音楽学) 他	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-511	初等音楽教育授業設計	2	後	水	3	講義	×	教授 田中健次(音楽科教育学) 他	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
音楽科教育	P-ART-511	音楽科教育研究法	2	前	月	3	講義	○	教授 田中健次(音楽科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	音楽科教育特論Ⅰ	2	後	月	4	講義	○	〃	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-511	音楽科教育演習	2	前	金	4	演習	○	准教授 藤田文子(音楽科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	音楽科教育特論Ⅱ	2	後	木	5	講義	○	〃	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
器楽	P-ART-521	器楽研究Ⅰ	2	前	火	4	講義	○	准教授 田中宏明(器楽)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-621	器楽演習Ⅰ	2	後	火	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-521	器楽研究Ⅱ	2	前	月	4	講義	○	特任教授 脇岡宗一(器楽)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-621	器楽演習Ⅱ	2	後	火	5	演習	○	〃	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
声楽	P-ART-521	声楽研究	2	前	木	2	講義	○	教授 谷川佳幸(声楽)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-621	声楽演習	2	後	木	1	演習	○	〃	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
作曲・指揮法	P-ART-521	作曲・指揮法研究	2	前	水	2	講義	○	准教授 山口哲人(作曲・指揮)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-621	作曲・指揮法演習	2	後	月	5	演習	○	〃	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
音楽学	P-ART-511	音楽学研究	2	前	金	1	講義	○	教授 神部智(音楽学)	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
	P-ART-611	音楽学演習	2	後	木	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)音楽	(教職)音楽	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					

①教科教育専攻 美術教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-ART-531	美術文化総合研究	2	前	金	1	講義	×	甲斐・片口・金子・小泉・向野・齋藤・島・島田・寺本	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	美術教育授業設計	2	後	金	1	演習	×	甲斐・片口・金子・小泉・向野・齋藤・島・島田・寺本	不可	不可	(専職)美術	(専職)美術	不可	不可
美術教育	P-EDU-531	美術教育研究 I	2	前	火	4	講義	○	教授 金子一夫(美術教育史)	(専職)対応	(専職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	美術教育演習 I	2	後	火	2	演習	○	〃	不可	不可	(専職)美術	(専職)美術	不可	不可
	P-EDU-611	美術教育研究 II	2	前	月	2	講義	○	教授 向野康江(芸術教育思想史)	不可	不可	(専職)美術	(専職)美術	不可	不可
	P-EDU-621	美術教育演習 II	2	後	木	2	演習	○	〃	(専職)対応	(専職)対応	不可	不可	不可	不可
絵画	P-ART-521	絵画研究	2	前	金	4	演習	○	准教授 片口直樹(絵画)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
	P-ART-621	絵画演習	2	後	月	4	演習	○	〃	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
彫刻	P-ART-521	彫刻研究	2	前	金	2	演習	○	教授 島剛(彫刻)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-621	彫刻演習	2	後	金	5	演習	○	〃	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
デザイン	P-ART-531	デザイン研究 I	2	前	金	3	講義	○	教授 島田裕之(平面デザイン)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-531	デザイン演習 I	2	後	金	3	演習	○	〃	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術・工芸	不可	不可
	P-ART-521	デザイン研究 II	2	前	火	5	講義	○	教授 齋藤芳徳(立体デザイン)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-621	デザイン演習 II	2	後	火	5	演習	○	〃	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術・工芸	不可	不可
工芸	P-ART-521	木材工芸研究	2	前	木	5	演習	○	特任教授 寺本輝正(木材工芸)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術・工芸	不可	不可
	P-ART-621	木材工芸演習	2	後	木	5	演習	○	〃	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術・工芸	不可	不可
	P-ART-521	工芸・デザイン研究	2	前	水	3	演習	○	島田裕之・齋藤芳徳・寺本輝正	不可	不可	(教科)美術	(教科)工芸	不可	不可
	P-ART-621	工芸・デザイン演習	2	後	水	3	演習	○	島田裕之・齋藤芳徳・寺本輝正	不可	不可	(教科)美術	(教科)工芸	不可	不可
美術理論・美術史	P-ART-631	西洋美術史研究	2	前	火	3	演習	○	教授 甲斐教行(美術理論・美術史)	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-611	日本美術史研究	2	前	水	2	講義	○	教授 小泉晋弥(美術理論・美術史)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
	P-ART-631	日本美術史演習	2	後	水	2	演習	○	〃	(教科)対応	(教科)対応	不可	不可	不可	不可
	P-ART-631	造形芸術学	2	後	集中		演習	○	教授 甲斐教行(美術理論・美術史)	不可	不可	(教科)美術	(教科)美術	不可	不可
特別課題研究			4		通年		演習		指導教員	不可					不可

◎教科教育専攻 保健体育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-HSS-511	保健体育科学総合研究	2	後	火	5	講義	×	日下・勝本・加藤・巽・富程・中嶋	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-EDU-511	体育授業設計	2	前	火	5	講義	×	吉野・渡邊・上地・大津	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
保健体育科教育	P-EDU-511	体育科教育学特論	2	前	金	2	講義	×	講師 大津展子(保健体育科教育学)	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-611	体育科教育学演習	2	後	金	2	演習	○	〃	(教職)対応	(教職)対応	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-511	保健体育科教育学特論	2	前	金	4	講義	×	准教授 吉野聡(保健体育科教育学)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-EDU-611	保健体育科教育学演習	2	後	金	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
体育学	P-HSS-511	体育哲学特論	2	前	金	5	講義	×	教授 加藤敏弘(体育学)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-611	体育哲学演習	2	後	金	5	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-511	体育社会学特論	2	前	月	1	講義	×	教授 日下裕弘(体育学)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-611	体育社会学演習	2	後	月	1	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-511	体育史特論	2	前	金	1	講義	×	准教授 中嶋哲也(体育学)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-611	体育史演習	2	後	金	1	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-511	コーチング論特講	2	前	火	3	講義	×	教授 勝本真(体育学)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-611	コーチング論演習	2	後	火	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
運動学	P-HSS-511	運動方法学特論	2	前	火	4	講義	×	特任教授 巽申直(運動学)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-611	運動方法学演習	2	後	火	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-511	バイオメカニクス特論	2	前	木	3	講義	×	教授 富程泰一(運動学)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-611	バイオメカニクス演習	2	後	木	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-511	形態学特論	2	前	月	2	講義	×	准教授 渡邊将司(運動学)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-HSS-611	形態学演習	2	後	月	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
学校保健	P-SCH-611	学校保健特論Ⅰ(学校保健総論)	2	前	月	4	講義	×	准教授 上地勝(学校保健)	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
	P-SCH-611	学校保健管理演習	2	後	月	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)採履済	(教職)採履済	不可	不可
特別課題研究			4	通年		演習		指導教員	不可					不可	

㊦教科教育専攻 技術教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-SMI-511	技術と生活総合研究	2	前	木	1	講義	×	工藤・堤・佐々木・野崎・神・白坂	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
	P-SMI-621	技術科授業設計	2	後	木	1	講義	×	工藤・堤・佐々木・野崎・神・白坂	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
技術科教育	P-EDU-511	技術科教育特論 I	2	前	木	3	講義	×	教授 工藤雄司(技術科教育法)	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
	P-SMI-621	技術科教育演習 I	2	後	木	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
電気	P-ECC-511	電気工学特論 I	2	前	木	2	講義	×	教授 神守(電気工学)	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
	P-SMI-621	電気工学演習 I	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
	P-PIP-511	電気工学特論 II	2	前	火	2	講義	×	教授 佐々木忠之(電気工学)	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
	P-SMI-621	電気工学演習 II	2	後	金	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
機械	P-DEE-521	機械工学特論	2	前	火	3	講義	×	特任教授 堤一郎(機械工学)	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
	P-SMI-621	機械工学演習	2	後	金	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
金属	P-MEW-511	金属工学特論	2	前	火	4	講義	×	教授 野崎英明(金属工学)	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
	P-SMI-631	金属工学演習	2	後	火	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
木材加工	P-WOW-511	木材加工学特論	2	前	木	4	講義	×	准教授 白坂高司(木材加工)	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
	P-SMI-621	木材加工学演習	2	後	木	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)技術	(教職)工業	不可	不可
特別課題研究			4	通年		演習		指導教員	不可					不可	

◎教科教育専攻 家政教育専修

分野	科目ナンバ リングコー ド	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授 業 形 態	単 位 の 累 加	担当教員	専修免許区分						
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育 に関する科目	
										幼	小	中	高	養教	特別支援	
共通科目	P-HLS-511	初等生活科学総合研究	2	前	木	3	講義	×	石島恵美子・木村美智子・乾康代・佐藤裕紀子	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-521	初等家庭科授業設計	2	後	木	3	講義	×	野中美津枝・西川陽子・数井みゆき	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
家庭科教育	P-HEE-511	家庭科教育特論Ⅰ	2	前	水	1	講義	○	准教授 石島恵美子(家庭科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-631	家庭科教育演習Ⅰ	2	後	水	1	演習	○	准教授 石島恵美子(家庭科教育学)	不可	(教職)対応	不可	不可	不可	不可	不可
	P-HEE-511	家庭科教育特論Ⅱ	2	前	金	4	講義	○	准教授 野中美津枝(家庭科教育学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
	P-HEE-631	家庭科教育演習Ⅱ	2	後	金	4	演習	○	准教授 野中美津枝(家庭科教育学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
食物学	P-FOS-311-SEP	食物学特論	2	前	木	2	講義	○	准教授 西川陽子(食物学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
	P-FOS-621	食物学演習	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
被服学	P-CTS-631-SEP	被服学特論	2	前	月	4	講義	○	教授 木村美智子(被服学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
	P-CTS-631	被服学演習	2	後	月	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
住居学	P-HOS-511	住居学特論	2	前	火	4	講義	○	教授 乾康代(住居学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
	P-HOS-631	住居学演習	2	後	火	4	演習	○	〃	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
保育学	P-OHO-511	児童学特論	2	前	月	3	講義	○	教授 数井みゆき(保育学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
	P-OHO-631	児童学演習	2	後	月	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
家庭経営学	P-FRM-511	家族関係学特論	2	前	金	3	講義	○	准教授 佐藤裕紀子(家庭経営学)	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
	P-FRM621	家族関係学演習	2	後	金	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可	不可
特別課題研究			4	通年			演習		指導教員	不可					不可	

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

⑨教科教育専攻 英語教育専修

分野	科目ナンバ リングコード	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授 業 形 態	単 位 の 累 加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育 に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	P-EDS-533	言語と文化総合研究	2	後	火	3	講義	×	君塚・小林	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-533	英語科授業設計	2	前	火	3	講義	×	猪井・齋藤	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
英語科教育	P-EDS-533	英語教育学特論Ⅰ (英語教授法研究)	2	前	木	2	講義	○	教授 猪井新一(英語教育学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-533	英語教育学演習Ⅰ	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-532	英語教育学特論Ⅱ (評価論概論)	2	前	金	3	講義	×	准教授 齋藤英敏(英語教育学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-EDS-532	英語教育学演習Ⅱ	2	後	水	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
英語学	P-LIN-533	英語学特論Ⅰ	2		未定		講義	×	(未定)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-LIN-533	英語学演習Ⅰ	2		未定		演習	○	〃	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
英米文学	P-LIT-533	英米文学特論Ⅰ (アメリカ研究)	2	前	月	3	講義	○	教授 君塚淳一(アメリカ文学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学演習Ⅰ	2	後	火	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学特論Ⅱ (近代英米文学研究)	2	前	金	4	講義	○	教授 小林英美(イギリス文学)	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
	P-LIT-533	英米文学演習Ⅱ	2	後	金	3	演習	○	〃	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可
特別課題研究			4		通年		演習		指導教員	不可					

⑩ 養護教育専攻 養護教育専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
										幼	小	中	高	養教	特別支援
養護学	P-SCH-511	養護学総合研究	2	前	集中	講義	×	瀬澤・斎藤・石原・松坂・子川・廣原・青柳・古池	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可	
	P-SNT-511	養護教諭論特論	2	前	木	3	講義	×	教授 斎藤心くみ(養護学)	不可	不可	不可	不可	(養護) 対応	不可
	P-SNT-621	養護教諭論演習	2	後	金	3	演習	○	〃	不可	不可	不可	不可	(養護) 対応	不可
	P-SCH-511	教育保健経営特論	2	前	金	4	講義	×	教授 瀬澤利行(公衆衛生学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-SCH-631	教育保健経営演習	2	後	金	2	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-BAN-511	学校救急看護学特論	2	前	水	2	講義	×	教授 廣原紀恵(看護学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
教育保健活動	P-BAN-631	学校救急看護学演習	2	後	水	1	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-BAM-511	学校安全特論	2	前	木	1	講義	×	准教授 石原研治(学校保健)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-BAM-621	学校安全演習	2	後	木	1	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-SCH-511	ヘルスプロモーション論特論	2	前	木	2	講義	×	准教授 青柳直子(学校保健)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-SCH-621	ヘルスプロモーション論演習	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-CLM-511	教育保健医学特論	2	前	金	1	講義	×	教授 古池雄治(小児科学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
教育生理学	P-CLM-621	教育保健医学演習	2	後	水	2	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-HSS-511	健康生理学特論	2	前	月	2	講義	×	教授 松坂具(運動生理学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-HSS-621	健康生理学演習	2	後	月	3	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-CLM-511	学校疾病論特論	2	前	火	4	講義	×	教授 子川和宏(医学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	P-CLM-621	学校疾病論演習	2	後	火	4	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	特別課題研究		4		通年		演習		指導教員	不可					不可

⑩学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修

分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分						
										教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目	
										幼	小	中	高	養教	特別支援	
学校臨床基礎	P-PSY-511	臨床心理学特論Ⅰ*	2	前	木	4・5	講義	×	教授 守屋英子(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-511	臨床心理学特論Ⅱ*	2	前	火	4	講義	×	教授 岸良範(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-511	心理療法特論 *	2	前	水	2	講義	×	教授 守屋英子(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-511	カウンセリング特論 *	2	後	火	4・5	講義	×	教授 岸良範(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-521	臨床心理学査定演習Ⅰ*	2	前	火	4・5	演習	×	守屋英子・金丸隆太	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-521	臨床心理学査定演習Ⅱ*	2	後	木	4・5	演習	×	岸良範・金丸隆太	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-521	臨床心理学基礎実習Ⅰ*	1	前	火	1・2	実習	×	正保春彦・守屋英子	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-521	臨床心理学基礎実習Ⅱ*	1	後	火	1・2	実習	×	〃	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-511	学校心理学研究法特論	2				休講	講義	○	准教授 丸山広人(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-521	臨床心理学研究法演習	2	後	火	3	演習	○	准教授 金丸隆太(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-511	家族心理学特論	2				休講	講義	○	教授 三輪壽二(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	人格心理学特論	2				休講	講義	×	〃	《教職》全専修免許状に対応					不可
	P-PSY-511	障害児臨床心理学特論	2	後	木	3	講義	○	非常勤講師 江原勝久	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-531	思春期臨床心理学特論	2	後		集中	講義	○	准教授 金丸隆太(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	P-PSY-521	臨床心理学講義演習	2	前	火	5	講義	○	〃	《教職》全専修免許状に対応					不可	
	学校臨床実践	P-PSY-511	精神医学特論	2	前	火	3	講義	×	准教授 布施桑子(精神医学)	《教職》全専修免許状に対応					不可
P-PSY-511		精神薬理学特論	2				休講	講義	×	〃	《教職》全専修免許状に対応					不可
P-PSY-611		発達臨床心理学特論	2				休講	講義	○	教授 村野井均(発達心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可
P-PSY-611		学校教育心理学特論	2				休講	講義	×	教授 渡部玲二郎(発達心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可
P-PSY-611		臨床心理行政特論	2	前	木	4	講義	○	教授 岸良範(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可	
P-PSY-621		グループアプローチ特論 *	2				休講	講義	○	教授 正保春彦(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可
P-PSY-611		児童・生徒指導特論	2				休講	講義	○	教授 生越達(教育方法)	《教職》全専修免許状に対応					不可
P-PSY-621		臨床心理実習Ⅰ*	1	前	木	1・2	実習	×	岸良範・金丸隆太・永原伸彦・早川九い子	《教職》全専修免許状に対応					不可	
P-PSY-621		臨床心理実習Ⅱ*	1	後	木	1・2	実習	×	〃	《教職》全専修免許状に対応					不可	
P-PSY-611		投映法特論 *	2				休講	講義	○	非常勤講師 黒田浩司(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可
P-PSY-621	箱庭療法特論*	2			集中	講義	×	教授 守屋英子(臨床心理学)	《教職》全専修免許状に対応					不可		
特別課題研究			4			通年	演習		指導教員	不可					不可	

(注意) *印は学校臨床心理専修所属学生以外は受講不可

①共通科目(必修科目)[全コース共通]																
科目区分	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	開講時期	曜日	講時	授業形態	単位の累加	履修年次	担当教員	専修免許区分					
											教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
											幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目(必修科目)	P-EDU-531	教育課程編成の計画と実践	2	前	月	3	演習	○	1	佐藤環、藤田達人	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	子ども理解にもとづく学習指導	2	前	木	1	演習	○	1	生越達、打越正直	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	授業研究の方法と実践	2	前	火	2	演習	○	1	杉本憲子、小口祐一	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-531	教育相談の課題と支援	2	後	金	2	演習	○	1	三輪壽二、藤井とし子	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	特別支援教育の理論と実践	2	前	月	5	演習	○	1	新井英暁、打越正直	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	学校マネジメント実践演習	2	後	木	3	演習	○	1	加藤崇英、坂場克身	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	学級経営実践演習	2	前	月	2	演習	○	1	藤井とし子、渡部玲二郎	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	教師のライフステージと波質向上	2	前	火	1	演習	○	1	小川哲哉、坂場克身	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-531	学校と保護者・地域の関係づくり	2	前	火	4	演習	○	1	望月厚志、藤田達人	対応	対応	対応	対応	対応	不可
P-EDU-531	校内研修の企画・立案と実践	2	後	金	3	演習	○	1	打越、加藤、藤井、小川、原屋、坂場、藤田、五島	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
②学校運営コース																
必修科目	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	坂場、藤田、加藤、照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	坂場、藤田、加藤、照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅲ	1		休講		演習	×	2	坂場、藤田、加藤、照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校運営課題研究Ⅳ	1		休講		演習	×	2	坂場、藤田、加藤、照屋	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-621	課題発見実習	2	前	集中		実習	×	1	坂場、藤田、加藤、照屋、小川、望月	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	学校運営開発実習Ⅰ	3	後	集中		実習	×	1	加藤、藤田、加藤、照屋、小川、望月、打越、村野井、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	学校運営開発実習Ⅱ	5		休講		実習	×	2	加藤、藤田、加藤、照屋、小川、望月、打越、村野井、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	教育政策の実施と評価	2	前	金	4	演習	○	1	照屋翔太、坂場克身	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育行財政と法規	2	後	火	4	演習	○	1	照屋翔太、藤田達人	対応	対応	対応	対応	対応	不可
選択科目	P-EDU-631	スクール・リーダーシップとその実践	2	前	木	3	演習	○	1	加藤崇英、坂場克身	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校差を越えたカリキュラム開発と実践	2	前	月	4	演習	○	1	五島浩一、照屋翔太	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校危機管理理論と実践演習	2	後	月	2	演習	○	1	照屋翔太、藤田達人	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	地場教育経営と開かれた学校づくり実践	2	後	火	3	演習	○	1	望月厚志、坂場克身	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学校における評価マネジメント実践演習	2	後	木	1	演習	○	1	加藤崇英、藤田達人	対応	対応	対応	対応	対応	不可
③教育方法開発コース																
必修科目	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	生越、杉本、青柳、打越、小口、鈴木	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	生越、杉本、青柳、打越、小口、鈴木	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅲ	1		休講		演習	×	2	生越、杉本、青柳、打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育方法開発課題研究Ⅳ	1		休講		演習	×	2	生越、杉本、青柳、打越	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-621	課題発見実習	2	前	集中		実習	×	1	生越、杉本、青柳、打越、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	教育方法開発実習Ⅰ	3	後	集中		実習	×	1	加藤、藤田、加藤、照屋、小川、望月、打越、村野井、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-621	教育方法開発実習Ⅱ	5		休講		実習	×	2	加藤、藤田、加藤、照屋、小川、望月、打越、村野井、佐藤	不可	不可	不可	不可	不可	不可
	P-EDU-631	教材研究と授業設計Ⅰ	2	前	金	3	演習	○	1	鈴木一史、佐藤環	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教材研究と授業設計Ⅱ	2	後	火	3	演習	○	1	小口祐一、青柳路子	対応	対応	対応	対応	対応	不可
選択科目	P-EDU-631	人間形成の現代的課題と学習指導	2	前	木	4	演習	○	1	生越達、鈴木一史	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	学習指導・授業づくりの課題と実践	2	後	金	4	演習	○	1	小林祐紀、村野井均	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	授業研究による授業改善	2	後	火	2	演習	○	1	打越正直、杉本憲子	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	教育評価の方法	2	前	火	3	演習	○	1	杉本憲子、小林祐紀	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-EDU-631	子ども理解と学習支援	2	後	木	4	演習	○	1	渡部、打越、三輪、藤井、杉本、青柳、生越、丸山	対応	対応	対応	対応	対応	不可

④児童生徒支援コース																	
分野	科目ナンバリングコード	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	履修年次	担当教員	専修免許区分						
											教職に関する科目					特別支援教育に関する科目	
											幼	小	中	高	養教	特別支援	
必修科目	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅰ	1	前	木	5	演習	×	1	三輪、渡部、丸山、藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅱ	1	後	木	5	演習	×	1	三輪、渡部、丸山、藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅲ	1				休講	演習	×	2	三輪、渡部、丸山、藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-631	児童生徒支援課題研究Ⅳ	1				休講	演習	×	2	三輪、渡部、丸山、藤井	対応	対応	対応	対応	対応	不可
	P-PSY-621	課題発見実習	2	前		集中	実習	×	1	三輪、渡部、丸山、藤井、村野井	不可	不可	不可	不可	不可	不可	
	P-PSY-621	児童生徒支援実習	3	後		集中	実習	×	1	三輪、渡部、丸山、藤井、村野井、小村、佐藤、打越、青柳、藤井	不可	不可	不可	不可	不可	不可	
	P-PSY-621	学校適応アセスメント実習	3			休講	実習	×	2	三輪、渡部、丸山、藤井、村野井、小村、佐藤、打越、青柳、藤井	不可	不可	不可	不可	不可	不可	
P-PSY-621	学校適応支援実習	2			休講	実習	×	2	三輪、渡部、丸山、藤井、村野井、小村、佐藤、打越、青柳、藤井	不可	不可	不可	不可	不可	不可		
選択科目	P-PSY-631	学校不応問題への理解と対応	2	後	月	4	演習	○	1	三輪壽二、藤井とし子	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
	P-PSY-631	教育カウンセリング実践と事例研究	2	後	月	3	演習	○	1	丸山広人、小林祐紀	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
	P-PSY-631	子どもの発達と学習の過程	2	前	木	3	演習	○	1	村野井均、打越正貴	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
	P-PSY-631	学級経営と個人指導の実践	2	前	月	4	演習	○	1	藤井とし子、丸山広人	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
	P-PSY-631	教育臨床問題と道徳	2	後	火	4	演習	○	1	青柳路子、打越正貴	不可	対応	対応	不可	対応	不可	
	P-PSY-631	学級集団づくりとピアレスキル教育の実践	2	前	火	3	演習	○	1	渡部玲二郎、藤井とし子	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
	P-PSY-631	子ども理解と学習支援	2	後	木	4	演習	○	1	渡部、打越、三輪、藤井、杉本、青柳、生越、丸山	対応	対応	対応	対応	対応	不可	
(注)																	
授業科目一覧の専修区分に使用されている略字は以下を表す。																	
幼・・・幼稚園教諭専修免許状																	
小・・・小学校教諭専修免許状																	
中・・・中学校教諭専修免許状																	
教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業指導、英語)																	
高・・・高等学校教諭専修免許状																	
教科(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、職業指導、英語)																	
養護・・・養護教諭専修免許状																	
特別支援・・・特別支援学校教諭専修免許状																	

5 特別支援教育特別専攻科の教育内容と方法

以下は特別支援教育特別専攻科「履修要項」から引用した。

5-1 特別支援教育特別専攻科の概要

5-1-1 コース編成

特別支援教育特別専攻科は、特別支援学校教諭一種免許状取得コース及び特別支援学校教諭専修免許状取得コースからなる。

5-1-2 修了年限及び修了資格

修了年限は1年で、各コースの授業科目を履修基準に従って計 **34** 単位以上修得することによって修了資格を得る。

5-1-3 修了資格

(1) 修了の要件

修了に必要な修得単位数等が定められているので、履修基準にしたがって単位を修得することで修了の要件を満たすことができる。特に、必修単位および教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、修了することができないので、細心の注意を払って履修計画を立てること。

(2) 単位の修得

単位は、授業（講義、演習等）を履修し、定期試験（及び追試験）のほか研究報告（レポート）、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、修了研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

(3) 学位・教員免許状

修了に必要な授業科目等を履修し、修了に必要な単位を修得した者は、教育会議において修了が認定され、修了証書が授与される。また、特別支援学校教諭免許状は修了時に授与される。

教員免許状の取得に必要な要件については、「3. 特別支援学校教諭免許状の取得」を参照すること。

5-2 履修の方法

5-2-1 履修基準

平成 28 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(1) 特別支援学校教諭一種免許状取得コース

「4. 授業科目の概要（一種免コース）」の授業科目より、指定された必修科目を含めて計 34 単位以上修得する。

(2) 特別支援学校教諭専修免許状取得コース

「4. 授業科目の概要（専修免コース）」の授業科目より、指定された必修科目を含めて計 34 単位以上修得する。

5-2-2 単位制度

a. 1 単位の時間数

各授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって 1 単位と定められている。授業は、講義・演習（1 時間の授業につき、2 時間の予習又は復習を必要とするもの）と実習等（2 時間の授業につき、1 時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

1 単位の時間数と学期の単位設定

授業の種類	1 単位時間数の内訳		週 1 講時	週 2 講時
	大学等での 学習	自宅学習 (予習・復習)		
講義・演習	1 5 時間	3 0 時間	2 単位	4 単位
実習等	3 0 時間	1 5 時間	1 単位	2 単位

なお、修了研究等の授業科目については、時間数ではなく学修の成果を評価して単位を授与することになっている。

b. 学期と時間割

茨城大学では、4 月～9 月までを前学期、10 月～3 月までを後学期としている。各学期毎にどの曜日も 1 5 回（週に 1 回の場合）の授業を実施できるように学年暦が定められている。学年暦には、このほかに定期試験と補講の期間や休業期間も定められている。

1 日の授業時間は、5 つの時間帯に分けられ、それぞれ 1 講時～5 講時と呼ばれる。

1 つの講時は単位計算上 2 時間と換算されるが、実際の時間は 90 分である（小・中・高等学校の 1 時間が 45 分であるのと同様）。

c. 集中授業

学期中の平日に限らず、土・日・祭日や休業期間中を含めて、集中的に授業を行うものを集中授業と呼ぶ。校外での実習や本学には不在の特定分野の専門家を招いて授業を行う場合などに行われる。具体的な実施時期などは、各授業毎に掲示されるので、その都度担当係（教育学部学務係）に「履修科目申告票」を提出すること。

5-2-3 評価基準

当該科目の修得内容から、下表の「評点の基準」に基づき、「区分」に示される評価とそれに対応する「評価点」が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」はA⁺、A、B、C、Dの評語をもって表す。評価は、C以上が合格で単位が与えられ、Dは不合格で単位は認められない。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の3分の2に達しない者には、単位を与えない。

評価の基準

評価区分	評点	評価の内容
A ⁺	90点以上 100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学業成績を上げている。
A	80点以上 90点未満	到達目標を達成し、優れた学業成績を上げている。
B	70点以上 80点未満	到達目標と学業成果を概ね達成している。
C	60点以上 70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

注意事項

- ① [教務情報ポータルシステム]により登録されていない授業科目の単位は認められない。
- ② 単位の累加が認められていない授業科目を複数年度にわたって2回以上履修しても、その単位は認められない。
- ③ 成績には、「A⁺」、「A」、「B」、「C」、「D」の評価のほか、「欠試」（所定の試験等を受けなかった場合）が記録される。
- ④ 一度、記録された成績は、原則として変更されない。取得した「**成績**」に記載された評価の内容などに疑問のある場合は、すみやかに教育学部学務第二係あるいは当該授業の担当教員に申し出ること。
- ⑤ 「D」、「欠試」となった授業科目は、再び履修を申告できる。ただし、一度、単位を修得した科目はその成績いかんにかかわらず、再履修することはできない（単位の累加が「可」になっている科目を除く）。
- ⑥ 専修免コース学生は、特別支援学校一種免許状の領域追加に必要な授業に限り、一種コースの授業を履修してもよい。

5-2-4 試験

前述したとおり、授業の出席時数とその授業の総授業時間数の3分の2に達しない場合は、たとえ試験を受けたとしても、単位は認定されない。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

a. 定期試験

定期試験は、7月下旬～8月上旬及び1月下旬～2月上旬に行われる（学年暦参照）。定期試験の時間割は、原則的には授業時間割と同一であるが、諸事情により変更されることがある。詳しい時間割は定期試験開始の一週間前に掲示されるので注意すること。

b. 追試験

病気又はやむを得ない理由により定期試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付のうえ、学部長に願い出て追試験の許可を得なければならない。この願い出の期間は、定期試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

5-2-5 修了研究

修了研究とは、各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことをさす。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

11月に指導教員を定め教室主任の承認を得て、「修了研究題目申告票」を学務係に提出しなければならない。

研究の成果は、論文等によって示され、1月31日（提出期限が土・日曜日にあたる場合は次の休業日とする）までに下記に示す要領で提出しなければならない。論文等は、「修了研究審査票」を添付し、学務係に提出する。

5-2-6 教育実習

特別支援学校教諭免許状を取得するためには、教育実習を行わなければならない。教育実習は所定の科目の単位を修得した後、本学部附属特別支援学校で一定期間行われる（原則として2週間）。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

詳細は、「6. 教育実習」を参照すること。

5-3 特別支援学校教諭免許状の取得

5-3-1 特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなけれ

ばならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

特別支援教育に関する科目		最低修得単位			
		一種		二種	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	16	1	8
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2		1	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	5		3	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3		3	
合計修得単位		26		16	

[備考] 特別専攻科で取得できる特別支援学校教諭免許状

特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、基礎理論に関する科目（①）、特別支援教育領域に関する科目（②、③）、特別支援教育領域外に関する科目（④）、特別支援学校での教育実習（⑤）について、それぞれ所定の単位を修得しなければならない（「5. 授業科目時間割 一種免コース」の特支免許区分の丸番号を参照のこと）。

注意しなければならないのは特別支援教育領域と領域外との区別である。特別支援学校教諭免許状には、知的障害・肢体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害の計5領域があるが、茨城大学特別支援教育特別専攻科で取得できるのは、知的障害・肢体不自由・病弱の3領域のみである。この3領域の科目から計16単位修得する必要がある。カリキュラム構造上特別専攻科の学生が取得する特別支援学校教諭一種免許状は、以下の3つのパターンである。

パターン1：知的障害領域(12)・肢体不自由領域(4)

パターン2：知的障害領域(12)・病弱領域(4)

パターン3：知的障害領域(16)

注) ()内の数字は免許法上で取得に必要な最低単位数を示す

このパターンのうち、肢体不自由領域と病弱領域はそれぞれ隔年開講の科目となるので、肢体不自由領域の科目が開講される偶数年度ではパターン1かパターン3から、病弱領域が開講される奇数年度ではパターン2かパターン3で免許を取得することとなる。

では、領域外の科目とは何か？

領域外とは、前述の 5 領域の中で取得しなかった免許状の領域のことを指す。以下に、パターンごとに領域外のものを示す。

パターン 1：病弱・視覚障害・聴覚障害領域

パターン 2：肢体不自由・視覚障害・聴覚障害領域

パターン 3：視覚障害・聴覚障害・病弱・肢体不自由領域

それぞれのパターンで領域外の科目は異なることから、履修の仕方も非常に複雑になる。そこで、特別支援教育領域外に関する科目（特 4）の中には、「含む領域」として全 5 領域を設定している授業科目があるので、この中から最低 2 単位選択履修すること。そうすることで、上記の 3 パターンのうち、履修年度に開講されている科目がいずれのパターンについても領域外の科目はカバーできる。

さらに、領域外の科目には免許の領域に含まれない「重複・LD 等の領域」があり、必ず修得しなければならない。したがって、「中心となる領域」で「重複・LD 等領域」と書かれている必修科目は全て履修すること。

5-3-2 特別支援学校教諭専修免許状

特別支援学校教諭専修免許状を取得するには、特別支援学校教諭一種免許状を有し、次の表の中から 24 単位以上を修得しなければならない。

授 業 科 目	単 位
障 害 学 総 合 研 究	2
障 害 児 教 育 学 特 論 I ・ II	各 2
障 害 児 教 育 学 演 習 I ・ II	各 2
障 害 児 心 理 学 特 論 I ・ II	各 2
障 害 児 心 理 学 演 習 I ・ II	各 2
障 害 児 生 理 学 特 論 I ・ II	各 2
障 害 児 生 理 学 演 習 I ・ II	各 2
特 別 支 援 教 育 コ ー デ ィ ネ ー タ ー 特 論	2
言 語 障 害 教 育 特 論	2
情 緒 障 害 教 育 特 論	2
障 害 児 教 育 学 特 別 研 究 I	2
障 害 児 教 育 学 特 別 研 究 II	2
障 害 児 心 理 学 特 別 研 究 I	2
障 害 児 心 理 学 特 別 研 究 II	2
障 害 児 生 理 学 特 別 研 究 I	2
障 害 児 生 理 学 特 別 研 究 II	2

5-4 授業科目の概要

5-4-1 特別支援学校教諭一種免許状取得コース

区 分	授業科目	担当教員	単位	時間数	講 時	必 修	種別免許区分	形 態	備 考	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育原論	荒川 智	2	初・2	火・4	必	①	講義		
	障害児教育演習Ⅰ	荒川 智	2	後・2	火・4		①	演習		
	障害児教育演習Ⅱ	新井 英晴	2	後・2	月・2		①	演習		
	特別支援教育基礎演習	荒川 智	2	初・2	月・4		①	演習		
	障害者福祉論		2	休講			①	講義		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児の心理	藤川 美由紀	2	初・2	火・5	必	②	講義	知的障害児教育実践論(金2)と併せて履修すること。 知的障害児の教育方法(金1)と併せて履修すること。 知的障害児指導法演習(水・2)と併せて履修すること。
		知的障害児の生理	藤川 美由紀	2	後・2	月・4	必	②	講義	
		知的障害児の病理	藤川 美由紀	2	前期	集中	必	②	講義	
		障害児心理演習Ⅰ	藤川 美由紀	2	後・2	火・4		②	演習	
		障害児心理演習Ⅱ	藤川 美由紀	2	後・2	火・5		②	演習	
		障害児生理演習Ⅰ	田原 敬	2	後・2	火・1		②	演習	
		障害児生理演習Ⅱ	藤川 美由紀	2	後・2	月・2		②	演習	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	統合失調症の教育方法	新井 英晴	2	初・2	金・1	必	③	講義	
		知的障害児教育実践論	新井 英晴	2	初・2	金・2	必	③	講義	
		知的障害児指導法演習	新井 英晴 他	2	後・2	水・1,2		③	演習	
		障害児発達臨床学	藤川 美由紀	2	後・2	火・2	必	③	講義	
		障害児心理臨床論	藤川 美由紀	2	前期	集中		③	講義	
		統合失調症の教育方法	新井 英晴	2	後・2	水・1,2		③	講義	
		病弱児の教育方法	新井 英晴	2	初・2	月・3		③	講義	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	概 覧 講 義 藤川 美由紀	2	後・2	火・3		④	講義	重複 言語・情緒・LD・ADHD 言語・情緒・LD・ADHD 重複・言語・情緒・LD・ADHD 言語・情緒・LD・ADHD	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	感覚障害児の教育	田原 敬	2	前期	集中	④	講義		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	重度重複障害児教育論	林 恵津子	2	前期	集中	必	④		講義
		発達障害児教育概論	藤川 美由紀	2	初・2	火・3	必	④		講義
	特別支援教育コーディネーター特論	大野 真裕	2	後・2	月・3		④	講義		
	言語障害教育特論		2	休講			④	講義		
	情緒障害教育特論	石田 隆雄	2	後・2	金・1		④	講義		
	障害児生体機能評価法	藤川 美由紀・田原 敬	2	後・2	水・5		④	講義		
	障害児教育総論	荒川 智	2	初・2	水・1		④	講義		
	特別支援教育実地研究		3			必	⑤			
修了研究	研究会	4			必					

- 注意： 1. 修了要件：上記授業科目より34単位以上修得すること。
 2. 対応する免許法の記号。
 ①：特別支援教育の基礎理論に関する科目。
 ②：特別支援教育領域に関する科目：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目。
 ③：特別支援教育領域に関する科目：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目。
 ④：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目。
 ⑤：心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習。
 3. 特別支援教育実地研究の履修にあたっては、前期開講の専門科目を16単位履修済であることが望ましい。

平成 25 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

5-4-2 特別支援学校教諭専修免許状取得コース

授業科目	担当教員	単位	時間数	講時	必修	特支免許区分	形態	備考
障害学総合研究	橘二博亮・荒川智・ 細川美由紀	2	後・2	月・5			講義	
障害児教育学特論Ⅰ	荒川 智	2	前・2	火・2			講義	
障害児教育学特論Ⅱ	新井 英雄	2	前・2	水・2			講義	
障害児教育学演習Ⅰ	荒川 智	2	後・2	火・3			演習	
障害児教育学演習Ⅱ	新井 英雄	2	後・2	月・4			演習	
障害児心理学特論Ⅰ	細川 美由紀	2	前・2	火・3			講義	
障害児心理学特論Ⅱ	東條 吉邦	2	前・2	火・4			講義	
障害児心理学演習Ⅰ	細川 美由紀	2	後・2	火・2			演習	
障害児心理学演習Ⅱ	東條 吉邦	2	後・2	火・4			演習	
障害児生理学特論Ⅰ	橘二博亮	2	前・2	月・1			講義	
障害児生理学特論Ⅱ	田原 敬	2	前・2	月・2			講義	
障害児生理学演習Ⅰ	橘二博亮	2	後・2	木・3			演習	
障害児生理学演習Ⅱ	田原 敬	2	後・2	月・1			演習	
特別支援教育コーディネーター特論	大野真裕	2	後・2	月・3			講義	
言語障害教育特論		2	休講				講義	
情緒障害教育特論	石田 隆雄	2	後・2	金・1			講義	
障害児教育学特別研究Ⅰ	荒川 智	2	集中				演習	
障害児教育学特別研究Ⅱ	新井 英雄	2	集中				演習	
障害児心理学特別研究Ⅰ	細川 美由紀	2	集中				演習	
障害児心理学特別研究Ⅱ	東條 吉邦	2	集中				演習	
障害児生理学特別研究Ⅰ	田原 敬	2	集中				演習	
障害児生理学特別研究Ⅱ	橘二博亮	2	集中				演習	
修了研究	全教員	4			必			
注意：1. 修了要件：上記授業科目より3・4単位以上修得すること。								
2. 専修免許状取得要件：上記授業科目より2・4単位以上修得すること。								

5-5 教育実習

5-5-1 教育実習とは

教育実習は、大学在学中に一定期間継続的に特別支援学校等での教育場面に触れることで、教師になるための知識や技能を身につけることを目的とする。具体的には、①教師や子どもが行う教育の実際を観察すること、②様々な教員としての職務に参加すること、③教材研究をして授業を実施すること、④指導計画を作成し授業以外の諸活動を行うことが含まれる。教育実習期間中には、以下の点をふまえて実習先の学校の教育活動に積極的に参加することが求められる。

- ① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みる。
- ② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得する。
- ③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証する。
- ④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を喚起する。

5-5-2 実施時期および期間

9月～10月の2週間に実施する（予定）。

5-5-3 事前指導および事後指導

教育実習の実施の前後に、事前指導および事後指導を受けなければならない。事前・事後指導を受けたものには1単位を授与する。また、特別支援学校の教育実習には、一定の実践経験を有することが望ましいので、教育実習の配当を4月～5月上旬に行い、配当学部の子どもの実態把握や事前・事後のさまざまな指導体験を行うものとする。詳しくは教育実習オリエンテーションの際に連絡する。

6 広報

6-1 情報・広報室の活動

6-1-1 学部ウェブサイトの更新等
年度更新

6-1-2 パンフレットの発行

『茨城大学教育学部 入学案内 2017』 A4版 30ページ

『茨城大学教育学部 入学案内 2017 増刊号』 A4版 4ページ

6-1-3 オープンキャンパスに関する事項

学生による学部紹介コーナーの開催

教員による相談コーナー

6-2 進学説明会

実施日	主催・共催等	担当者
4月22日(金)	茨城県立古河第三高校	石原研治(養護教育)
5月23日(月)	茨城県藤代高校	石原研治(養護教育)
5月24日(火)	水戸葵陵高校	石原研治(養護教育)
5月31日(火)	(株)栄美通信社	石原研治(養護教育)
6月1日(水)	(株)さんぽう	石原研治(養護教育)
6月13日(月)	茗溪学園高等学校	島田裕之(情報教育)他
6月15日(水)	茨城県立大洗高等学校	石原研治(養護教育)
6月17日(金)	栃木県立さくら清修高校	石原研治(養護教育)
6月30日(木)	福島県立磐城高校	石原研治(養護教育)
7月1日(金)	茨城県立藤代高等学校	石原研治(養護教育)
7月2日(土)	専修大学松戸高等学校	富樫泰一(人間環境)
7月18日(月)	(株)大学通信	富樫泰一(人間環境)
7月18日(月)	宇都宮大学(峰キャンパス)	石原研治(養護教育)
9月12日(月)	茨城県立古河第三高等学校	石原研治(養護教育)
9月13日(火)	(株)栄美通信	石原研治(養護教育)
9月16日(金)	福島県いわき総合高等学校	石原研治(養護教育)
9月20日(火)	東洋大学附属牛久中学校・高等学校	石原研治(養護教育)
10月5日(水)	茨城県立牛久栄進高等学校	石原研治(養護教育)
10月25日(火)	茨城県立明野高等学校	石原研治(養護教育)
10月26日(水)	藤代紫水高等学校	石原研治(養護教育)
10月27日(木)	茨城県立日立北高等学校	石原研治(養護教育)
11月10日(木)	土浦日本大学中等教育学校	富樫泰一(人間環境)
11月11日(金)	茨城県立竹園高等学校	石原研治(養護教育)
3月27日(月)	土浦日本大学高等学校	富樫泰一(人間環境)